

第二讀會ニ於テハ議案ニ對シ修正ノ動議ヲ提出スルコトヲ得

第三讀會ハ議案ノ全部ニ付其ノ可否ヲ決ス

第三讀會ニ於テハ議案中字句ノ更正又ハ條項ノ互ニ牴觸スルモノノ外修正ノ動議ヲ爲スコトヲ得ズ

第十二條 議長採決セントスルトキハ表決ニ付スベキ議題ヲ宣言シ起立又ハ舉手ニ依リ之ヲ決スベシ但シ時宜ニ依リ投票ヲ以テ採決スルコトヲ得

第十三條 修正ノ議題ハ原案ニ先チテ採決ス修正ノ議題數箇アルトキハ總會ニ諮リ議長之ガ採決ノ順序ヲ定ム

第十四條 原案及修正案共ニ成立セザル場合ニ於テハ總會ハ特ニ委員ヲ舉ゲテ起案ヲ爲サシメ再ビ審議スルコトヲ得但シ同一事項ニ付二回以上此ノ手續ヲ爲スコトヲ得ズ

第十五條 議題トナリテ否決セラレタル事項ハ同會期中再ビ之ヲ提出スルコトヲ得ズ

第十六條 會長ハ職員ヲシテ總會又ハ委員會ニ出席シ議事ニ參與セシムルコトヲ得但シ決議ノ數ニ加ハルコトヲ得ズ

第十七條 議事録ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ議長及議事録署名人之ニ署名又ハ記名捺印スベシ

第三條 調停又ハ仲裁ハ當事者雙方ノ請求ニ依リ之ヲ行フ

但シ仲裁ノ再審理請求ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

調停又ハ仲裁ノ請求ヲ爲サントスル者ハ係争事實ヲ記載シタル書面ニ證據書類ヲ添ヘ會長ニ之ヲ提出スベシ

第四條 會長又ハ評議員會ハ紛議ノ性質ニ依リ調停又ハ仲裁ニ關スル請求ノ全部若ハ一部ヲ拒絕スルコトヲ得

第五條 調停ハ其ノ理由ヲ附シタル意見書ヲ當事者雙方ニ交付シ其ノ和解ヲ斡旋ス

第六條 仲裁ハ理由ヲ附シタル判斷書ヲ添ヘ當事者雙方ニ決裁ノ方法ヲ指定シ仲裁ノ手續ヲ行フ

第七條 仲裁ノ請求當事者ハ前條ニ依リ指定セラレタル決裁ノ方法ニ服スルコトヲ要ス

指定セラレタル決裁ノ方法ニ不服アルトキハ三週間以内ニ事由ヲ示シテ再審理ノ請求ヲ爲スコトヲ得但シ審理ノ請求ハ三回以上ニ及ブコトヲ得ズ

第八條 評議員會ハ調停又ハ仲裁ニ關スル事項ノ審理ヲ爲ス爲評議員中ヨリ委員三名ヲ選定シテ其ノ任ニ當ラシムルコトヲ得

第九條 評議員若ハ評議員會ハ仲裁又ハ調停ニ關シ當事者ヲ出頭セシメ其ノ辯明ヲ求メ若ハ懇談ヲ爲サシメ又ハ必要ナル書類ヲ提出セシムルコトヲ得

一 開會及閉會ノ日時

二 開會ノ場所

三 總會ヲ組織スル者ノ員數

四 出席者ノ員數氏名及選出會員名

五 會議ニ付シタル議案ノ題目

六 議事ノ要領

七 議決シタル事項

八 表決及贊否ノ數ヲ計算シタルトキハ其ノ數

第十八條 議員及特別議員病氣其ノ他止ムヲ得ザル事故ニ依リ總會ニ出席スルコト能ハザルトキハ其ノ旨ヲ議長ニ届出ツベシ

第十九條 議員及特別議員開議中議場ヲ退去セントスルトキハ議長ノ許可ヲ受クベシ

第二十條 本規程ニ關スル疑義ハ議長之ヲ決ス

日本中央蠶絲會紛議、調停並

仲裁規程

第一條 本會ハ會員相互間又ハ其ノ組合員間ニ於テ生ジタル蠶絲業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁ヲ爲スモノトス

第二條 調停又ハ仲裁ハ紛議係争ノ事情又ハ蠶絲業上ノ影響ヲ審理シ評議員會ノ決議ヲ以テ之ヲ行フ

第十條 會長ハ調停並仲裁ニ關シ調査又ハ當事者相互間ノ接渉ノ爲役職員ヲ出張セシメ其ノ他特ニ經費ヲ要シタルトキハ之ガ請求當事者ニ實費ノ辨償ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ實費辨償金ハ概算ニ依リ之ヲ豫納セシムルコトヲ得

日本中央蠶絲會基本財産造成

管理規程

第一條 本會ハ本規程ノ定ムル所ニ依リ基本財産ノ造成ヲ行フ

第二條 基本財産トシテ指定セラレ又ハ用途ヲ指定セズシテ寄附若ハ遺贈セラレタル財産ハ評議員會ノ議決ヲ經テ基本財産ニ編入ス

第三條 經費ニ剩餘ヲ生ジタルトキハ總會ノ議決ヲ經テ其ノ全部若ハ一部ヲ基本財産ニ編入ス

第四條 基本財産及積立金ハ不動産、公債其ノ他確實ナル銀行若ハ信託會社ノ預金トシテ之ヲ保有ス

第五條 基本財産ハ會長之ヲ管理ス

第六條 基本財産ヨリ生ズル收益ハ之ヲ經常費收入ニ繰入ルルモノトス

- 第七條 基本財産ハ總會ノ議決ヲ經ルニ非ザレバ之ヲ處分スルコトヲ得ズ
- 第八條 會長ニ於テ必要ト認ムルトキハ評議員會ノ議決ヲ經テ基本財産ノ一部ヲ一時運用スルコトヲ得
- 第九條 會長ハ毎年度資産日録及收支明細書ヲ作り總會ニ之ヲ報告スベシ

日本中央蠶絲會俸給、旅費支給規程

一 俸給、給料

- 第一條 本會職員ノ俸給ハ別ニ定ムルモノヲ除ク外別表ニ依ル
- 第二條 職員ノ俸給ハ年俸者ニ在リテハ毎級在職二年以上、月俸者ニ在リテハ毎級在職一年以上ニ至ラザレバ増俸スルコトヲ得ズ但シ會長ニ於テ特ニ必要ト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第三條 囑託員及雇傭員ノ給料ハ會長之ヲ定ム
- 第四條 俸給及給料ハ毎月二十一日之ヲ支給ス但シ當日休日ナルトキハ繰下ゲ支給ス
- 第五條 年俸ハ月割計算ヲ以テ支給ス
- 第五條 俸給及給料ハ新任、増給又ハ減給ノ場合凡テ發令

二 旅費

- 第七條 役員、特別議員、議員、職員及委員職務ノ爲メ本邦内ヲ旅行スルトキハ別表ニ掲グル所ニ從ヒ定額ニ依リ旅費ヲ支給ス
- 第八條 旅費ハ順路ニ依リ之ヲ計算ス但シ公務ノ都合ニ依リ順路ニ依リテ旅行シ難キトキハ其ノ現ニ通過シタル通路ニ依ル
- 第九條 旅行日數ハ出張地ニ於ケル滞在日數及途中已ムラ得ザル事由ノ爲要シタル日數ヲ除ク外鐵路旅行ハ三百二十里、水路旅行ハ百海里、陸路旅行ハ十二里ニ付一日ノ割ヲ以テ通算シタル日數ヲ超過スルコトヲ得ズ但シ一日未滿ノ端數ハ之ヲ一日トス

- 第十條 陸路六里未滿、鐵路七十八里未滿、水路三十海里未滿ノ旅行ニ在リテハ會務ノ都合ニ依リ宿泊シタル場合ヲ除ク外其ノ支給スベキ日當ハ定額ノ半額トス
- 一旅行ニシテ陸路、鐵路又ハ水路ニ互ルトキ鐵路ハ三十三里、水路ハ五海里ヲ以テ陸路一里ト看做シ前項ノ規定ヲ準用ス
- 第十一條 私事ノ爲居住地以外ニ滞在スル者本會ノ用務ニ依リ滞在地ヨリ旅行スル場合ニ於テハ滞在地ヨリ用務地ニ至ル旅費額ガ居住地ヨリ用務地ニ至ル旅費額ヨリ多キトキハ居住地ヨリ用務地ニ至ル旅費額ヲ支給ス
- 第十二條 新ニ職員ニ採用セラレタル者赴任スルトキハ定額ノ旅費ヲ支給スルノ外別ニ日當五分宿泊料五夜分ニ相當スル赴任手當及移轉料ヲ支給ス
- 第十三條 特別ノ事情ニ依リ定額ノ車馬賃ヲ以テ其ノ實費ヲ支辨シ難キ場合ニ於テハ實費額ヲ支給スルコトヲ得
- 第十四條 車馬賃ハ各其ノ路程ヲ合算シ之ヲ支給シ通算上一里未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ切捨トス
- 第十五條 本會ヨリ官職ヲ有スル者又ハ他ノ團體ニ在職スル者ニ調査又ハ講話ヲ囑託シタルトキハ其ノ官等又ハ團體

日本中央蠶絲會俸給、旅費支給規程

- 體ノ規程ニ依リ相當ノ旅費ヲ支給ス
- 第十六條 會長ハ旅費定額ヲ減ジ又ハ旅費ノ全部若ハ一部ヲ支給セザルコトヲ得
- 會長ハ職員ノ近距離出張ニ對シ日額旅費ヲ定ムルコトヲ得
- 第十七條 旅行中役員、特別議員、議員ニシテ其ノ資格ヲ失格シタル者ニハ居住地ニ至ル旅費ヲ、職員ニシテ其ノ職ヲ免ゼラレタル者ニハ事務所所在地ニ至ル旅費ヲ前職ノ定額ニ依リ支給ス
- 旅費ヲ受クベキ者旅行中死亡シタルトキハ前項ニ準ジ旅費ニ相當スル金額ヲ其ノ遺族ニ支給ス
- 第十八條 本會囑託並ニ雇員ノ旅費支給額ハ給料其ノ他ノ事情ニ依リ會長之ヲ定ム
- 第十九條 朝鮮、臺灣、樺太及海外ニ旅行スル場合ニ於ケル旅費額ハ會長之ヲ定ム
- 第二十條 旅費支給ニ關シ本規程ニ別段ノ規定ナキモノハ内國旅費規則ヲ準用ス

別表
職員給俸

	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級
主事	四、五〇〇	四、〇〇〇	三、七〇〇	三、四〇〇	三、一〇〇	二、八〇〇	二、五〇〇	
參事	三、五〇〇	三、一〇〇	二、八〇〇	二、五〇〇	二、二〇〇	二、〇〇〇	一、八〇〇	一、六〇〇
書記	一、三〇〇	一、一五〇	一、〇〇〇	九〇〇	八〇〇	七五〇	七〇〇	六五〇
月俸					上	下	上	下
					八〇〇	七五〇	六五〇	五五〇

職員ニシテ一級俸ヲ受ケ三ヶ年ヲ超エ功績顯著又ハ成績優秀ナル者ハ主事ハ年俸五千圓迄、參事ハ年俸四千圓迄、書記ハ月俸百五十圓迄増俸スルコトヲ得

會長ハ特ニ必要ト認ムルトキハ級俸ノ範圍ニ於テ支給ノ金額ヲ制限スルコトヲ得

會	長	一等運賃	一圓二十錢	一日ニ當	宿泊料	十二圓	移轉料
副會	長	一等運賃	一圓	一日ニ當	宿泊料	十圓	
評議員、	委員	二等運賃	九十錢	一日ニ當	宿泊料	七圓	
特別議員、	委員	二等運賃	九十錢	一日ニ當	宿泊料	七圓	
主事、	參事	二等運賃	九十錢	一日ニ當	宿泊料	七圓	
書記		二等運賃	七十五錢	一日ニ當	宿泊料	五圓	
							以八十圓內

鐵道賃ハ左記ニ依リ旅客運賃及急行料金ヲ計算ス

- 一、一等車ノ連結ナキ線路ニ依ル旅行ニ在リテハ二等運賃
- 二、連續シテ片道八十一軒以上ノ旅行ニ在リテハ普通急行料金、百六十一軒以上特別急行列車ニ乗車シタル場合ニハ特別急行料金但シ急行料金ヲ徴セザル線路ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二 民法ニ依ル團體

社團又ハ財團法人設立ノ件

明治三十二年一月農商務省令第一號

- 第一條 農商務省ノ主管ニ屬スル社團又ハ財團ニシテ民法第三十四條ノ規定ニ依リ法人トシテ設立スルノ許可ヲ得ントスルモノハ其ノ主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ申請スヘシ
- 第二條 前條ノ手續ヲ經テ設立シタル法人ヨリ農商務大臣ニ願出又ハ届出ヲナストキハ總テ其ノ主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由スヘシ

社團法人帝國蠶絲組合定款

第一章 總則

- 第一條 本組合ハ備荒貯蓄ノ趣旨ヲ以テ社員ノ出資金ヲ蓄積シ斯業界ニ於ケル擁護救済ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本組合ハ社團法人帝國蠶絲組合ト稱ス
- 第三條 本組合ノ事務所ハ之ヲ横濱市ニ置キ神戸市ニ出張所ヲ置ク
- 第四條 本組合ノ社員ハ製絲業者生絲輸出業者其他生絲ノ販賣若クハ販賣ノ委託ヲ爲ス者及ビ其關係業者ヲ以テ之ヲ組織ス

社團又ハ財團法人設立ノ件 社團法人帝國蠶絲組合定款

第五條 本組合ノ存立時期ハ設立ノ日ヨリ滿三十箇年トス但總會ノ決議ヲ以テ之ヲ延長スル事ヲ得

第六條 本組合ノ財産ニ對スル社員ノ持分ハ其出資金額ニ應ズルモノトス

第二章 資産

第七條 本組合ノ資産ハ左ノ如シ

- 一、社員ノ出資
- 二、寄附金又ハ補助金
- 三、本會ノ事業又ハ所有財産ヨリ生ズル收益
- 四、其他ノ收入

第八條 削除(社員ハ入社ノ時一口以上ノ出資ヲ爲スモノトス)

第九條 削除(出資一口ノ金額ハ金五十圓トス)

第十條 削除(出資ノ拂込時期及方法ハ理事ノ定ムル所ニ依ル)

第十一條 社員ノ出資金ハ左ノ區別ニ從ヒ組合ノ存續期間中之ヲ爲スモノトス

- 一、生絲賣込問屋業者若クハ之ニ準ズベキ業務ヲ爲ス者
- ニ 生絲ノ販賣ヲ委託シ又ハ生絲輸出業者ニ生絲ヲ販賣シ(生絲賣込問屋業者若クハ之ニ準ズベキ業務ヲ爲ス)

者ノ委託賣込ノ場合ヲ除ク)若クハ販賣ノ委託(生絲賣込問屋業者ニ準ズベキ業務ヲ爲ス者ノ爲ス販賣ノ委託ノ場合ヲ除ク)ヲ爲ス者又ハ製絲業者ニシテ直接生絲ノ輸出ヲ爲ス者又ハ受渡ノ爲メ取引所ニ生絲ヲ提供シタル者及ビ生絲輸出業者ニシテ地元ニ於テ直接生絲ノ買入ヲ爲シタル者ハ輸出生絲検査法ニヨリ検査ヲ受ケタル生絲壹俵ニ付金七圓

二、生絲賣込問屋業者若クハ之ニ準ズベキ業務ヲ爲ス者及ビ製絲業者ニシテ生絲輸出港ニ生絲販賣部ヲ設クル者ハ其取扱ヒタル生絲壹俵ニ付金拾八錢

三、生絲ノ輸出ヲ爲スモノニ在リテハ直接荷主ヨリ買入レ若クハ委託ヲ受ケタル生絲壹俵ニ付金拾八錢

本條第一項各號出資金ノ割合ハ總會ノ決議ヲ以テ増額スルコトヲ得

第十二條 出資ノ拂込時期及ビ方法ニ關シテハ別ニ之ヲ定メ總會ノ承認ヲ經ルモノトス

第十三條 社員ハ出資ニ對シ出資計算書ノ交付ヲ求ムルコトヲ得

第三章 組合ノ機關

第十四條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク
理事 十五名以内

メタルトキ

三、社員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及ビ招集ノ理由ヲ示シテ請求ヲ爲シタルトキ

第十九條 總會ノ招集ハ少ナクトモ七日前ニ會議ノ目的タル事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ社員ニ通知スル事ヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十條 社員ノ議決權ハ其出資シタル金額壹百圓又ハ壹百圓未満ノ金額ヲ壹箇トス

第二十一條 定款變更及ビ解散ノ決議ハ總社員ノ三分ノ一以上出席シタル總會ニ於テ爲スニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十二條 總會ノ決議ハ出席シタル社員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但定款ノ變更組合ノ解散其他理事ニ於テ重要ト認ムル事項ノ決議ハ總社員ノ議決權ノ二分ノ一以上タルコトヲ要ス

第二十三條 總會ニ出席セサル社員ハ代理人又ハ書面ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得

前項ノ代理人ハ本組合ノ社員並ニ當該社員ノ家族又ハ當該社員ト同一ノ組合若クハ會社等ニ在ル者以外ノ者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得ズ

社團法人帝國蠶絲組合定款

監事 五名以内

理事ハ專務理事貳名ヲ互選ス
專務理事ハ本組合ヲ代表ス

第十五條 理事及監事ハ社員中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選任ス

第十六條 理事及監事ノ任期ハ二箇年トス但再選ヲ妨ゲズ補闕選舉ニ依リ就任シタル理事及監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

定員ノ増加ニ因リ新ニ選任セラレタル役員ノ任期ハ從來ノ役員ノ任期ト共ニ終了スルモノトス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就任スル迄其職務ヲ行フ

第十七條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ關員ヲ生ジタルトキハ通常總會ヲ待ツコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ニ於テ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會ニ於テ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第十八條 總會ハ通常總會及ビ臨時總會ノ二種トス
通常總會ハ毎年一回四月之ヲ開ク
臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、理事ガ必要ト認メタルトキ

二、監事ガ民法第五十九條第四號ノ規定ニ依リ必要ト認

第二十四條 總會ノ議長ハ第十八條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外專務理事之ニ當ル專務理事事故アルトキハ他ノ理事中ヨリ之ヲ互選ス

第十八條第三項第二號ノ場合ニ於テハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其二名以上ナル場合ニ於テハ其互選ニ依ル但總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席社員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第二十五條 總會ノ決議録ハ議長之ヲ作り決議ノ事項會議ノ顛末及ビ出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

前項決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スル事ヲ要ス

第二十六條 總會ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十七條 業務上必要アルトキハ總會ノ決議ニ依リ顧問又ハ相談役若干名ヲ置クコトヲ得

顧問及相談役ハ本組合ノ樞要事項ニ關シ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ意見ヲ開陳スルモノトス

第二十八條 理事、監事、顧問及ビ相談役ハ名譽職トス但必要アルトキハ實費ノ辨償ヲ爲スコトアルベシ

理事、監事、顧問又ハ相談役ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ズ

第四章 事業

第二十九條 本組合ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第三十條 本組合ノ目的ヲ遂行スル方法及ビ積立金ノ使用方法ハ總會ニ於テ第二十二條但書ノ規定ニ準ズル決議ヲ以テ定メ主務官廳ノ承認ヲ受クルモノトス

第三十一條 出資金及ビ之ヨリ生ズル利息ハ之ヲ横濱正金銀行又ハ産業組合中央金庫ニ預入レ保管ヲ爲スモノトス但總會ノ決議ニ依リ保管ノ方法ヲ變更スルコトヲ得預金拂出ノ必要アルトキハ理事ノ協議ニ依リ監事ノ承認ヲ經テ之ヲ爲スモノトス

第五章 損益

第三十二條 本組合ハ毎事業年度ノ終ニ於テ出資金ノ收支ヲ決算シ剩餘金アルトキハ總會ニ於テ定ムル方法ニ依リ其全部又ハ一部ヲ各社員ノ出資ニ加算スルモノトス

第六章 加入及脱退

第三十三條 本組合ニ加入セントスルモノハ理事ノ承諾ヲ受クルモノトス

第三十四條 社員ニシテ入社資格タル事業ヲ廢止シ理事ノ承諾ヲ受ケタルトキハ本組合ヲ脱退スルコトヲ得社員ノ持分ハ前項ノ場合ニ限り其ノ當時ノ組合財産ノ狀況ニ從ヒ理事ニ於テ拂戻金額ヲ決定シ拂戻ヲ爲スモノトス

特別出資金ハ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ同一出資金ト看做ス

本定款ノ變更ハ昭和七年六月一日ヨリ之ヲ施行スルモノトス

帝國蠶絲組出資金徵收ニ關スル要綱

- 一 帝國蠶絲組合ノ出資金ハ輸出生絲検査法ニヨリ検査ヲ受ケタル荷物ニ對シ之ヲ徵收スルコト
- 二 生絲問屋業組合、生絲輸出業組合、横濱神戸兩取引所々屬取引員組合ノ組合員及關係倉庫會社ノ請求ニヨリ検査セル荷物ノ検査證ハ全部生絲問屋業組合ニ於テ検査所ヨリ交附ヲ受ケ同組合ヨリ検査請求者ニ交付スルコト
- 三 検査請求者ニ於テ生絲問屋業組合ヨリ検査證ノ引渡ヲ受ケントスルトキハ之ニ記載ノ俵數ニ對シ一俵ニ付七圓十八錢ノ割合ヲ以テ計算セル金額ヲ同組合ニ拂込ムベキコト
- 四 検査請求者ハ前月中ニ検査ヲ受ケタル荷物ニ對スル検査證ハ理由ノ如何ヲ問ハズ必ズ翌月二十日迄ニ之ニ對スル出資金ヲ生絲問屋業組合ニ拂込ミ其ノ引渡ヲ受クベキコト

帝國蠶絲組出資金徵收ニ關スル要綱

ス但定款第一條ニ定メタル目的ヲ遂行ノ爲メ組合ノ資金使用中ナルトキハ此限りニ非ズ

第三十五條 社員ノ持分ハ理事ノ承諾ヲ受ケタル場合ニ限り第四條ニ規定シタル者ニ對シ讓渡シヲナスコトヲ得社員ノ死亡、隱居、入夫婚姻、工場ノ讓渡、會社ノ合併其他營業讓渡ニ依ル承繼等ノ場合ハ其事業ノ承繼者ニ於テ其持分ヲ承繼スルコトヲ要スルモノトス

第三十六條 社員ニシテ本組合ノ目的ニ反スル行爲アリタルトキ又ハ出資ノ義務ヲ怠リタルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名スルコトヲ得

第七章 解散

第三十七條 本組合解散シタルトキハ理事清算人トナル

第三十八條 舊定款第十一條ノ規定ニ依リ大正十五年十一月三十日迄ニ社員方組合ニ對シテ貸付ケタル貸付金ハ同日現在額ヲ同年十二月一日ニ組合ニ出資シタルモノト看做ス

前項ニ該當スル貸付金ニ對スル利息ハ大正十六年度通常總會ニ於テ從前ノ例ニ依リテ計算シ出資ニ之ヲ加算スルモノトス

第三十九條 舊定款第十一條ノ規定ニ依ル通常出資金及ビ

五 生絲問屋業組合ニ於テ前項ニヨル拂込ヲ受ケタルトキハ當該検査證ヲ引渡スト共ニ別ニ定ムル様式ニヨル出資金拂込證明書(正)(黒刷)副(赤刷)各一通ヲ交付スルコト

六 生絲問屋業組合ハ拂込ヲ受ケタル出資金ハ之ヲ正金銀行ニ特別當座預金トシテ預ケ置キ前月分ヲ翌月十日迄ニ帝國蠶絲組合ニ拂込ムベキコト

七 生絲問屋業組合ノ組合員ガ買方タル輸出商ニ検査證ノ引渡ヲナス場合ハ必ズ第五項ニヨル出資金拂込證明書(正)ヲ之ニ添付スベキコト

八 生絲輸出業組合ノ組合員ハ検査證ニ第五項ニヨル出資金拂込證明書(正)ノ添付ナキ荷物ハ其ノ相手方タル賣方ガ生絲問屋業組合ノ組合員ナルトキハ勿論其ノ他ノ者ト雖モ絕對ニ之カ買入ヲナサザルコト

九 生絲輸出業組合ハ生絲問屋業組合ノ組合員ニシテ出資金ニ關シ組合ヨリ違反處分ヲ受ケタル者トハ絕對ニ生絲ノ賣買取引ハ之ヲ爲サザルコト

十 生絲輸出業組合ハ其ノ組合員ニシテ第八項及第九項ニ違反シタル者アリタルトキハ定款ノ定ムル所ニヨリ過怠金ヲ徵收スルコト

十一 生絲問屋業組合ハ生絲輸出業組合ノ組合員ニシテ出資金ニ關シ違反處分ヲ受ケタル者トハ絕對ニ生絲ノ賣買

取引ハ之ヲ爲サザルコト及之カ違反者アリタルトキハ定款ノ定ムル所ニヨリ過怠金ヲ徴收スルコト

十二 横濱神戸兩取引所ハ其ノ受渡荷物ニシテ昭和七年五月一日以降ノ検査ニ係ル荷物ハ第五項ニヨル出資金拂込證明書(正)ノ添付ナキトキハ之ガ受渡ヲ爲サシメザルコト

但昭和七年四月三十日以前ノ検査ニ係ル荷物ノ受渡ニ付テハ従前ノ取扱方法ニヨルコト

十三 生絲問屋業組合ノ組合員ハ出資金ノ保證金トシテ國債證券(額面五百圓)ヲ同組合ニ提出スベキコト

十四 第四項ニヨル期日迄ニ出資金ノ拂込ミヲ爲サザルトキハ保證物ヲ賣却シ其ノ賣得金ヲ積立金ニ充當スルモ異議ナキ旨並ニ不足ヲ生ジタルトキハ其不足額ヲ支拂フベキ旨ノ證書ヲ徴シ置クコト

十五 昭和七年四月三十日以前ノ検査ニ係ル荷物ニ對スル出資金ノ取扱ハ従前ノ手續ニヨルコト

十六 出資金額ハ生絲検査所ノ輸出生絲検査俵數ヲ以テ引合セテ爲スモノトス

十七 出資ノ實行ヲ期スル爲メ委員若干名ヲ囑託スルコトヲ得

十八 出資ニ關スル取扱細則ハ理事會ニ於テ之ヲ定ム

帝國蠶絲組合出資金取扱細則

一 生絲検査所ヨリ品位檢定證ノ交付ヲ受ケタルトキハ直ニ(第一號様式)店別出資金收入既未済内譯簿ニ所定ノ事項ヲ記載スルモノトス

二 検査請求者ハ品位檢定證ヲ交付セントスルトキハ検査請求者ヲシテ當該品位檢定證ニ記載ノ俵數ニ對シ一俵ニ付金七圓拾八錢ノ割合ヲ以テ計算セル金額ヲ必ズ横線記名式(受取人ヲ正金銀行トスルコト)小切手ヲ以テ拂込マシムルモノトス

三 前項ニヨル金額ノ拂込ヲ受ケタルトキハ當該品位檢定證ノ交付ヲナスト共ニ(第二號様式)帝國蠶絲組合出資金拂込證明書正(黒刷)副(赤刷)各壹通ヲ交付スルモノトス

四 帝國蠶絲組合出資金拂込證明書用紙ハ(第三號様式)同用紙受拂簿ニ當該事項ヲ記入シ其ノ受拂ヲ明確ナラシムルモノトス

五 積立金ノ拂込ヲ受ケ出資金拂込證明書ヲ發行シタルトキハ店別出資金收入既未済内譯簿ニ其ノ月日及出資金拂込證明書番號ヲ記入スルモノトス

六 拂込ヲ受ケタル出資金ハ毎日締切後店別ニ之ヲ仕譯シ

(第四號様式)出資金徴收簿(甲)(各店毎ニ口座ヲ設ケルコト)ノ當該店ノ口座ニ所定ノ事項ヲ記入シ同時ニ(第四號様式)出資金徴收簿(乙)ニ所定ノ事項ヲ記入スルモノトス但シ甲簿ニハ毎月月計及月累計又乙簿ニハ日計、日累計並ニ月計、月累計ヲ記入スルモノトス

七 拂込ヲ受ケタル出資金ハ前日分ヲ必ズ翌日午前十時迄ニ正金銀行ニ拂込ムベキモノトス但シ特別當座預金通帳ハ之ヲ正金銀行ニ預ケ置クモノトス

八 前項ニヨリ拂込ヲサントスルトキハ(第五號様式)出資金預ケ入通帳ニ所定ノ事項(金額及小切手枚數)ヲ記入シ之ニ小切手ヲ添付正金銀行ニ提出シ同行係員ノ認印ヲ受クルモノトス

九 毎月十日迄ニ前月中ニ拂込ヲ受ケタル出資金ヲ帝國蠶絲組合ニ拂込ムベキモノトス

十 前項ニヨル拂込ヲ爲サントスルトキハ(第六號様式)出資金振替請求書ニ出資金預ケ入通帳並ニ(第七號様式)出資金徴收簿込報告書ヲ添付シ正金銀行ニ之ヲ提出スルモノトス

十一 正金銀行前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ左記ノ通り取扱ハルモノトス

(一)出資金振替請求書ニ記載ノ金額ヲ問屋業組合ノ特別

帝國蠶絲組合出資金取扱細則

當座預金ヨリ帝國蠶絲組合預金ヘ振替ヘテ爲スコト

(二)通帳ニ振替ヲナシタル金額ヲ記入シ銀行ノ係員ニ於テ認印スルコト

(三)出資金徴收簿込報告書ニ銀行經由ノ印ヲ押捺シ帝國蠶絲組合ニ廻付スルコト

十二 振替ノ手續ヲ了シタルトキハ(第八號様式)出資金拂込報告書ヲ調製シ取扱店又ハ出資者ニ送付スベキモノトス

十三 取扱店又ハ出資者前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ(第九號様式)出資金内譯書ヲ調製シ帝國蠶絲組合ニ提出スベキモノトス

十四 品位檢定證ノ日附ノ屬スル月ノ末日迄ニ交付未済ノモノアリタルトキハ(第十號様式)出資金徴收未済整理表ニ之ヲ記載シ出資金拂込方ニ關シ検査請求者ニ督促ヲ爲スベキモノトス

十五 検査請求者前項ノ督促ヲ受クルモ尙ホ出資金ノ拂込ヲ爲サザルトキハ所定ノ手續ニヨリ處理スベキモノトス

十六 第十四項及第十五項ニヨル處理ノ顛末ハ之ヲ整理表ニ記載シ置クベキモノトス

(様式略)

社團法人大日本蠶絲會定款

第一款 總則

第一條 本會ハ民法ノ規定ニ從ヒ主務官廳ノ許可ヲ得テ社團法人ト爲ス

第二條 本會ハ皇族ヲ推戴シテ總裁トス

第三條 本定款ハ總會ノ決議ヲ經タル後主務官廳ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ變更スルコトヲ得ズ

第四條 本會ハ法定ノ解散事由アルニ非ザレバ解散スルコトナシ

解散ノ決議ハ總會員四分ノ三以上ノ同意アルニ非ザレハ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第二款 目的及事業

第五條 本會ハ本邦蠶絲業ノ改良進歩ヲ圖ルヲ以テ目的トナス

第六條 本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一 蠶絲業ニ關スル諸般ノ調査ヲ爲スコト

二 本邦生絲ノ海外販路擴張ヲ圖ルコト

三 内外ニ於ケル蠶絲業ノ團體ト氣脈ヲ通ズルコト

四 蠶絲業ニ關スル品評會講習會講話會及其ノ他ノ集會ヲ開設スルコト

第十三條 名譽會員ニハ皇族ヲ推戴ス

第十四條 特別會員ハ本會ノ主旨ヲ贊成シテ入會シ一時ニ

金貳拾五圓以上ヲ出スモノトス但シ五年以内ニ分納スルコトヲ得

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ特ニ本會ヨリ特別會員ニ推舉ス

一 本會ニ對シテ功勞アル者

二 蠶絲業ニ關スル學術技藝ニ達シタル者

第十五條 通常會員ハ本會ノ主旨ヲ贊成シテ入會シ一時ニ金參圓ヲ出スモノトス

第十六條 本會ハ前三條ノ會員ニ對シテ徽章ヲ交付ス

本會ノ爲特殊ノ功勞アル者及巨額ノ金員ヲ寄附シタル者ニハ有功章ヲ授與ス

第十七條 會員退會セントスルトキハ其ノ事由ヲ記シ本人ヨリ、死亡シタルトキハ相續者ヨリ徽章ヲ添ヘ本會ヘ届出ベシ

第十八條 會員ニシテ本會ノ名譽ヲ毀損スルトキハ之ヲ除名シ徽章ヲ返納セシムルモノトス

第六款 理事監事及顧問
第十九條 本會ニ理事五名理事中ニ會頭一名副會頭一名ヲ置ク

社團法人大日本蠶絲會定款

五 蠶絲業ニ關係アル者ノ功勞ヲ調査シ及表彰スルコト

六 蠶絲業ニ關スル共同事業ノ發達ヲ圖ルコト

七 蠶絲業ニ關スル圖書及雜誌ヲ發行スルコト

八 前各號ノ外蠶絲業ノ改良發達上必要ト認ムル事項

第七條 本會ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三款 名稱及事務所

第八條 本會ハ大日本蠶絲會ト稱ス

第九條 本會ハ事務所ヲ東京市赤坂區溜池町一番地ニ設置ス但シ評議員會ノ決議ニ依リ之ヲ移轉スルコトヲ得

第四款 資產

第十條 本會ノ資產ハ左ノ如シ

一 本會ノ所有ニ屬スル動產及不動產

二 會員ノ豫出金有志者ノ寄附又ハ遺贈ニ係ル金錢及物品

三 本會ノ事業又ハ所有財產ヨリ生ズル收入金

第十一條 資產ノ管理及處分ニ關スル規則ハ評議員會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第五款 會員

第十二條 本會員ハ左ノ三種トス

名譽會員 特別會員 通常會員

第二十條 理事ハ特別會員中ヨリ會頭副會頭ハ理事中ヨリ

評議員會ニ於テ之ヲ選舉ス

第二十一條 會頭ハ本會一切ノ會務ヲ處理シ總會及評議員會ノ議長トナル

第二十二條 副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ會頭事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第二十三條 本會ニ監事二名ヲ置キ評議員會ニ於テ特別會員中ヨリ之ヲ選舉ス

第二十四條 會頭副會頭理事及監事ハ名譽職トシ其ノ任期ヲ三箇年トス

第二十五條 會頭副會頭理事及監事中闕員ヲ生ジタル場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ補闕選舉ヲ行フ但シ補闕員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第二十六條 本會ニ顧問ヲ置クコトアルベシ

第七款 協議員及委員

第二十七條 本會ニ協議員及左ノ委員ヲ置ク

學藝委員 通信委員 獎勵委員

第二十八條 協議員及委員ニ關スル規程ハ評議員會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第八款 評議員會

第二十九條 本會ハ經費ノ豫算會頭副會頭理事及監事ノ選

舉其ノ他本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事件ヲ評議スル
爲評議員會ヲ置ク

第三十條 評議員ハ二十五名トシ總會ニ於テ特別會員中ヨ
リ選舉シ其ノ任期ハ三箇年トス

第三十一條 評議員會ハ必要ト認ムルトキ會頭之ヲ召集ス
第三十二條 評議員會ハ評議員三分ノ一以上出席スルニ非
ザレバ議決スルコトヲ得ズ但シ同一事件ニ付再召集ノ場
合ニ於テハ出席員ノ數ニ拘ハラズ議決スルコトヲ得

第三十三條 會頭ハ輕易ナル事項ニ付テハ場合ニ依リ書面
ヲ以テ評議員ノ意見ヲ徵シ評議員會ノ召集ニ代ユルコト
ヲ得

第九款 總 會

第三十四條 本會ハ業務ノ成績及收支ノ決算ヲ報告シ評議
員ヲ選舉シ蠶絲業ニ關スル要件ヲ議決スル爲總會ヲ召集ス

第三十五條 總會ハ毎年春季ニ於テ之ヲ召集ス但シ會頭ニ
於テ必要ト認ムルカ又ハ十分ノ一以上ノ會員ヨリ會議ノ
目的タル事項ヲ示シ請求シタルトキハ臨時召集スルコト
ヲ得

第三十六條 總會ノ召集及會議ノ目的タル案件其ノ他決議

第四條 本會ノ事務所ハ之ヲ東京市赤坂區溜池町一番地
(三會堂内)ニ置ク

第五條 本定款ノ變更ハ總會ニ於テ決議ノ上主務官廳ノ許
可ヲ得ルコトヲ要ス但シ事務所ノ位置ヲ東京府内ニ於テ
變更スル場合ニ限り評議員會ノ決議ニ依ルコトヲ得

第六條 本定款ノ施行ニ必要ナル細則ハ評議員會ノ決議ヲ
以テ別ニ之ヲ定ム

第二章 會 員

第七條 蠶絲ニ關シ學識又ハ經驗ヲ有スル者其ノ他本會ノ
趣旨ヲ贊成スル者ハ本會々員タルコトヲ得

第八條 入會セムトスル者ハ住所、氏名及職業ヲ記シ會費
一ヶ年分以上ヲ添ヘテ本會ニ申込ムベシ

第九條 退會セムトスル者ハ其ノ旨ヲ本會ニ通知スベシ此
場合會費ニ未納アルトキ之ヲ完納スルコトヲ要ス

第十條 會員ハ會費トシテ一ヶ年會費ヲ前納スベシ
既納ノ會費ハ之ヲ返付セズ

第十一條 會員ニシテ本會ノ定款ヲ遵守セズ又ハ本會ノ名
譽ヲ毀損スル行爲アリタルトキハ評議員會ノ決議ニ依リ
之ヲ除名スルコトアルベシ

第三章 總會及評議員會

第十二條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トシ會長之ヲ

社團法人日本蠶絲學會定款

事項ノ通知ハ會報及特ニ指定シタル新聞紙ヲ以テ之ヲ爲
スモノトス

第三十七條 總會ニ於テ表決ヲ爲スハ出席會員ニ限ル總會
ニ出席セザル會員ハ書面ヲ以テ表決ヲ爲シ又ハ代理人ヲ
出スコトヲ得ズ

第三十八條 總會ノ決議ニ付テハ第三十二條第二項ヲ準用
ス

第十款 支 會

第三十九條 支會ニ關スル規則ハ評議員會ノ決議ヲ以テ之
ヲ定ム

社團法人日本蠶絲學會定款

第一章 總 則

第一條 本會ハ蠶絲ニ關スル學術ノ進歩普及ヲ圖ルヲ以テ
目的トス

第二條 本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
一、學術講演會ノ開催
二、會報ノ發行
三、學術研究業績ノ表彰
四、其ノ他本會ノ目的達成ニ必要ナル事業

第三條 本會ハ社團法人日本蠶絲學會ト稱ス

招 集

通常總會ハ毎年一回春季之ヲ開ク
臨時總會ハ會長若クハ評議員會ニ於テ必要アリト認メタ
ルトキ又ハ監事若クハ會員五十名以上ヨリ會議ノ目的ヲ
示シテ請求アリタルトキ之ヲ開ク

第十三條 總會ノ召集ハ少クトモ會期二週間前ニ會議ノ目
的、場所及日時ヲ明示シ書面若クハ會報ヲ以テ之ヲ通知
ス

第十四條 總會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アルトキハ
副會長之ニ代リ會長、副會長共ニ事故アルトキハ出席會
員中ヨリ出席會員之ヲ選舉ス

第十五條 總會ノ決議ハ出席會員ノ過半數ヲ以テ決シ可否
同數ナルトキハ議長之ヲ決ス但シ定款變更ノ決議ハ出席
シタル會員三分ノ二以上、解散ノ決議ハ會員ノ三分ノ二
以上出席シ其ノ出席會員四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ
要ス

總會ニ出席セザル會員ハ書面ニ依リ又ハ本會々員ニ其權
限ヲ委任シテ表決ヲ爲スコトヲ得

第十六條 評議員會ハ評議員ヲ以テ組織シ役員ノ選舉ヲ爲
シ經費ノ豫算、決算其他重要ナル事項ヲ議決ス

第十七條 評議員ハ其ノ定員ヲ三十名トシ會員中ヨリ總會

ニ於テ之ヲ選舉ス

評議員ノ任期ハ二年トシ毎年其ノ半数ヲ改選ス

第十八條 評議員ニ缺員ヲ生ジタルトキハ次ノ總會ニ於テ
補缺選舉ヲ行フ

補選セラレタル評議員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十九條 評議員會ハ必要ニ依リ會長之ヲ招集ス

會長ハ監事又ハ評議員十名以上ヨリ請求アリタルトキハ

遲滞ナク評議員會ヲ招集スルコトヲ要ス

第二十條 第十四條及第十五條ノ規定ハ評議員會ニ準用ス

第四章 役員

第二十一條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名

副會長 二名

理事 九名

監事 二名

會長、副會長ハ理事ヲ以テ之ニ充ツ

第二十二條 役員ハ會員中ヨリ評議員會ニ於テ之ヲ選舉

ス

役員ノ任期ハ二年トシ會長、副會長ハ引續キ選任スルコ

トヲ得ズ會長、副會長ニ非ザル理事及監事ハ毎年其ノ半

數ヲ改選ス

役員ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スルニ至ル迄其ノ職
務ヲ行フモノトス

補選セラレタル役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第二十三條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

會長、副會長ニ非ザル理事ハ會務ヲ分掌ス

第二十四條 會長ハ前年度事業概要其ノ他必要ト認ムル事

項ヲ總會ニ報告スベシ

第二十五條 會長ニ於テ總會ニ提出スベキ事項ハ評議員會

ノ決議ヲ經ベシ

第二十六條 監事ノ職務ハ民法ノ規定ニ依ル

第五章 資産

第二十七條 左ノ資産ハ之ヲ基本財産トス

一、基本財産ニ編入ノ指定ヲ以テセラレタル寄附金

二、寄附金、剩餘金其ノ他ノ收入ニシテ評議員會ニ於テ

基本財産ニ編入スルコトヲ決議シタルモノ

第二十八條 基本財産ハ評議員會ノ決議ニ依ルニ非ザレバ

之ヲ出資シ又ハ費途ニ充ツルコトヲ得ズ

第二十九條 資産管理ニ關スル規定ハ評議員會ノ決議ヲ以

テ別ニ之ヲ定ム

第六章 會計

第三十條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三
月三十一日ニ終ル

第三十一條 本會ノ經費ハ資産ヨリ生ズル收入、會費、寄

附金及其他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第三十二條 本會ノ收支ハ豫算ヲ以テ毎年度開始前評議員

會ノ決議ヲ經ベシ

第三十三條 前年度收支決算ハ年度末貸借對照表及財産目

録ト俱ニ監事ノ監査ヲ經テ總會ニ報告シ其ノ承認ヲ受ク

ベシ

附 則

第三十四條 本會設立當時ノ評議員及役員ハ設立者之ヲ指
名ス

第三十五條 本會設立當時ノ評議員及會長、副會長ニ非ザ

ル理事並監事ノ半数ハ抽籤ニヨリ昭和六年春期ニ之ヲ改

選シ他ノ半数及會長、副會長ハ昭和七年春期ニ之ヲ改選

ス

三 商法ニ依ル團體

帝國蠶絲倉庫株式會社定款

第一章 總 則

第一條 本會社ハ蠶絲竝ニ絹物ノ輸出貿易ノ進展ヲ圖リ取引ノ圓滑ヲ期スル爲左ノ業務ヲ營ムヲ以テ目的トス

一、生絲、絹物及蠶絲副産物ニ係ル倉庫業

二、所有建物ノ賃貸

三、第一號ニ掲ケル物品又ハ其ノ倉庫證券ヲ擔保トスル貸付

四、債務(第一號ニ掲ケル物品又ハ其ノ倉庫證券ヲ擔保トスルモノニ限ル)ノ保證

五、第一號ニ掲ケル物品ノ船積及荷爲替ニ關スル代理竝ニ媒介

六、前各號ニ關聯スル業務

第二條 本會社ハ帝國蠶絲倉庫株式會社ト稱ス

第三條 本會社ハ本店竝ニ倉庫ヲ橫濱市ニ置ク

第四條 本會社ノ資本總額ハ金參百萬圓トス

第五條 本會社ノ公告ハ橫濱市ニ於テ發行スル橫濱貿易新報ニ掲載スルモノトス

第二章 株 式

第六條 本會社ハ資本總額ヲ六萬株ニ分チ壹株ノ金額ヲ金

帝國蠶絲倉庫株式會社定款

五拾圓トス株券ハ記名式トシ壹株券拾株券及百株券トス

第七條 株金ノ第一回拂込ハ壹株ニ付金拾貳圓五拾錢トシ第二回以後ノ拂込ハ取締役會ニ於テ之ヲ定ム

第八條 株金ノ拂込ヲ怠リタル株主ハ其ノ拂込期日ノ翌日ヨリ拂込當日迄金百圓ニ付一日金四錢ノ割合ヲ以テ遲滯利息ヲ支拂ヒ尙ホ之カ爲ニ生シタル損害及費用ヲ賠償スヘシ

第九條 株主ハ氏名、住所及印鑑ヲ本會社ニ届出ツルモノトス

株主カ其ノ法定代理人ニ依リテ代理セラルル場合ニ於テハ其ノ代理人ノ氏名、住所及印鑑ヲ届出ツルコトヲ要ス

其ノ變更シタルトキ亦同シ

第十條 株式ノ讓渡ヲ爲サントスル者ハ當事者双方連署シテ豫メ本會社取締役會ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第十一條 株式ノ讓渡ニ因リ其ノ名義ノ書換ヲ請求スル者ハ本會社所定ノ請求書ニ株券ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

相續、遺贈其ノ他讓渡以外ノ事由ニ因リテ株式ヲ取得シ又ハ氏名ヲ改メ其ノ名義ノ書換ヲ請求スル場合ニハ前項請求書ニ其ノ事實ヲ證スル書面及株券ヲ添ヘ之ヲ差出ス

ヘシ

第十二條 株券ノ紛失又ハ滅失ニ因リ新株券ノ交附ヲ請求スル者ハ本會社所定ノ請求書ニ其ノ事由ヲ詳記シタル書面ヲ添ヘ且本會社ノ相當ト認ムル證人貳名以上ノ連帶保證書ヲ差出シ公告ニ要スル費用ヲ豫納スヘシ

此場合ニ於テ本會社ハ豫納ノ費用ヲ以テ公告ヲ爲シタル後三十日ヲ經テ他ヨリ異議ノ申出ナキ時ハ新株券ヲ交附ス

第十三條 株券ノ分合ノ爲又ハ其ノ汚損ニ因リ新株券ノ交附ヲ請求スル者ハ本會社所定ノ請求書ニ舊株券ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

第十四條 第十一條ノ場合ニ於テハ金貳拾錢第十二條、第十三條ノ場合ニ於テハ金五拾錢ヲ株券壹枚毎ニ請求者ヨリ申受クヘシ

第十五條 本會社ハ毎年四月一日及十月一日ヨリ各其ノ期定時株主總會終了ノ日迄及臨時株主總會招集ノ通知ヲ發シタル日ヨリ該總會終了ノ日迄株式名義ノ書換ヲ停止ス

第三章 株主總會

第十六條 定時株主總會ハ毎年四月及十月之ヲ招集シ臨時株主總會ハ必要アル毎ニ招集ス

第十七條 株主總會ノ議長ハ社長之ニ當リ社長事故アルト

第二十四條 取締役ハ在任中其ノ所有スル本會社株式貳百株ヲ監査役ニ供託スルコトヲ要ス

但任期中退任シタル場合ニハ株主總會ニ於テ其ノ期ノ決算ノ承認ヲ經タル後ニアラサレハ還付ヲ求ムルコトヲ得サルモノトス

第二十五條 取締役及監査役ニ缺員ヲ生シタルトキハ補缺選舉ヲ行フ

但法定ノ人員ヲ缺クコトナク且業務ニ差支ナキ時ハ取締役會ノ決議ヲ以テ其ノ補缺選舉ヲ延期スルコトヲ得

補缺トシテ選任セラレタル取締役及監査役ノ任期ハ前任者ノ殘期間トス

第二十六條 本會社ニ社長壹名及專務取締役壹名ヲ置ク社長及專務取締役ハ各自會社ヲ代表シ業務ヲ執行ス

社長及專務取締役ハ取締役中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任ス

第五章 計 算

第二十九條 本會社ハ一年ヲ二期ニ分チ四月一日ヨリ九月三十日迄ヲ上半期トシ十月一日ヨリ翌年三月三十一日迄

帝國蠶絲倉庫株式會社營業規則

キハ社長ノ指名シタル取締役之ニ當リ其ノ取締役事故アルトキ又ハ商法第六十條及第八十二條ニ依リ招集シタル總會ノ議長ハ出席株主中ヨリ總會之ヲ選任ス

第十八條 株主總會ニ於ケル株主ノ議決權ハ壹株ニ付壹個トス

但其ノ議決權ヲ行使スヘキ代理人ハ第九條ノ代理人ヲ除ク外本會社ノ株主タルコトヲ要ス

第十九條 總會ノ議決權ハ法律ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外出席株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第二十條 總會ニ於テ決議シタル事項ハ決議録ニ記載シ議長及出席株主貳名之ニ記名捺印シテ本會社ニ保存ス

第二十一條 本會社ニ取締役拾貳名以內監査役參名以內ヲ置ク

第二十二條 取締役並ニ監査役ハ參百株以上ヲ有スル株主タルコトヲ要ス

第二十三條 取締役ノ任期ハ三年監査役ノ任期ハ二年トス但任期滿了ノ時其ノ任期中最終ノ決算期ニ關スル定時株主總會カ未タ終結セサルトキハ其ノ終結ニ至ル迄ノ任期ヲ伸長ス

ヲ下半年期トシ每期ノ終ニ於テ其ノ收支ヲ決算スルモノトス

第三十條 本會社ノ損益計算ハ每期總益金ヨリ總損金ヲ差引キタルモノヲ純益金トシ左ノ項目ニ分配ス

但總會ノ決議ニ依リ別途積立、後期繰越、其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一、法定積立金 純益金ノ百分ノ五以上

一、役員賞與金 純益金ノ百分ノ十以内

一、從業員退職手當積立金

一、株主配當金

第三十一條 株主ニ配當スヘキ額ハ一ケ年ヲ通シ年壹割ノ割合ヲ超ユルコトヲ得サルモノトシ毎決算期末現在ノ株主ニ配當ス

第三十二條 第壹回ノ決算ニ限り大正十五年九月末日之ヲ爲スモノトシ第一回定時株主總會ニ限り大正十五年十月

中ニ開會スルモノトナス

第三十三條 創立費用ハ金五千圓以內トス

第三十四條 本會社發起人ノ氏名、住所左ノ如シ

(住所氏名略ス)

帝國蠶絲倉庫株式會社營業規則

第一章 總 則

第一條 當會社ノ營業課目ハ左ノ如シ

一、生絲、絹物及蠶絲副産物ニ關スル倉庫業

二、所有建物ノ賃貸

三、第一號ニ掲クル物品又ハ其ノ倉庫證券ヲ擔保トスル貸付

四、債務(第一號ニ掲クル物品又ハ其ノ倉庫證券ヲ擔保トスルモノニ限ル)ノ保證

五、第一號ニ掲クル物品ノ船積及荷爲替ニ關スル代理並ニ媒介

六、前各號ニ關聯スル業務

第二條 當會社ノ倉庫營業ニ關シテハ凡テ本營業規則ニ據ルモノトス

本營業規則ニ規定セサル事項ハ法令及慣習ニ據ル

第三條 當會社ノ休日ハ大祭日、祝日、日曜日及定例ノ休日トス

但臨時休業ヲナスコトアルヘシ

營業時間ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 當會社ノ公告ハ横濱市ニ於テ發行スル横濱貿易新報ヲ以テ之ヲ爲ス

營業ニ關スル通知又ハ催告ヲ關係者ニ對シテナスコト能

ハサルカ若クハ之ヲナスニ著シキ困難アル場合ハ前項ノ新聞紙ニ其事項ヲ掲載シタルノミヲ以テ之ヲ了シタルモノトス

第五條 當會社構内ニ於テ貨物ノ出入、運搬其他ニ使役スル人夫ハ總テ當會社所屬ノモノ又ハ當會社ニ於テ承認シタルモノニ限ル

第六條 當會社ハ擔保、供託金其他業務上受取りタル金錢ニ對シテハ利息ヲ附セサルモノトス

第二章 貨物ノ受託

第七條 貨物ヲ寄託セントスルモノハ其種類、品質、數量、個數、申込當時ノ價格其他所事項ヲ記載シタル寄託申込書ヲ提出スヘシ但當會社ノ都合ニ依リテハ送り狀ヲ以テ其代用トシ又ハ口頭ノ申込ヲ受クルコトアルヘシ

第八條 保管又ハ取扱上特別ノ注意ヲ要スヘキ貨物ハ寄託ノ際特ニ其旨ヲ明示スヘシ

前項ノ明示ナカリシ爲ニ生シタル損害ニ付テハ當會社其責ニ任セス

第九條 貨物ノ價格ヲ明示セサルカ若クハ其申込價格ヲ不相當ト認メタルトキハ當會社力相當ト認メタル所ヲ以テ其價格ト定ム

前項ノ認定ニ關シ寄託者ハ如何ナル理由ニ依ルモ損害賠

償ヲ求ムルコトヲ得ス

第十條 受寄物保管期間中ニ於テ寄託者又ハ證券所持人ヨリ理由ヲ付シテ受寄物ノ價格變更ノ要求アルトキハ當會社ハ之ニ應スルコトアルヘシ

第十一條 當會社力寄託ノ申込ヲ承諾シタルトキハ寄託者ハ指定ノ場所及日時ニ貨物ヲ送致スヘシ

寄託者力貨物ノ送致ヲ怠リタルトキハ當會社ハ因テ生シタル損害ノ賠償ヲ求ムルコトアルヘシ此場合ニ於テハ當會社其承諾ヲ取消スコトヲ得

第十二條 寄託申込前ニ貨物ノ送致アリタル場合ト雖モ當會社ハ本營業規則ニ依リ保管ヲナシ追テ第七條ノ申込手續ヲナシムルコトアルヘシ

第十三條 貨物ノ送致アリタル場合ニ於テハ當會社ハ其寄託ヲ拒絶スルトキト雖モ商法第二百七十二條ニ依リ一時其貨物ヲ保管スルトキハ其保管ニ關シテハ本營業規則ヲ準用スルモノトス

第十四條 當會社力寄託ノ申込ヲ承諾シタル後ト雖モ已ムヲ得サル事情アルトキハ之ヲ取消シ若クハ契約ヲ解除スルコトアルヘシ何レノ場合ニ於テモ因リテ生シタル損害ニ付テ當會社其責ニ任セス

第十五條 當會社ニ於テ必要ト認メタルトキハ庫入ノ際又

ハ受託後ニ於テ關係者ノ承諾ヲ經スシテ貨物ノ全部又ハ一部ニ付キ其内容ヲ検査スルコトアルヘシ

前項ノ検査ニ因リテ生シタル損害ハ當會社其責ニ任セス

第三章 倉庫證券

第十六條 當會社ハ受寄物ニ對シ寄託者ノ請求ニヨリ預證券及質入證券、倉荷證券、貨物預證券又ハ保管貨物通帳ヲ交付スヘシ

讓渡禁止ノ旨ヲ記載シタル證券、證書及通帳ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第十七條 受寄物ノ内容ヲ検査スルコト不適當ナルモノニ對シテハ倉庫證券、貨物預證券及保管貨物通帳ニ其種類、品質、數量ヲ記載スルモ當會社其責ニ任セス其貨物ノ内容ヲ検査セサル旨ノ記載ヲ爲シタルトキ亦同シ

第十八條 倉庫證券ノ分割又ハ書換ノ請求アリタルトキハ當會社ハ所定ノ手数料ヲ申受クヘシ

第十九條 倉庫證券ヲ喪失又ハ滅失シタルトキハ公示催告申立後當會社ノ相當ト認ムル擔保ヲ供シテ貨物ノ出庫又ハ更ニ證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但其擔保物件ハ除權判決確定後ニアラサレハ之ヲ返戻セサルモノトス

第四章 受寄物ノ保管

第二十條 受寄物ノ保管期間ハ六ヶ月以内トス但滿期ニ至

リ當會社ノ承認ヲ經テ之ヲ更新スルコトヲ得

保管期間滿了ノ際出庫又ハ期間更新ノ手續ヲ爲ササル時

ハ滿期後ハ二倍ノ保管料ヲ申受クヘシ但第三十六條ノ適

用ヲ妨ケス

第二十一條 保管期間滿了後更新ノ手續ヲ爲ササル貨物ノ

保管ニ關シテモ本營業規則ヲ準用スルモノトス

第二十二條 寄託者又ハ證券所持人ニ對シ當會社カ賠償ノ

責ニ任スヘキ損害ハ當會社又ハ其使用人ノ故意又ハ重大

ナル過失ニヨリテ直接ニ生シタルコト明瞭ナル場合ニ限

ルモノトス

前項ノ場合ニ於テ當會社ニ對シ損害賠償ヲ請求セントス

ル者ハ其損害ノ原因ヲ證明スヘキモノトス

第二十三條 左ノ損害ニ對シテハ當會社其賠償ノ責ニ任セ

ス

一、鼠害、蟲害、天候、濕氣、防疫、自然ノ減量、貨物

ノ性質若クハ瑕疵又ハ荷造ノ不完全ニ基キタル損害

二、直接ト間接トヲ問ハス抗拒スヘカラサル災厄若クハ

己ムヲ得サル事故ニ因リ生シタル損害

三、火災保險者カ損害填補ノ責任ヲ有スル損害若クハ寄

託者ノ申出ニヨリ火災保險ニ付セザリシ貨物ノ火災ニ

倉庫又ハ他ノ貨物ニ損害ヲ及ホス虞アリト認めタルトキ

亦同シ

前項ノ場合ニ於テ寄託者又ハ證券所持人ハ自己ノ費用ヲ

以テ直ニ其處分ヲナスコトヲ要ス但當會社ニ於テ切迫シ

タル事情アリト認めタルトキ又ハ寄託者若クハ證券所持人

カ遲滞ナク前項ノ催告ニ應セザルトキハ當會社ハ任意ニ

受寄物ノ處分ヲナスコトアルヘシ

本條ノ處分ニ因リテ生シタル損害ハ當會社其責ニ任セス

第二十八條 受寄物ノ變質損傷其他ノ原因ニヨリ倉庫又ハ

他ノ貨物等ニ損害ヲ生シタルトキハ寄託者又ハ證券所持

人ハ之カ賠償ノ責ニ任スヘシ若シ賠償ノ請求ニ應セザル

トキハ任意ニ受寄物ヲ處分シ其代金ヲ以テ賠償ニ充テ尙

不足アルトキハ寄託者又ハ證券所持人ニ對シ其不足額ヲ

請求スヘシ

第二十九條 當會社ハ寄託者又ハ證券所持人ノ承諾ヲ經ス

シテ受寄物ノ積換、保管場所ノ變更又ハ他ノ種類ノ貨物

トノ混藏ヲ爲スコトアルヘシ

第三十條 受寄物ノ點檢、見本ノ摘出又ハ保存ニ必要ナル

處置ト雖モ己ムヲ得サル場合ニハ之ヲ謝絶スルコトアル

ヘシ

第三十一條 寄託者又ハ證券所持人カ見本ノ摘出、受寄物

帝國蠶絲倉庫株式會社營業規則

因ル損害

四、直接ト間接トヲ問ハス爆發ニ因ル損害

第二十四條 第十二條、第十三條及第二十一條ニヨリ保管

セル貨物ニ對シ生シタル損害及當會社ヨリ返還又ハ處分

ノ催告ヲ爲シタル後貨物ニ生シタル損害ニ對シテハ當會

社一切其責ニ任セス

第二十五條 受寄物ノ損害ニ對スル當會社ノ賠償金額ハ受

寄物ヲ當會社ニ於テ火災保險ニ付シタルトキハ第四十條

所定ノ保險金額又ハ火災保險ニ付セザリシトキハ第七條、

第九條及第十條ニ依ル價格ヲ以テ限度トシ損害當時ノ時

價ニ依リ若シ損害發生ノ時期カ不明ナル時ハ損害發見當

時ノ時價ニ依リ損害ノ程度ニ應シ之ヲ算定スルモノトス

但時價カ前記保險金額又ハ價格ヲ超過スル時ハ該保險金

額又ハ認定價格ニ依リ損害ノ程度ニ應シ算出スルモノト

ス

第二十六條 當會社カ損害貨物ニ對シ其價格全部ヲ支拂ヒ

タルトキハ寄託者又ハ證券所持人カ其損害貨物ニツキ有

スル一切ノ權利ヲ取得スルモノトス

第二十七條 當會社ハ受寄物カ保管ニ適セザルモノト認め

タルトキ又ハ己ムヲ得サル事情アルトキハ寄託者又ハ證

券所持人ニ其處分ヲナスヘキコトヲ催告スヘシ受寄物カ

ノ點檢又ハ保存ニ必要ナル處置ヲナス場合ニ於テ之カ爲

荷造ヲ毀損セルトキ又ハ價格ニ影響ヲ及ホスモノト認め

タルトキハ當會社ハ倉庫證券其他必要ノ書類ニ其旨ヲ記入

スルカ若クハ當會社ノ相當ト認めタル擔保ヲ提供セシムヘ

シ

第五章 受寄物ノ引渡

第三十二條 倉庫證券ニヨリ貨物ヲ出庫セントスル者ハ證

券面指定ノ事項ヲ記入シ記名捺印ノ上當會社ニ提出スヘ

シ貨物預證書又ハ保管貨物通帳ニヨル貨物ノ出庫ニツキ

テハ前項ノ規定ヲ準用ス但此場合ニ於テハ當會社ハ別ニ

貨物受取證ヲ提出ヲ求ムルコトアルヘシ

證券又ハ證書ヲ發行セサル場合ニ於テハ貨物受取證ヲ作

成シ當會社ニ提出スルコトヲ要ス

第三十三條 受寄物ニ對シ擔保權ヲ有スル者ト當會社トノ

間ニ於テ貨物取扱ニ關シ特約アル場合ニ於テハ貨物ノ出

庫ハ擔保權者ト當會社トノ特約ニ據リテナスモノトス

第三十四條 當會社ニ於テ必要ト認めタル場合ニハ貨物ノ

一部出庫ヲ謝絶スルコトアルヘシ

第三十五條 貨物引渡ニ當リ當會社カ交付シタル貨物出庫

指圖書ハ即時之ヲ當該係ニ提出シ遲滞ナク貨物ノ引取ヲ

ナスヘシ

前項ノ提出ヲ遲滞シタルニヨリテ生シタル損害ハ直接ト
間接トヲ問ハス當會社其責ニ任セズ

第三十六條 寄託契約終了後ニ於テ寄託者又ハ證券所持人
カ寄託物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサ
ル場合若クハ寄託者又ハ證券所持人ノ所在不明其他ノ理
由ニヨリ貨物ノ引取アラサルトキハ當會社ハ催告ヲナシ
タル後之ヲ競賣ニ附シ或ハ任意ニ處分スルコトヲ得ルモ
ノトス

第三十七條 異議ナク受寄物ヲ引渡シタル後ハ其貨物ニ付
何等ノ故障アルモ當會社ハ其責ニ任セサルモノトス

第六章 受寄物ノ火災保險

第三十八條 當會社ハ寄託者又ハ證券所持人ノ爲メニ受寄
物ヲ當會社カ適當トスル保險者ノ火災保險ニ付スヘシ
前項ノ場合ニ於テ寄託者カ反對ノ意思ヲ表示シタルトキ
ハ此限ニアラス

第三十九條 當會社ハ寄託者又ハ證券所持人ヘ告知セスシ
テ保險者ヲ變更スルコトアルヘシ

第四十條 第七條第九條又ハ第十條所定ノ價格ヲ以テ其貨
物ノ火災保險金額トス

第四十一條 寄託者又ハ證券所持人カ保險契約ノ效力ニ關
シ影響ヲ及ホスヘキ事項ヲ告知セサルニヨリ生シタル一

切ノ損害ハ寄託者又ハ證券所持人ノ負擔トス

第四十二條 火災保險ニ付シタル受寄物ノ一部ヲ出庫シタ
ルトキハ其割合ニ應シ保險金額モ亦減少スルモノトス

第四十三條 受寄物ノ火災保險ニ關スル事項ハ總テ當會社
ト保險者トノ契約ニ據ルモノトス

第四十四條 火災保險金ハ當會社ヲ經由シテ其支拂ヲ受ク
ルモノトス

第七章 建物ノ賃貸

第四十五條 建物ノ賃貸ニ關シテハ當會社ニ於テ別ニ定ム
ル所ニ據ル

第八章 保管料、立替金及其他ノ費用

第四十六條 受寄物ニ對スル保管料、手数料、立替金又ハ
出入、運搬、検査見本ノ摘出、荷造ノ修理、防疫其他處
分、保存等ニ關スル費用ハ寄託者又ハ證券所持人ノ負擔
トシ其料率計算法ハ別ニ定ムル所ニ據ル
前項ノ諸費用ハ當會社ノ都合ニヨリ隨時若クハ定時ニ之
ヲ請求スヘシ

以上

帝國蠶絲株式會社定款

第一章 總 則

第一條 本會社ハ絲價ノ安定ヲ期スル爲左ノ業務ヲ營ムヲ
以テ目的トス

一、生絲ノ買入レ及其ノ賣渡シ

二、生絲又ハ其ノ倉荷證券ヲ擔保トスル貸付
但シ債務者ニ對シ貸付金ノ一部ヲ免除シ又ハ債務者ヲ
シテ貸付ニ依リテ生シタル利益ノ一部ヲ納付セシムル
コトヲ得

三、生絲又ハ其ノ倉荷證券ヲ擔保トスル債務ノ保證

四、生絲ノ問屋業

五、絹織物、絹製品ノ製造加工及ヒ其ノ販賣

六、生絲格付取引ニ關聯スル業務

七、前各號ニ關聯スル業務

第二條 本會社ハ帝國蠶絲株式會社ト稱ス

第三條 本會社ハ本店ヲ橫濱市ニ置ク
但便宜ノ地ニ出張所ヲ設クルコトヲ得

第四條 本會社ノ資本總額ハ金五百萬圓トス

第五條 本會社ノ公告ハ橫濱市ニ於テ發行スル橫濱貿易新
報ニ掲載スルモノトス

第二章 株 式

第六條 本會社ハ資本總額ヲ拾萬株ニ分チ壹株ノ金額ヲ金
五拾圓トス株券ハ記名式トシ壹株券、拾株券、百株券トス

帝國蠶絲株式會社定款

第七條 株金ノ第一回拂込ハ壹株ニ付金拾貳圓五拾錢トシ
第二回以後ノ拂込ハ取締役會ニ於テ決ス

第八條 株金ノ拂込ヲ怠リタル株主ハ其ノ拂込期日ノ翌日
ヨリ拂込當日迄金百圓ニ付一日金四錢ノ割合ヲ以テ遲滞
利息ヲ支拂ヒ尙之カ爲ニ生シタル損害及費用ヲ賠償スヘ
シ

第九條 株主ハ氏名、住所及印鑑ヲ本會社ニ届出ツルモノ
トス

株主カ其ノ法定代理人ニ依リテ代理セラルル場合ニ於テ
ハ其ノ代理人ノ氏名、住所及印鑑ヲ届出ツルコトヲ要ス
其ノ變更シタルトキ亦同シ

第十條 株式ノ讓渡ヲ爲サントスル者ハ當事者雙方連署シ
テ豫メ本會社取締役會ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第十一條 株式ノ讓渡ニ因リ其ノ名義ノ書換ヲ請求スル者
ハ本會社所定ノ請求書ニ株券ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

相續遺贈其ノ他讓渡以外ノ事項ニ因リテ株式ヲ取得シ又
ハ氏名ヲ改メ其ノ名義ノ書換ヲ請求スル場合ニハ前項請
求書ニ其ノ事實ヲ證スル書面及株券ヲ添ヘ之ヲ差出スヘ
シ

第十二條 株券ノ紛失又ハ滅失ニ因リ新株券ノ交付ヲ請求
スル者ハ本會社所定ノ請求書ニ其ノ事由ヲ詳記シタル書

面ヲ添へ日本會社ノ相當ト認ムル證人貳名以上ノ連帶保
證書ヲ差出シ公告ニ要スル費用ヲ豫納スヘシ

此ノ場合ニ於テ本會社ハ豫納ノ費用ヲ以テ公告ヲ爲シタ
ル後三十日ヲ經テ他ヨリ異議ノ申出ナキ時ハ新券ヲ交附
ス

第十三條 株券ノ分合ノ爲又ハ其ノ汚損ニ因リ新株券ノ交
附ヲ請求スル者ハ本會社所定ノ請求書ニ舊株券ヲ添へ之
ヲ差出スヘシ

第十四條 第十一條ノ場合ニ於テハ金貳拾錢第十二條、第
十三條ノ場合ニ於テハ金五拾錢ヲ株券壹枚毎ニ請求者ヨ
リ申受クヘシ

第十五條 本會社ハ毎年七月一日ヨリ其ノ期定時株主總會
終了ノ日迄及臨時株主總會招集ノ通知ヲ發シタル日ヨリ
該總會終了ノ日迄株式名義ノ書換ヲ停止ス

第三章 株主總會
第十六條 定時株主總會ハ毎年七月之ヲ招集シ臨時株主總
會ハ必要アル毎ニ招集ス

第十七條 株主總會ノ議長ハ社長之ニ當リ社長事故アルト
キハ他ノ取締役之ニ當リ商法第六十條及第八十二條
ニ依リ招集シタル總會ノ議長ハ出席株主中ヨリ總會之ヲ
選任ス

サレモノトス
第二十五條 取締役及監査役ニ缺員ヲ生シタルトキハ補缺
選舉ヲ行フ

但法定ノ人員ヲ缺クコトナク且業務ニ差支ナキトキハ取
締役會ノ決議ヲ以テ其ノ補缺選舉ヲ延期スルコトヲ得補
缺トシテ選任セラレタル取締役及監査役ノ任期ハ前任者
ノ殘期間トス

第二十六條 本會社ニ社長壹名專務取締役若干名ヲ置ク
社長及專務取締役ハ各自會社ヲ代表シ業務ヲ執行ス
社長及專務取締役ハ取締役中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選
任ス

第二十七條 取締役及監査役ノ報酬ハ總會ニ於テ之ヲ定ム
第二十八條 取締役會ノ決議ニ依リ顧問及評議員若干名ヲ
置クコトヲ得

第五章 計 算

第二十九條 本會社ノ營業年度ハ一年ヲ一期トシ毎年五月
三十一日其ノ收支ヲ決算スルモノトス

第三十條 本會社ノ損益計算ハ每期總益金ヨリ總損金ヲ差
引キタルモノヲ純益金トシ左ノ項目ニ分配ス
但總會ノ決議ニ依リ別途積立、後期繰越其ノ他ノ處分ヲ
爲スコトヲ得

第十八條 株主總會ニ於ケル株主ノ議決權ハ壹株ニ付壹個
トス但其ノ議決權ヲ行使スヘキ代理人ハ第九條ノ代理人
ヲ除ク外本會社ノ株主タルコトヲ要ス

第十九條 總會ノ議決權ハ法律ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク
外出席株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナ
ルトキハ議長之ヲ決ス

第二十條 總會ニ於テ決議シタル事項ハ決議録ニ記載シ議
長及出席株主二名之ニ記名捺印シテ本會社ニ保存ス

第四章 取締役及監査役
第二十一條 本會社ニ取締役拾六名以內監査役八名以內ヲ
置ク

第二十二條 取締役並ニ監査役ハ貳百株以上ヲ有スル株主
タルコトヲ要ス

第二十三條 取締役ノ任期ハ三年監査役ノ任期ハ二年ト
ス

但任期滿了ノ時ハ最終ノ決算期ニ關スル定時株主總會カ
未タ終結セサルトキハ其ノ終結ニ至ル迄ノ任期ヲ伸長ス

第二十四條 取締役ハ在任中其ノ所有スル本會社株式壹百
株ヲ監査役ニ供託スルコトヲ要ス

但任期中退任シタル場合ニハ株主總會ニ於テ其ノ期ノ決
算ノ承認ヲ經タル後ニアラサレハ還付ヲ求ムルコトヲ得

一、法定積立金 純益金ノ百分ノ五以上
一、役員賞與金 純益金ノ百分ノ十以內
一、従業員退職手當積立金

第三十一條 株主ニ配當スヘキ額ハ年壹割ノ割合ヲ超ユル
コトヲ得サルモノトシ其ノ期末現在ノ株主ニ配當ス

附 則
第三十二條 本會社ハ事業遂行ニ關シ重要事項ニ付テハ農
林大臣ノ監督ヲ受クルモノトス

第三十三條 創立費用ハ金壹萬圓以內トス

第三十四條 本會社發起人ノ氏名住所左ノ如シ
(住所氏名略ス)

四 産業組合法ニ依ル團體

有限責任大日本生絲販賣組合

聯合會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ所屬聯合會及所屬組合ノ委託ヲ受ケ其ノ賣却スル生絲ニ加工シ又ハ加工セズシテ之ヲ賣却スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ有限責任大日本生絲販賣組合聯合會ト稱ス

第三條 本會ノ組織ハ有限責任トス

第四條 本會ハ全國ヲ以テ區域トス

第五條 本會ノ事務所ハ之ヲ橫濱市中區北仲通六丁目七十七番地ニ置ク

第六條 聯合會原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ届出ハ毎年六月三十日ニ取纏メ其ノ後二週間以内ニ之ヲ爲ス

第七條 産業組合法第四十條第二項ニ依ルル公告ハ本會ノ揭示場ニ揭示シ且官報、中外商業新報及産業組合中央會ノ發行スル會報ヲ以テ之ヲ爲ス

第八條 本會ハ生絲販賣事業ヲ行フ産業組合聯合會及産業組合ヲ以テ之ヲ構成ス

第九條 本會ノ財産ニ對スル所屬聯合會及所屬組合ノ持分ハ左ノ標準ニヨリ之ヲ定ム

有限責任大日本生絲販賣組合聯合會定款

一 出資金ニ對シテハ出資額ニ應ジ之ヲ算定ス

二 準備金ニ對シテハ剩餘金ヲ生ジタル事業年度内ニ於テ本會ニ支拂ヒタル販賣歩合金ニ應ジ年度毎ニ算定加算ス

三 其他ノ財産ニ對シテハ本會解散當時ノ所屬聯合會及所屬組合ニ限リ持分ヲ有シ其ノ權利ハ拂込濟出資額ニ應ズルモノトス

本會財産ガ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應ジ持分ヲ算定ス

第十條 所屬聯合會及所屬組合ハ左ノ事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ遲滞ナク之ヲ本會ニ通知スルコトヲ要ス但シ第五號及第六號ノ事項ハ每事業年度末毎ニ之ヲ報告スベシ

一名 稱

二事 務 所

三存 立 時 期

四 出資一口ノ金額

五 出資ノ總口數

六 拂込ミタル出資ノ總額

第二章 出資及積立金

第十一條 出資一口ノ金額ハ金千圓トス
所屬聯合會及所屬組合ハ五十口迄ノ出資ヲ爲スコトヲ得

第十二條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金三百圓トス

第十三條 第一回後ノ出資拂込ハ配當スベキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口ニ付金百圓以内ニ於テ其ノ拂込金額及期日ヲ定ム

第十四條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付拂込ムベキ金額ノ千分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵集ス

第十五條 本會ハ出資總額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十六條 加入金、増口金、過怠金及拂戻ヲ爲サザル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ルルモノトス

第十七條 本會ハ剩餘金ヨリ別途積立金及役員退職給與積立金ヲ積立ツルコトヲ得

第十八條 役員退職給與積立金ハ役員退職給與積立金支給規程ニ依リ處分スルモノトス

第十九條 別途積立金ハ販賣生絲ガ不可抗力ニ依リ災害ノ爲多額ノ損害アリタル場合ニ於テ之ガ填補ニ充ツルノ外

第五十五條ニ依リ損失填補ニ充ツルモノトス

職務ヲ行フモノトス
理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十三條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會ノ時期ヲ猶豫スルコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補選擧ヲ爲スモノトス

總會ガ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補選擧ヲ爲スコトヲ要ス

第二十四條 理事及監事ニハ總會ノ決議ニ依リ報酬、手當又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得

第二十五條 通常總會ハ毎年一回七月又ハ八月之ヲ開ク臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事ガ必要ト認メタルトキ

二 監事ガ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三 理事闕ケタルトキ

四 産業組合法第二十三條ニ依リ總會招集ノ請求アリタルトキ

第二十六條 總會ノ招集ハ少クトモ二週間前ニ書面ヲ以テ

有限責任大日本生絲販賣組合聯合會定款

有限責任大日本生絲販賣組合聯合會定款

有限責任大日本生絲販賣組合聯合會定款

有限責任大日本生絲販賣組合聯合會定款

有限責任大日本生絲販賣組合聯合會定款

有限責任大日本生絲販賣組合聯合會定款

有限責任大日本生絲販賣組合聯合會定款

有限責任大日本生絲販賣組合聯合會定款

第二十條 準備金別途積立金及役員退職給與積立金ハ産業組合中央金庫ニ又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預ケ入レ又ハ之ヲ以テ産業債券、國債證券、地方債證券、貯蓄債券、勸業債券、日本興業銀行ノ債券、北海道拓殖銀行ノ債券若ハ農工債券其ノ他總會ノ決議ヲ經タル社債券ヲ買入ルルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ズ但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第二十一條 本會ニ理事十三名監事五名ヲ置ク

理事ハ會長一名、副會長二名、常務理事一名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ副會長ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

會長副會長共ニ事故アルトキハ常務理事ニ代リ會長副會長及常務理事共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

常務理事ハ會長副會長ヲ補佐シ會務ヲ掌理ス

第二十二條 理事ノ任期ハ三箇年、監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ゲズ

會長副會長常務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補選擧ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期

所屬聯合會及所屬組合ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十七條 所屬聯合會及所屬組合ハ總會ニ出席セシムル爲代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ヅルコトヲ要ス其ノ變更アリタルトキ亦同ジ

第二十八條 總會ハ所屬聯合會及所屬組合ノ代表者半數以上出席スルニ非ザレバ開會スルコトヲ得ズ總會ノ決議ハ出席シタル代表者ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

理事若ハ監事ノ選任又ハ解任、定款ノ變更、所屬聯合會又ハ所屬組合ノ除名、解散及合併ノ決議ハ所屬聯合會及所屬組合ノ代表者半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

總會ニ於テハ急速輕微ノ事項ニ限り豫メ通知ナキモノト雖其ノ決議ヲ爲スコトヲ得

第二十九條 總會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アルトキハ副會長ノ一人之ニ當リ會長副會長共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ムルコトヲ得

四一七

第三十條 總會ニ出席スル所屬聯合會及所屬組合ノ代表者ハ三名以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ズ

第三十一條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り開會ノ日時、場所、會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス
決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十二條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十三條 本會ニ顧問及相談役ヲ置クコトヲ得
顧問ハ總會ノ推薦ヲ經テ會長之ヲ囑託シ本會ノ事業ヲ援助ス

相談役ハ理事之ヲ推薦シ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ本會ノ事業ニ付キ理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第三十四條 本會ニ主事、主事補及書記若干名ヲ置キ會長之ヲ任免ス

主事ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ會務ヲ處理シ主事補及書記ハ理事、監事及主事ノ指揮ヲ承ケ會務ニ從事ス

第三十五條 本會ニ技師及技手若干名ヲ置キ會長之ヲ任免ス
技師及技手ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス

第四章 事業ノ執行

第四十三條

所屬聯合會及所屬組合ハ其ノ販賣生絲ニ付加工ノ方法、代價又ハ販賣ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ズ

第四十四條

所屬聯合會及所屬組合ハ本會ニ生絲ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ時價ノ十分ノ八以内ニテ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩三錢以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス

第四十五條

所屬聯合會及所屬組合ニ配分スベキ生絲代金ノ計算期ハ毎年總會ニ於テ之ヲ定ム

第四十六條 所屬聯合會及所屬組合ニ付テハ前項ノ場合ニ於テハ計算期間中ト雖代金ノ配分ヲ爲スモノトス
假渡ヲ受ケタル所屬聯合會及所屬組合ニ付テハ前項ノ場合ニ差引計算ヲ爲スモノトス

第四十七條 販賣代金ノ一計算期間中ニ受取リタル生絲ニシテ其ノ期間中ニ賣却スルコト能ハザリシモノニ付テハ

有限責任大日本生絲販賣組合聯合會定款

第四十八條 本會ニ於テ取扱フ物品ハ生絲トス

第三十七條 本會ニ於テ取扱フ物品ハ生絲トス
第三十八條 本會ニ於テ爲ス加工ノ種類左ノ如シ
一 生絲ノ揚返シ
二 生絲ノ束裝又ハ荷造

第三十九條 所屬聯合會及所屬組合ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非レバ生絲ヲ他ニ賣却スルコトヲ得ズ

第四十條 本會ハ適宜ノ時期ニ於テ所屬聯合會及所屬組合ニ對シ其ノ賣却スル生絲ニ付報告ヲ爲サシメ又ハ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第四十一條 本會ニ對スル所屬聯合會及所屬組合ヨリノ生絲ノ出荷ニ對シテハ本會ノ指示ニ從フコトヲ要ス
前項ノ出荷ニ付荷造費及運賃等ハ所屬聯合會及所屬組合ノ負擔トス

第四十二條 本會ガ所屬聯合會及所屬組合ヨリ生絲ヲ受取リタル時ハ品等及數量ヲ査定シ理事之ヲ所屬聯合會及所屬組合ニ通知スルモノトス本會ニ於テ加工ヲ爲シタル場合加工後ノ生絲ニ付亦同ジ
品等査定ノ方法標準及各等間ノ格差ハ豫メ總會ニ於テ之ヲ定ム

其ノ後ニ賣却シタル同品等ノ代金中ヨリ先ヅ其ノ代金ヲ配分スルモノトス
第四十七條 生絲検査ニ依リ生ズル「デニール」絲及其他ノ殘絲ノ販賣代金ハ所屬聯合會及所屬組合ヨリ受入タル生絲ノ數量ニ應ジ配分スルモノトス
第四十八條 本會ハ所屬聯合會及所屬組合ニ拂渡スベキ代金ノ千分ノ七以内ニ於テ理事ノ定メタル歩合金ヲ徴シ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス
第四十九條 委託生絲中本會ニ於テ揚返シ、束裝、荷造、其他特種ノ勞費ヲ要シタルモノニ付テハ別ニ手数料ヲ徴シ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス生絲ノ運賃又ハ保險料等ノ立替金ニ付亦同ジ
前項ノ手数料ハ總會ノ決議シタル範圍内ニ於テ理事之ヲ定ム
第五十條 本會ニ於テ取扱フ生絲ハ品等ニ應ジ各別ニ束裝、荷造ヲ爲シ本會ノ商標ヲ附シ販賣スルモノトス但一定數量以上ヲ出荷シ又ハ特種ノ取引アル所屬聯合會又ハ所屬組合ノ生絲ニ付テハ其商標毎ニ各別ニ之ヲ販賣スルコトアルベシ
第五十一條 本會ニ餘裕金アルトキハ産業組合中央金庫ニ又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ之ヲ預入ルルモノトス

第五十二條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剰餘金處分並損失填補

第五十三條 剰餘金ヨリ準備金ニ積立ツベキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルトキハ別途積立金、配當金、特別配當金、役員賞與金、役員退職給與積立金又ハ繰越金ト爲スモノトス

第五十四條 剰餘金ノ配當ハ其ノ剰餘金ヲ生ジタル年度ノ終リニ於ケル所屬聯合會及所屬組合ノ拂込濟出資額ニ應ジ其ノ率ハ年六分以下トス

剰餘金ノ特別配當ハ其ノ剰餘金ヲ生ジタル事業年度内ニ於テ所屬聯合會及所屬組合ガ本會ヲ通ジ賣却シタル生絲ノ價額ニ應ズルモノトス

前二項ノ配當ハ十圓未滿ノ金額ニ對シテハ之ヲ爲サザルモノトス

第五十五條 損失ノ補填ハ準備金ヲ以テシ次ニ別途積立金ヲ以テス

第六章 加入、増口及脱退

第五十六條 本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金一圓及左ニ掲グル書類ヲ添附シテ理事ニ差出スコトヲ要ス但シ第一年度ニ於テハ加入金ヲ徴セズ
一 定款ノ謄本

諸ヲ得ルコトヲ要ス

持分ヲ讓受ケムトスル者ガ所屬聯合會又ハ所屬組合ニ非ザルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメザルノ外第五十六條ノ規定ヲ準用ス

第五十九條 所屬聯合會及所屬組合ガ脱退セムトスルトキハ其ノ事業年度末十箇月前ニ其ノ旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第六十條 所屬聯合會及所屬組合ハ左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニヨリ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込又ハ過怠金ノ納付ヲ怠リ二箇月内ニ其ノ義務ヲ履行セザルトキ
- 二 第三十九條ノ規定ニ違反シテ生絲ヲ賣却シタルトキ
- 三 本會ノ事業ヲ妨グル行爲アリタルトキ
- 四 信用ヲ失ヒタルトキ

第六十一條 所屬聯合會及所屬組合脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ノ半額ニ止ムルモノトス但シ除名ニ依ル場合ニ於テハ其ノ拂込濟出資額ノ四分ノ一ヲ解散、所屬聯合會及所屬組合タル資格ノ喪失其ノ他總會ニ於テ止ムコトヲ得ザルモノト認メタル事由ニ依ル場合ニ於テハ其ノ拂込濟出資額ヲ拂戻スモノトス

第七章 解散

有限責任大日本生絲販賣組合聯合會定款

- 二 最近作製シタル貸借對照表及最近年度ノ事業報告書
- 三 最近三箇年間ニ於ケル輸出向生絲販賣高種類別數量(格、色、織度別斤數及相數)、販賣委託先(問屋)

別數量及賣込手數料(割戻ヲ差引タル正味)、一箇年中ニ於ケル資金借入先別金額及利率並ニ借入最高時期及其ノ時期ニ於ケル借入先別金額

四 産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議録ノ謄本

申込書ニハ設立許可ノ年月日並理事ノ氏名、住所ヲ附記スルコトヲ要ス

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬聯合會及所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入ノ效力ハ第五十八條ノ場合ヲ除クノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第五十七條 所屬聯合會及所屬組合ガ出資ノ増口ヲ爲サムトスルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス但シ前條第一項第一號乃至第四號ノ書類及同條第二項ノ附記ニ付テハ此限ニ在ラズ

前項ノ増口金ハ前條ノ加入金ト同額トス
第五十八條 持分ヲ讓渡セムトスル場合ニ於テハ理事ノ承

第六十二條 本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人トナル但シ總會ノ決議ニヨリ所屬聯合會及所屬組合ノ理事中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第八章 附則

第六十三條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

五 生絲取引規約

輸出生絲賣買取引規約

(昭和六年十二月三十日決議)

第一條 輸出ノ目的ヲ以テ爲ス生絲ノ賣買取引ハ總テ本規約ニ據ルモノトス

第二條 生絲賣買ノ呼値ハ正量和百斤建トス

第三條 生絲賣買取引ノ種類ハ左ニ掲グル二種トス

一 現物賣買

品位檢定證ニ依ル賣買取引ニシテ値段及受渡場所ヲ定メ賣買取引成立ノ日ヨリ五日以内ニ荷物ノ引込ヲ爲スモノ

二 先物約定

將來ノ一定時期ニ受渡ヲ爲スベキ賣買取引ニシテ其ノ種別ハ左ニ掲グル三種トス

(イ) 値極先約定

品名、品位、數量、値段、受渡時期及受渡場所ヲ賣買取引成立ノ當時豫メ定メ置クモノ

(ロ) 成行約定

品名、品位、數量、受渡時期、受渡場所及値段決定ノ標準ヲ賣買取引成立ノ當時豫メ定メ置キ受渡期間中ノ一定期日ニ於ケル市價ヲ基準トシテ値段

輸出生絲賣買取引規約

ヲ決定スルモノ

(ハ) コール取引約定

品名、品位、數量、受渡時期、受渡場所、値段決定ノ標準及コールノ方法ヲ定メ置キ賣手又ハ買手ガ約定ニ基キ清算市場ニ於テ行ヒタルコールノ出來値ヲ基準トシテ値段ヲ決定スルモノ

第四條 生絲賣買取引成立ト同時ニ賣手ハ様式第一號ニ依ル覺書ヲ買手ニ交付スルモノトス

先物約定ニ於テハ前項覺書ノ外賣買取引成立ノ翌日迄ニ様式第二號ニ依ル約定書ヲ受授スルモノトス

第五條 現物賣買ニ於テハ賣手ハ賣買取引成立後遲滞ナク品位竝ニ正量檢定證及受渡ニ必要ナル書類ヲ買手ニ交付スルモノトス

先物約定ニ於テハ前項ノ檢定證及書類ハ之ヲ荷物引込ノ前日迄ニ買手ニ交付スルコトヲ要ス

第六條 生絲ノ受渡ヲ爲サントスルトキハ本規約ノ定ムル所ニ依リ賣手ハ荷物ヲ檢査所所定ノ封印ノ儘(金巾袋ニ麻繩ヲカケ)保存袋ニ納メ之ニ所定ノ封印ヲ施シタル供

試料絲ヲ添附シテ買手ノ指定スル倉庫又ハ其ノ他ノ場所

生絲取引規約

ニ引込ミ買手之ガ受入ヲ爲スモノトス
 前項ノ受渡場所ハ買手ノ營業所ト同一市内ニアルコトヲ要シ引込ハ午前中ニ爲スモノトス

第七條 生絲賣買取引ノ單位タル一荷口ハ正量一千斤トシ一荷口ノ總重量ハ正量九百八十斤以上一千三十斤以下ナルコトヲ要ス

生絲一俵ノ正量ガ百五十斤ヲ超ヘ又ハ九十五斤ニ滿タザルモノハ受渡ニ供用スルコトヲ得ザルモノトス

第八條 賣買取引ニ定メタル織度ト品位檢定證ノ平均織度(正量)トノ差ハ左表ニ掲グル範圍ニアルモノナルコトヲ要ス

特	AAA	AAA	AA	A	B	C	D	E	F	G
自	九デニール	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、四	〇、四	〇、五	〇、五	〇、五
至	十二デニール	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五
自	十三〃	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五
至	十八〃	〇、三	〇、三	〇、三	〇、三	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五
自	十九〃	〇、四	〇、四	〇、五	〇、五	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七
至	二十五〃	〇、四	〇、四	〇、五	〇、五	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七
自	二十六デニール以上	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、八	〇、八	一、〇	一、〇	一、〇

第九條 生絲ノ正量ガ原量以下ニシテ其ノ差ガ正量ノ百分ノ二ヲ超ユルモノハ受渡ニ供用スルコトヲ得ザルモノトス

込ヲ爲スモノトス

第十二條 成行約定ニアリテハ賣手ハ値段決定日迄ニ受渡荷物ノ引込ヲ爲スモノトス

第十條 現物賣買取引ニ於テハ賣手ハ買手ト協議ノ上賣買取引成立ノ日ヨリ五日以内ニ荷物ノ引込ヲ爲スモノトス

第十一條 値極先約定及コール取引約定ニ於テ渡シ月ノミ指定シタル場合ハ賣手ハ其ノ月ノ二十五日迄ニ荷物ノ引

第十三條 成行約定ニシテ値段決定日迄ニ其ノ日ニ決定スベキ數量ニ付豫メ定メナキトキハ賣手ハ遅クトモ受渡月ノ前月十五日迄ニ買手ニ通告シ之ガ協定ヲ爲スベキモノトス

第十四條 先物約定ニ於テ渡シ月二ヶ月以上ニ亘ル場合ハ賣手ハ各月等分量ノ荷物ヲ引込ムモノトス

手ニ支拂フモノトス

第十五條 先物約定ニ係ル荷物ノ受渡ガ二回以上ニ亘ルトキハ其ノ各受渡ハ別箇ノ賣買取引ト看做スモノトス

第二十一條 買手が受渡荷物ノ包裝、封印又ハ品質ニ異狀アリト認メタルトキハ賣手ハ自己ノ責任ヲ以テ生絲檢査所ノ規則ニ從ヒ其ノ荷物ノ内容ノ調査ヲ受ケ檢査濟證票ノ再結附及封印ノ再施行ヲ受クルモノトス

第十六條 先物約定ニ係ル受渡荷物ハ之ガ引込前三十日以内ニ檢査所ノ檢査ヲ受ケタルモノナルコトヲ要ス

前項ノ場合生絲檢査所ガ再封印ノ施行ヲ拒ミタルトキハ買手ハ現物賣買取引ニ依リテ該荷物ニ對スル賣買取引取消スコトヲ得ベク先物約定ニアリテハ該荷物ノ取替ヲ爲サシムルコトヲ得但シ本項ノ取替ハ其ノ決定ノ日ヨリ起算シ十日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十七條 賣手又ハ買手が本規約所定ノ期間ヲ經過シ督促アルニ不拘引込ヲ爲サザルカ又ハ受入ヲ爲サザルトキハ相手方ハ該荷物ニ對スル約定ヲ取消スカ又ハ賣手ニ於テハ商法第二百八十六條ノ手續ニ據ラズ該荷物ヲ他ニ賣却シ買手ニ於テハ代品ヲ購入シ若シ損失アリタルトキハ其額ヲ各相手方ニ請求スルコトヲ得

生絲ガ其ノ荷物ニ對スル檢査請求書寫(生絲檢査所ノ檢定證ニ添附シアルモノ)記載ノ事項ト相違セル場合ハ前各項ノ規定ニ從フモノトス

第十八條 買手が荷物竝ニ本規約ニ定ムル所ノ受渡ニ必要ナル書類ヲ入手シ外見上(金巾袋ノ)荷物ニ異狀ナシト認メタルトキハ直ニ別ニ定ムル荷物保管證ヲ賣手又ハ其ノ申出ニ係ル銀行ニ交付スルモノトス

第二十二條 買手ニ於テ受入ヲ爲シタル荷物ノ所有權ハ代金ノ支拂アリタルトキヲ以テ買手ニ移轉スルモノトス

第十九條 買手ハ保管中ノ荷物ニ對シ自己ノ費用ヲ以テ賣手又ハ利害關係者ノ爲ニ火災保險ヲ附スルハ勿論善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ之ガ保管ノ責ニ任ズベキモノトス

第二十三條 前條ニヨリ買手ニ所有權移轉以前ニ於テ荷物ガ震災、震災ニ因ル火災、洪水等買手ノ責ニ歸スベカラザル不可抗力ニ因リ滅失又ハ毀損シタルトキハ之ニ因リ生ジタル損害ハ其ノ荷物ノ在所如何ニ不拘總テ賣手ニ於テ負擔スルモノトス

第二十條 賣手ハ保管料トシテ生絲一俵ニ付金五十錢ヲ買

第二十四條 買手ハ荷物保管證交付ノ日ヨリ起算シ四日

輸出生絲賣買取引規約

ニ荷物保管證並ニ代金領收證ト引換ニ檢定證面記載ノ正
量日ニ對シ代金ノ支拂ヲ爲スモノトス但シ受渡時期到來
前又ハ値段決定前ニ荷物ノ引込ヲ爲シ之ヲ受入レタル場
合ハ其ノ荷物ノ受渡時期到來又ハ値段決定ノ日ヨリ起算
シ本項ニヨリ其ノ代金ノ支拂ヲ爲スモノトス

第二十五條 買手保管中ノ生絲ニ對シ賣手ハ代金ノ支拂ヲ
受クルコト能ハザル惧レアリト認ムベキ正當ノ理由アリ
タルトキハ買手ヲシテ代金ノ一部又ハ全部ノ前拂若ハ相
當ノ擔保ヲ提供セシムルコトヲ得ルモノトス

第二十六條 賣買當事者間ニ於ケル取引上ノ紛議ハ總テ別
ニ定ムル所ノ仲裁規約ニ據リ之ガ解決ヲ爲スモノトス
第二十七條 本規約ニ定ムル日數ノ算定ニハ日曜日、祭日
及其他ノ休日ヲ含マザルモノトス

附則

第二十八條 本規約ニ規定ナキ事項ニ付テハ從來ノ商慣習
ニ準ズルモノトス

第二十九條 本規約ハ昭和七年一月一日ヨリ實施ノ輸出生
絲検査法ニヨリ検査ヲ受ケタル荷物ニ付キ之ヲ適用スル
モノトス

(様式略)

仲裁人ノ定數ハ之ヲ十九名トシ理事會ニ於テ賣手側ノ推
薦ニカ、ルモノ七名買手側ノ推薦ニカ、ルモノ七名並ニ
當業者ニアラザル者ヨリ五名ヲ選任シ置クモノトス

第六條 理事及仲裁人ノ任期ハ各二ケ年トシ其ノ任期ハ七
月一日ニ始マリ翌々年ノ六月三十日ヲ以テ終ルモノト
ス
但シ任期滿了シタル場合ト雖モ後任者ノ就任スル迄ハ仍
其ノ職務ヲ行フモノトス

仲裁人仲裁手續進行中ニ任期滿了シタル場合ハ當該紛議
ノ裁決ヲ了スル迄ハ仍其ノ職務ヲ行フモノトス
第七條 理事及仲裁人ノ改選ハ其ノ改選期ニ相當スル年ノ
六月二十日迄ニ之ヲナスモノトス

理事及仲裁人ハ重任ヲ妨ゲズ
第八條 理事及仲裁人ニ關員ヲ生ジタルトキハ後任者ヲ選
任スルモノトス
但シ補選セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第九條 書記ハ理事會及仲裁人ノ指揮ヲ承ケ仲裁ニ關スル
事務ヲ取扱フモノトス
書記ハ理事會ニ於テ之ヲ選任スルモノトス
第十條 仲裁ニハ理事會ノ決定ニヨリ三名又ハ五名ノ仲裁
人之ニ當リ審理ノ上裁決スルモノトス

生絲取引仲裁規則

第一條 生絲賣買取引上ノ紛議ハ總テ本規則所定ノ仲裁機
關ノ仲裁ニ依リ之ガ解決ヲナスモノトス

第二條 仲裁機關ハ理事會、仲裁人及書記ヲ以テ之ヲ組織
スルモノトス
第三條 理事會ハ理事五名ヲ以テ之ヲ組織シ仲裁機關ニ關
スル一切ノ事項ヲ掌理シ併セテ仲裁ニ關スル規則及手續
ノ制定追加修正削除ヲ爲スノ權限ヲ有スルモノトス

理事會ニ理事長一名ヲ置ク理事長ハ理事ノ互選ニヨリ之
ヲ定ムルモノトス
理事ハ賣手側ニ於テ二名、買手側ニ於テ二名ヲ選任シ之
等四名ノ理事ニ於テ當業者ニアラザル者ヨリ他ノ一名ヲ
選任スルモノトス

第四條 理事ハ自己ガ直接又ハ間接ニ利害關係ヲ有スル仲
裁事件ニ關スル議事ニ參與スルコトヲ得ザルモノトス
第五條 仲裁人ハ取引上ノ紛議ノ仲裁ニ當リ之ガ裁決ヲナ
スモノトス

仲裁人ノ仲裁ニ關スル行爲ハ法令並ニ本規則及昭和四年
六月十五日附生絲取引改善ニ關スル決議ニ據ルベキモノ
トス
前項ノ仲裁人ハ理事會ニ於テ一名、各當事者ニ於テ一名
又ハ二名宛ヲ第五條ノ規定ニヨリ選任セラレタル仲裁人
中ヨリ選定スルモノトス

理事會ニ於テ選定セラレタル仲裁人ハ當該紛議ノ仲裁ヲ
主宰スルモノトス
第十一條 仲裁ヲ請求セントスル者ハ仲裁ニ關シ當事者双
方ノ合意アリタルコトヲ證スル書面ヲ添へ仲裁請求書ヲ
理事會ニ提出スルモノトス

仲裁請求書ニハ紛議ニ係ル事實並ニ爭點ノ要領及仲裁々
決ヲ求ムル旨ヲ記載シ當事者双方署名捺印スルコトヲ要
ス
第十二條 仲裁々決前ニ於テ仲裁請求ノ取下ヲ爲サントス
ルトキハ其ノ旨ヲ記載シタル書面ヲ理事會ニ提出スルモ
ノトス

前項ノ書面ニハ當事者双方署名捺印スルコトヲ要ス
第十三條 理事會ハ紛議ノ性質ニヨリ仲裁ノ全部又ハ一部
ヲ拒絕スルコトヲ得
理事會ニ於テ請求ヲ受ケタル仲裁ノ全部又ハ一部ヲ拒絕
スルトキハ當事者双方ニ其ノ旨ヲ通知スルモノトス

第十四條 理事會ニ於テ仲裁ノ請求ヲ受理シタルトキハ直
ニ其ノ決議ヲ經テ仲裁人ノ員數ヲ決定シ其ノ員數並ニ理

事會ニ於テ選定セル仲裁人ノ氏名ヲ當事者ニ通知スルモノトス

但シ當事者ハ民事訴訟法第七九二條ノ規定ニ抵解セザル限リ理事會ニ於テ選定セル仲裁人ヲ忌避スルコトヲ得ズ

第十五條 當事者前條ニヨル通知ヲ受ケタルトキハ直ニ仲裁人ヲ選定シ其氏名竝ニ全部ノ仲裁人ニ仲裁ヲ委任スル旨ヲ記載シタル書面及當該紛議ノ事實及争點ノ要領ヲ記載シタル書狀五通若ハ七通ニ該紛議ノ事實ヲ證スル書類アルトキハ之ガ寫ヲ添附シ之ヲ理事會ニ提出スベキモノトス

第十六條 理事會ハ當事者ノ選定シタル仲裁人ガ當該紛議ニ利害關係ヲ有スルカ又ハ不適當ナリト認メタルトキハ其旨ヲ該當事者ニ通知スルモノトス

前項ノ通知ヲ受ケタル當事者ハ直ニ第五條ノ規定ニヨリ選任セラレタル仲裁人中ヨリ他ノ仲裁人ヲ選定シ其ノ氏名竝ニ該仲裁人ニ仲裁ヲ委任スル旨ヲ記載シタル書面ヲ理事會ニ提出スルモノトス

第十七條 理事會ハ仲裁人ノ選定確定シタルトキハ直ニ其ノ氏名ヲ仲裁人竝ニ當事者ニ通知スルモノトス

第十八條 仲裁人ガ仲裁手續進行中病氣其ノ他ノ事故ニヨ

二、荷渡品ノ合格又ハ不合格ノ決定

三、不合格品ニ對スル取換又ハ値引ノ決定

四、賣買契約ノ一部又ハ全部ニ對スル不履行ノ認定

五、損害ニ對スル賠償金額ノ決定

六、紛議解決ノ爲メ特殊ノ契約履行方法ノ決定

七、其他必要ト認メタル事項

第二十五條 仲裁人ノ裁決ハ過半数ニ依リ之ヲ爲スモノトス

仲裁人ノ裁決ハ最終ノモノニシテ紛議ノ當事者ハ該裁決ニ基ク一切ノ義務ヲ履行スルノ責ニ任ズルモノトス

第二十六條 仲裁々々決書ニハ其ノ作リタル年月日ヲ記載シテ仲裁人ノ署名捺印スルモノトス

前項裁決書ノ正本ハ之ヲ當事者ニ送達スルモノトス

第二十七條 仲裁々々決ニ於テ特ニ定メナキ場合ハ利息ノ算定ハ裁決ノ日ヨリ之ヲナスモノトス

第二十八條 仲裁ニ要セシ實費ハ當事者ノ負擔トシ仲裁人ノ裁決ニヨリ理事會之ヲ徴收スルモノトス

仲裁々々決前ニ於テ仲裁請求ノ取下ヲ爲シタルトキト雖モ亦同シ

第二十九條 本規約ニ定ナキ手續ニ付テハ民事訴訟法第八編ノ規定ニ依ルモノトス

生絲賣込問屋取扱規約

リ其ノ職務ヲ行フコト能ハザルトキハ本規則ノ條項ニ從ヒ其ノ補選ノ手續ヲ爲スベキモノトス

第十九條 理事會ニ於テ第十五條後段ノ規定ニヨリ當事者ヨリ提出セル書狀ヲ收受シタルトキハ直ニ仲裁人及當事者ニ該書狀ヲ送達スベキモノトス

第二十條 理事會ハ審訊日ヲ定メ豫メ之ヲ仲裁人及當事者ニ通知スルモノトス

仲裁人ハ審訊當日當事者ノ一方ガ出頭セザルトキト雖モ其ノ缺席ノ儘審訊ヲ進行セシムルコトヲ得

但シ審訊日ノ前日ヨリ起算シ三日前迄ニ正當ナル理由ヲ附シテ其ノ延期ヲ求メタル場合ハ此ノ限ニアラズ

第二十一條 仲裁人ハ當事者ノ要求アリタルトキハ證人若クハ鑑定人ヲ喚問スルコトヲ得

第二十二條 仲裁人必要ト認ムルトキハ當事者ヲシテ所要量ノ見本ヲ提出セシムルコトヲ得

第二十三條 仲裁人ハ技術者ノ意見ヲ聽取シ又ハ生絲検査所ニ委嘱シテ品質検査ヲ行ハシムルコトヲ得此場合當事者又ハ其ノ代理人ハ該検査ニ立會フコトヲ得

第二十四條 仲裁人ハ左ニ掲グル事項ノ裁決ヲナスモノトス

一、賣買契約ノ解除

附則

第一條 本規則ハ日本語ニテ作成セルモノヲ以テ本文トス

第二條 本規則ハ昭和四年七月一日以後ニ於テ行ハレタル賣買取引ニ適用スルモノトス

但シ昭和四年産ノ繭ヲ以テ製産シタル生絲ハ昭和四年七月一日以前ニ於テ行ハレタル賣買取引ト雖モ適用スルモノトス

(書式略)

生絲賣込問屋取扱規約

第一條 問屋ニ對シ生絲ノ賣込委託ヲ爲シタル荷主ハ輸出生絲賣買取引規約竝ニ本取扱規約ノ條項ヲ承諾シ賣込委託ヲ爲シタルモノト看做ス

第二條 問屋ハ荷主ヨリ左ニ掲グル賣込手数料ヲ申受クルモノトス

一、生絲賣込手数料 賣上代金ノ千分ノ十五
問屋ガ委託荷物ヲ受領シタルトキハ荷主ノ都合ニヨリ委託ヲ解除セル場合ニ於テモ前項ノ手数料ハ之ヲ申受クルモノトス、但シ市價ヲ標準トシテ計算ス

第三條 荷主ノ業務ニ從事スル者ガ爲シタル取引上ノ行爲ニ付テハ荷主ニ於テ一切之ガ責ニ任ズベキモノトス

生絲取引規約

四三二

第四條 問屋が荷主ヨリ賣込委託ヲ受ケタルトキハ其ノ荷物ノ賣込時期、値段等ハ總テ之ヲ問屋ニ一任セラレタルモノト看做ス

前項ノ場合ニ於テ問屋ヨリ荷主ニ對シ賣込値段等ヲ照會スルコトアルモ之ヲ以テ當該荷物ノ賣込ニ關シ荷主ヨリ制限ヲ受ケザルモノトス

第五條 相場ノ下落ニヨリ受託荷物ノ價格ガ前貸金及ビ立替金ヲ補フニ足ラザル惧レアルトキハ問屋ハ荷主ニ對シ相當ノ差金若ハ差荷ヲ請求スルコトヲ得ベク荷主ハ之ガ請求ヲ受ケタルトキハ速ニ履行スベキモノトス

第六條 問屋ガ荷主ヨリ荷物ノ賣込委託ヲ受ケタルトキハ之ガ保管料其ノ他ノ諸經費及ビ賣込手数料等ノ支拂ヲ受クルニアラザレバ當該荷物ノ引渡ヲ爲サザルモノトス

第七條 受託荷物ハ問屋ガ荷主ニ對シ有スル諸債權竝ニ將來生ズル諸債權ノ共通擔保品タルベキモノトス

第八條 問屋ハ左ニ掲グル各項ノ金額ノ代價トシテ受託荷物ヲ之ニ引當テ若ハ其ノ賣却代金ヨリ他ノ債權者ニ先立チ辨濟ヲ受クルコトヲ得ルモノトス

- 三、生絲賣込手数料
但シ第二條ノ規定ニ據ル
- 四、荷掛運搬費
生絲壹俵(正量約百斤)若ハ之ニ相當スル數量毎ニ金九拾錢
- 五、賣込生絲保管料
生絲壹俵(正量約百斤)若ハ之ニ相當スル數量毎ニ金五拾錢
- 六、其他諸掛費(荷物保管料、検査料竝ニ検査ニ伴フ諸費用、電信電話料其ノ他)
- 七、社團法人帝國蠶絲組合積立金
生絲壹俵(正量約百斤)若ハ之ニ相當スル數量毎ニ金七圓
- 八、輸出生絲賣買取引規約ノ規定ニヨリ問屋ガ買手ニ支拂フベキ損害辨償金竝ニ其ノ他ノ費用
- 九、内地向賣却諸費
- 第十條 問屋ハ受託荷物ヲ擔保トシテ金融ヲ圖ルコトヲ得ルモノトス
- 第十條 問屋ガ受託荷物ヲ保管セル場合ハ勿論之ヲ他ニ擔保トシテ金融ヲ圖リタルトキト雖モ不可抗力ニヨリ生ジタル損害竝ニ受託荷物ノ隠レタル瑕疵ニ對シテハ問屋其

但シ生絲問屋業組合ニ於テ定メタル割合

ノ責ニ任ゼザルモノトス

第十一條 荷主ニ對スル荷爲替資金前貸金其ノ他立替金ノ利息ハ組合ノ決議ニ係ル利率ヲ以テ毎月之ガ計算ヲ爲シ元金ニ組入ルルモノトス

第十二條 荷主ハ從前ノ取引關係アル問屋ノ了解ヲ得ルニアラザレバ他ノ問屋ト取引ヲ爲サザルモノトス

第十三條 荷主ガ本規約若ハ其ノ他ノ契約條項ニ違背シ又ハ荷主ガ假差押、假處分、強制執行等ヲ受ケタルトキハ荷主ハ諸債務ノ期限ノ利益ヲ失フハ勿論問屋ハ法定ノ手續ニヨラズ隨意ニ受託荷物ヲ賣却シ其ノ代金ヲ以テ荷主ノ諸債務ノ辨濟ニ充當スルモ之ニ對シ荷主ハ異議ヲ述ブルコトヲ得ザルモノトス

附則

第十四條 本規約ニ規定ナキ事項ハ從來ノ商慣習ニ準ズルモノトス

第十五條 本規約ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ實施ス

第四編 關係諸法規

一
官
規

卷四 職官 官制 官規

者

- 事務官 專任一人
- 技師 專任二人
- 屬 專任二人
- 技手 專任二人
- 十三 肥料ノ配給改善ニ關スル事務ニ従事スル者
 - 書記官 專任一人
 - 事務官 專任一人
 - 技師 專任一人
 - 屬 專任五人
 - 技手 專任五人
- 十四 農具ノ改良普及獎勵ノ事務ニ従事スル者
 - 技師 專任一人
 - 屬 專任一人
 - 技手 專任一人
- 十五 農用機械ノ管理及利用ニ關スル事務ニ従事スル者
 - 技手 專任二人
- 十六 小麥ノ増殖ニ關スル事務ニ従事スル者
 - 技師 專任三人
 - 屬 專任三人
 - 技手 專任五人
- 十七 暗渠排水獎勵及耕地ニ關スル小設備改良新設獎勵

ニ關スル事務ニ従事スル者

- 技師 專任二人
- 屬 專任一人
- 技手 專任四人
- 第三條 農林省ニ左ノ職員ヲ置キ山林局ニ屬セシム
 - 一 治水事業ニ關スル事務ニ従事スル者
 - 事務官 專任一人
 - 技師 專任五人
 - 屬 專任二十七人
 - 二 公有林野官行造林ニ關スル事務ニ従事スル者
 - 事務官 專任一人
 - 技師 專任一人
 - 屬 專任九人
 - 三 民有林造林促進ニ關スル事務ニ従事スル者
 - 事務官 專任一人
 - 技師 專任三人
 - 屬 專任六人
 - 四 災害林地復舊事業ニ關スル事務ニ従事スル者
 - 技師 專任一人

技手 專任一人

五 閑地利用林業獎勵ニ關スル事務ニ従事スル者

技手 專任二人

六 海岸砂防造林獎勵ニ關スル事務ニ従事スル者

技師 專任一人

技手 專任二人

第四條 農林省ニ左ノ職員ヲ置キ水産局ニ屬セシム

一 臘虎臘獸保護ニ關スル事務ニ従事スル者

技師 專任三人

屬 專任十人

技手 專任四人

二 遠洋漁業獎勵ニ關スル事務ニ従事スル者

技師 專任六人

屬 專任一人

三 漁業組合ノ改良獎勵ニ關スル事務ニ従事スル者

事務官 專任一人

屬 專任一人

四 漁港修築獎勵ニ關スル事務ニ従事スル者

技師 專任二人

農林部内臨時職員設置制

屬 專任二人

五 水産冷蔵獎勵ニ關スル事務ニ従事スル者

技師 專任二人

屬 專任一人

六 水産利用獎勵ニ關スル事務ニ従事スル者

技師 專任一人

技手 專任一人

七 沿岸漁場整理ニ關スル事務ニ従事スル者

事務官 專任一人

技師 專任四人

屬 專任五人

八 漁業共同施設獎勵ノ事務ニ従事スル者

技師 專任五人

屬 專任一人

九 漁村振興ニ關スル事務ニ従事スル者

技師 專任三人

屬 專任二人

四四三

官規

- 十 漁業用發動機検査ニ關スル事務ニ從事スル者
技手 專任四人
- 十一 水産増殖獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
技師 專任一人
技手 專任二人
- 十二 漁業登録ニ關スル事務ニ從事スル者
屬 專任四人
- 十三 遼河漁類ノ保護調査ニ關スル事務ニ從事スル者
技師 專任一人
技手 專任一人
- 十四 日本國「ソヴェエト」社會主義共和國聯邦間漁業條約實施ニ關スル事務ニ從事スル者
事務官 專任一人
技師 專任二人
屬 專任五人
- 十五 日本國「ソヴェエト」社會主義共和國聯邦間漁業條約改正準備ニ關スル事務ニ從事スル者
事務官 專任一人
技師 專任二人

四四四

- 十六 漁糧製造獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
技師 專任一人
技手 專任二人
 - 十七 南方漁場調査ニ關スル事務ニ從事スル者
技師 專任二人
屬 專任三人
- 第五條 農林省ニ左ノ職員ヲ置キ畜産局ニ屬セシム
- 一 畜産増殖ノ事務ニ從事スル者
屬 專任一人
技手 專任二人
 - 二 綿羊ニ關スル事務ニ從事スル者
技師 專任一人
屬 專任一人
技手 專任二人
 - 三 畜産共同施設獎勵ノ事務ニ從事スル者
技師 專任一人
屬 專任二人
技手 專任三人

- 四 種牡牛馬補充及畜力利用獎勵ノ事務ニ從事スル者
技手 專任二人
- 五 地方競馬ノ指導獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
技師 專任一人
屬 專任一人
技手 專任二人
- 六 馬事振興ニ關スル事務ニ從事スル者
技師 專任二人
屬 專任一人
技手 專任二人
- 七 畜産物販賣斡旋ニ關スル事務ニ從事スル者
事務官 專任一人
屬 專任一人
技手 專任二人
- 八 鳥獸調査ニ關スル事務ニ從事スル者
技師 專任一人
技手 專任二人
- 九 國營獵區ニ關スル事務ニ從事スル者
技手 專任一人
- 十 鶏卵増産獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
技師 專任一人

農林部内臨時職員設置制

- 十一 家畜衛生思想ノ普及獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
屬 專任一人
技手 專任一人
- 十二 馬ノ傳染性貧血豫防ニ關スル事務ニ從事スル者
技師 專任一人
技手 專任一人
- 十三 輸出蜜蜂ノ改良獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
技手 專任二人
- 十四 有畜農業ノ普及獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
技師 專任一人
技手 專任一人
- 十五 種牡馬ノ飼養獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
技師 專任一人
屬 專任一人
技手 專任二人
- 十六 牧野改良獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
技師 專任一人
屬 專任三人

四四五

技手 專任四人
 十七 畜產物輸出獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
 技師 專任一人
 屬 專任一人
 技手 專任二人
 十八 飼料ノ利用施設獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
 技手 專任一人
 十九 種牝馬設置獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
 技手 專任一人
 二十 牛豚肥育事業獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
 技手 專任一人
 二十一 厩肥ノ生産利用獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
 技手 專任二人
 第五條ノ二 農林省ニ左ノ職員ヲ置キ蠶絲局ニ屬セシム
 一 蠶絲業改良獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
 事務官 專任一人
 技師 專任四人
 屬 專任三人
 技手 專任五人
 二 繭倉庫及乾繭裝置獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
 技師 專任二人

技手 專任三人
 三 桑樹凍害豫防獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
 技師 專任一人
 屬 專任一人
 技手 專任一人
 四 稚蠶共同飼育所設置獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
 技師 專任一人
 屬 專任一人
 技手 專任二人
 五 繭檢定所設置獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
 技師 專任一人
 屬 專任一人
 六 製絲業共同施設獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
 技師 專任一人
 技手 專任二人
 七 夏秋蠶稚蠶共同桑園設置獎勵ニ關スル事務ニ從事スル者
 屬 專任一人
 技手 專任一人
 八 製絲業ノ免許統制ニ關スル事務ニ從事スル者
 事務官 專任一人

技師 專任二人
 屬 專任二人
 技手 專任四人
 九 桑園ノ整理改植ニ關スル事務ニ從事スル者
 技師 專任一人
 技手 專任二人
 第五條ノ三 國營獵區ノ管理ニ關スル事務ニ從事セシムル
 爲農林省ニ左ノ職員ヲ置キ國營獵區事務所ニ屬セシム
 技手 專任三人
 第六條 農事試驗場ニ左ノ職員ヲ置ク
 一 主要食糧農産物ノ改良増殖ニ關スル事務ニ從事スル者
 技師 專任二人
 技手 專任十人
 二 農具ノ改良ニ關スル試驗研究ノ事務ニ從事スル者
 技師 專任一人
 技手 專任四人
 三 肥料ノ改良増殖ニ關スル事務ニ從事スル者
 技師 專任一人
 技手 專任五人
 四 菜種ノ改良増殖ニ關スル事務ニ從事スル者
 農林部内臨時職員設置制

技師 專任一人
 技手 專任二人
 五 小麥ノ改良増殖ニ關スル事務ニ從事スル者
 技師 專任八人
 屬 專任三人
 技手 專任十七人
 第七條 蠶業試驗場ニ左ノ職員ヲ置ク
 一 夏秋蠶ノ不作防止方法研究ニ關スル事務ニ從事スル者
 技師 專任二人
 技手 專任一人
 二 蠶ノ優良品種育成普及ニ關スル事務ニ從事スル者
 技師 專任一人
 技手 專任五人
 三 繭檢定ニ關スル講習ノ事務ニ從事スル者
 技師 專任一人
 技手 專任二人
 第八條 牛豚肥育ニ關スル試驗研究ノ事務ニ從事セシムル
 爲畜産試驗場ニ左ノ職員ヲ置ク
 技手 專任一人
 第九條 營林局ニ左ノ職員ヲ置ク

- 一 公有林野官行造林ニ關スル事務ニ從事スル者
 - 事務官 專任一人
 - 技師 專任七人
 - 屬 專任四十四人
 - 技手 專任四十四人
- 二 國有海岸林砂防設備ニ關スル事務ニ從事スル者
 - 技師 專任一人
- 三 國有林野砂防設備ニ關スル事務ニ從事スル者
 - 技師 專任一人
 - 技手 專任八人
- 四 國有林林道開設ニ關スル事務ニ從事スル者
 - 技手 專任五人
- 第十條 營林署ニ左ノ職員ヲ置ク
 - 一 公有林野官行造林ニ關スル事務ニ從事スル者
 - 技師 專任九人
 - 屬 專任二百九十四人
 - 技手 專任九人
 - 二 國有海岸林砂防設備ニ關スル事務ニ從事スル者
 - 技手 專任九人
 - 三 國有林造林地撫育事業ニ關スル事務ニ從事スル者
 - 技手 專任十人

- 第十一條 治水事業ニ關スル事務ニ從事セシムル爲林業試驗場ニ左ノ職員ヲ置ク
 - 技師 專任一人
 - 屬 專任十六人
 - 技手 專任十六人
- 附則
本令ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
農商務部内臨時職員設置制ハ之ヲ廢止ス
- 臨時農林省ニ米穀部ヲ設置スルノ件**
昭和七年六月二十九日勅令第九十五號
- 第一條 米穀法ノ施行及米穀統制計畫ノ調査ニ關スル事務ヲ掌ラシムル爲臨時農林省ニ米穀部ヲ置ク
 - 第二條 農林省ニ左ノ職員ヲ置キ米穀部ニ屬セシム
 - 部長 一人 勅任
 - 書記官 專任一人
 - 事務官 專任三人
 - 技師 專任四人
 - 屬 專任七人
 - 技手 專任十一人

- 第三條 部長ハ農林大臣ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス
 - 第四條 米穀統制計畫ノ調査ニ關スル事務ヲ輔ケシムル爲農林省ニ米穀部顧問ヲ置ク
 - 米穀部顧問ハ農林大臣ノ奏請ニ依リ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ
 - 米穀部顧問ハ勅任官ノ待遇トス但シ本官ヲ有スル者ニ付テハ本官ノ受クル待遇ニ依ル
- 附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時農林省ニ經濟更生部ヲ設置スルノ件

昭和七年九月二十七日勅令第二百五十九號

- 第一條 農山漁村ノ經濟更生計畫並ニ産業組合、農業倉庫、産業組合中央金庫及副業ニ關スル事務ヲ掌ラシムル爲臨時農林省ニ經濟更生部ヲ置ク
- 第二條 農林省ニ左ノ職員ヲ置キ經濟更生部ニ屬セシム
 - 部長 一人 勅任
 - 書記官 專任一人
 - 事務官 專任九人

臨時農林省ニ米穀部ヲ設置スルノ件 農林省分課規程

臨時農林省ニ經濟更生部ヲ設置スル

- 産業組合事務官 專任四人 奏任
 - 技師 專任六人
 - 屬 專任二十六人
 - 技手 專任十人
- 附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 農林省分課規程**
- 大正十四年四月一日農文第五號
改正大正十五年四月二十七日、昭和二年五月二十六日、一〇月二十五日、昭和四年四月二日、四年六月二日、五年六月一日、七月三〇日、九月二八日、十一月二八日
- 第一條 大臣官房ニ秘書課、文書課、統計課及會計課ヲ置

ク

第二條 祕書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 機密ニ屬スル事項
- 二 官吏ノ進退身分ニ關スル事項
- 三 僱外國人ニ關スル事項
- 四 大臣及次官ノ官印及省印ノ管守ニ關スル事項
- 五 褒賞ニ關スル事項

第三條 文書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 公文書ノ接受發送ニ關スル事項
- 二 各局部課成案ノ文書ノ審査及進達ニ關スル事項
- 三 公文書ノ編纂及保存ニ關スル事項
- 四 圖書ノ保存及刊行ニ關スル事項
- 五 各局部課ノ主掌ニ屬セサル事項

第四條 統計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 統計ノ調査、編纂及報告ニ關スル事項
- 二 地方統計事務ノ指導監督ニ關スル事項

第五條 會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 經費及諸收入ノ豫算、決算並會計ニ關スル事項
- 二 會計ノ監査ニ關スル事項
- 三 國有財産及物品ニ關スル事項
- 四 營繕ニ關スル事項

九 農業用器具機械(耕地ノ擴張、改良及維持ニ用キル器具機械ヲ除ク)ニ關スル事項

十 農事試驗場、茶業試驗場、園藝試驗場、地方農事試驗場及講習所ニ關スル事項

第十條 削除

第十一條 削除

第十二條 耕地課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 耕地整理ニ關スル事項
- 二 農業水利ニ關スル事項
- 三 大規模開墾計畫ニ關スル事項
- 四 開墾ノ爲ニスル用排水主要工事國營ニ關スル事項
- 五 土地利用ニ關スル事項
- 六 開墾助成ニ關スル事項
- 七 耕地ノ擴張及改良ニ伴フ移住ニ關スル事項
- 八 耕地ノ擴張、改良及維持ニ用キル器具機械ニ關スル事項

九 農用機械管理所ニ關スル事項

第十二條ノ二 肥料課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 肥料ノ需要、供給等ノ調査ニ關スル事項
- 二 肥料ノ取締其ノ他肥料ノ品質保全ニ關スル事項
- 三 肥料ノ配給其ノ他肥料經濟ノ改善ニ關スル事項

五 省内取締ニ關スル事項

第六條 大臣官房ニ法令審査委員ヲ置ク
法令審査委員ハ法令ノ審議ヲ掌ル

第七條 農務局ニ農政課、農產課、耕地課及肥料課ヲ置ク

第八條 農政課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 農政上諸般ノ調査ニ關スル事項
- 二 農會其ノ他農業上ノ團體ニ關スル事項
- 三 小作ニ關スル事項
- 四 自作農ノ創設及維持ニ關スル事項
- 五 萬國農事協會ニ關スル事項
- 六 他課ノ主掌ニ屬セサル事項

第九條 農產課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 農產物ノ改良増殖ニ關スル事項
- 二 糖業ノ改良ニ關スル事項
- 三 農產物(副業加工品ヲ除ク)ノ検査ニ關スル事項
- 四 施肥法ノ改良及自給肥料ノ改良増殖ニ關スル事項
- 五 茶業組合其ノ他茶業ノ改良ニ關スル事項
- 六 同業組合(副業加工品ニ關スル同業組合ヲ除ク)ニ關スル事項
- 七 輸出入農產物ノ調査ニ關スル事項
- 八 病蟲害、風水旱害及雹霜害等ニ關スル事項

第十三條 削除

第十四條 削除

第十五條 山林局ニ林政課、林務課、監理課及業務課ヲ置ク

第十六條 林政課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 林政上諸般ノ調査ニ關スル事項
- 二 林野整備調査ニ關スル事項
- 三 民有林造林促進其ノ他林業改良ニ關スル事項
- 四 山林會、森林組合、同業組合其ノ他林業團體ニ關スル事項
- 五 地方林政ノ庶務ニ關スル事項

第十六條ノ二 林務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 保安林ニ關スル事項
- 二 民有荒廢林地復舊事業ノ補助及工事國營ニ關スル事項
- 三 公有林野造林補助及海岸砂防造林獎勵ニ關スル事項
- 四 公有林野ノ統一、管理區分及入會整理ニ關スル事項
- 五 林業講習ニ關スル事項
- 六 林業試驗ニ關スル事項
- 七 林業ニ關スル展覽會、共進會及博覽會ニ關スル事項

- 一 國有林野諸般ノ調査ニ關スル事項
 - 二 營林局署ノ廢置分合ニ關スル事項
 - 三 國有林野及公有林野官行造林地ノ管理及處分ニ關スル事項
 - 四 山林局所管ノ豫算決算ノ調理及配付ニ關スル事項
 - 五 營林局署會計事務ノ監査ニ關スル事項
 - 六 山林局所管營繕ニ關スル事項
 - 七 訴願、訴訟其ノ他爭議ニ關スル事項
 - 八 林野現業員共濟組合ニ關スル事項
 - 九 他課ノ主掌ニ屬セサル事項
- 第十八條 業務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 國有林野ノ存廢區別及公有林野官行造林地ノ豫定ニ關スル事項
 - 二 國有林野ノ境界査定及測量並公有林野官行造林地ノ測量ニ關スル事項
 - 三 國有林野及公有林野官行造林地ノ施業、工事其ノ他營林ニ關スル事項
 - 四 國有林野及公有林野官行造林地ノ產物及製品ニ關スル事項
 - 五 森林、原野及森林附屬地タルヘキ土地ノ買上ニ關スル事項

- 第十九條 水產局ニ漁政課及水產課ヲ置ク
- 第二十條 漁政課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 漁業取締ニ關スル事項
 - 二 日露漁業協約及露領水產組合ニ關スル事項
 - 三 水產會、漁業組合、水產組合及同業組合ニ關スル事項
 - 四 專用漁業ニ關スル事項
 - 五 訴願、訴訟及裁決ニ關スル事項
 - 六 漁業登錄令ニ依ル登錄ノ申請書又ハ囑託書ノ接受及登錄ニ關スル事項
 - 七 他課ノ主掌ニ屬セサル事項
- 第二十一條 水產課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 遠洋漁業ノ指導獎勵ニ關スル事項
 - 二 水產冷蔵業獎勵ニ關スル事項
 - 三 前二號ノ外水產業ノ改良ニ關スル事項
 - 四 漁港ニ關スル事項
 - 五 臘胸獸保護ニ關スル事項
 - 六 水產講習所、水產試驗場並地方水產試驗場及講習所ニ關スル事項
- 第二十二條 畜產局ニ畜政課、家畜保險課、畜產課及馬產課ヲ置ク
- 第二十三條 畜政課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 畜政上諸般ノ調査ニ關スル事項

- 二 競馬法ノ施行ニ關スル事項
 - 三 畜產組合其ノ他畜產團體ニ關スル事項
 - 四 家畜市場及牛馬商ニ關スル事項
 - 五 獸醫師及蹄鐵工ニ關スル事項
 - 六 家畜衛生ニ關スル事項
 - 七 馬ノ去勢ニ關スル事項
 - 八 獸疫調査所ニ關スル事項
 - 九 狩獵ニ關スル事項
 - 十 鳥獸ノ調査ニ關スル事項
 - 十一 他課ノ主掌ニ屬セサル事項
- 第二十四條 家畜保險課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 家畜保險法ノ施行ニ關スル事項
 - 二 家畜再保險特別會計及之ニ屬スル物品ニ關スル事項
- 第二十五條 畜產課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 畜產ノ改良増殖ニ關スル事項
 - 二 畜產共進會ニ關スル事項
 - 三 種畜検査ニ關スル事項
 - 四 畜產物ニ關スル事項
 - 五 畜產試驗場、種羊場、種鶏場及地方種畜場ニ關スル事項
- 第二十六條 馬產課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 馬ノ改良増殖ニ關スル事項
- 二 馬籍ニ關スル事項
- 三 種牡馬検査ニ關スル事項
- 四 國有種馬ニ關スル事項
- 五 種馬牧場、種馬育成所及種馬所ニ關スル事項
- 六 馬ヲ主トスル共進會及地方種畜場ニ關スル事項
- 第二十七條 蠶絲局ニ海外生絲市場調査事務所ノ外繭絲課及蠶業課ヲ置ク
- 第二十八條 繭絲課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 輸出生絲検査法ノ施行ニ關スル事項
 - 二 製絲業法ノ施行ニ關スル事項
 - 三 絲價安定融資補償法及絲價安定融資損失善後處理法ノ施行ニ關スル事項
 - 四 絲價安定融資擔保生絲買收法ノ施行ニ關スル事項
 - 五 生絲ノ需要増進ニ關スル事項
 - 六 生絲ニ關スル業務ノ改良、取締及調査ニ關スル事項
 - 七 乾繭取引ノ獎勵ニ關スル事項
 - 八 繭檢定事業獎勵ニ關スル事項
 - 九 製絲業ノ共同施設獎勵ニ關スル事項
 - 十 蠶絲業ノ團體ニ關スル事項
 - 十一 生絲検査所及地方生絲検査所ニ關スル事項

官規

十二 道府縣廳檢定所ニ關スル事項

十三 他課ノ主掌ニ屬セザル事項

第二十九條 蠶業課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 桑園ノ調査、改良及増殖ニ關スル事項

二 稚蠶共同桑園及稚蠶共同飼育所ニ關スル事項

三 原蠶種ノ改良整理ニ關スル事項

四 蠶病ノ豫防ニ關スル事項

五 蠶及繭ニ關スル業務ノ改良、取締及調査ニ關スル事項

六 栽桑、蠶種製造、養蠶又ハ桑苗、蠶種、繭ノ賣買、仲立若ハ保管ヲ業トスル者ノ團體ニ關スル事項

七 蠶業試驗場及地方蠶業試驗場ニ關スル事項

第三十條 米穀部ニ米穀事務所ノ外計畫課、調査課、米穀課及經理課ヲ置ク

第三十一條 計畫課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 米穀政策上諸般ノ調査ニ關スル事項

二 米穀統制計畫ニ關スル事項

三 他課ノ主掌ニ屬セザル事項

第三十二條 調査課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 在米高ノ調査ニ關スル事項

二 米穀生産費ノ調査ニ關スル事項

四五四

三 米穀法第四條ノ最低價格及最高價格ニ關スル事項

四 米穀ノ需給、價格及取引ノ調査ニ關スル事項

五 米穀ノ加工、運送、貯藏、病蟲害ノ驅除豫防等ノ調査ニ關スル事項

第三十三條 米穀課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 米穀法ニ依ル米穀ノ買入、賣渡、交換、加工及貯藏ニ關スル事項

二 米穀ノ輸入税ノ増減若ハ免除又ハ其ノ輸入若ハ輸出ノ許可ニ關スル事項

三 米穀法施行令第十二條ノ指定及同令第十三條ノ報告ニ關スル事項

第三十四條 經理課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 米穀需給調節特別會計ニ關スル事項

二 前號ノ會計ニ屬スル國有財産、物品及營繕ニ關スル事項

第三十五條 經濟更生部ニ總務課、産業組合課、金融課及副業課ヲ置ク

第三十六條 總務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 經濟更生計畫上諸般ノ調査ニ關スル事項

二 經濟更生計畫ノ指導、樹立及審査ニ關スル事項

三 地方農林業事情ノ蒐集及通報ニ關スル事項

次官ハ左ノ事項ヲ專決處理スルコトヲ得但シ特ニ重要ノ關係アルモノ及事ノ異例ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス

一 一般

一 法令ノ解釋ニ關スル件

二 省令又ハ訓令中一部改正ニ關スル件

三 告示ニ關スル件

四 道府縣聯合共進會規則ニ依ル褒賞ニ關スル件

五 管轄官廳ノ諸規程ニ關スル件

六 地方産業機關ノ設置又ハ廢止ノ認可ニ關スル件

七 公益法人ノ設立許可ニ關スル件

八 公益法人、公益法人及組合ノ役員、清算人、議員、特別議員、委員、検査員ノ選任又ハ解任並經費ノ豫算若ハ徵收方法又ハ會則定款規約等ノ變更及決議ノ取消ニ關スル件但シ帝國農會、帝國水産會、産業組合中央金庫及各種中央會ニ關スルモノヲ除ク

九 各種法人ノ財産供託及清算ニ關スル件

十 各種組合ノ聯合會加入及脱退ニ關スル件

十一 各種ノ國庫補助金及獎勵金ニ關スル件但シ帝國農會、帝國水産會及各種中央會ニ對スルモノ其ノ他特殊ノモノヲ除ク

十二 各種練習生ニ關スル件

次官專決事項及局長官房各課長委任事項

次官專決事項

次官專決事項及局長官房各課長委任事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

次官專決事項

大正十四年四月一日農文第六號制定
改正大正十五年五月農文第一三九號
改正昭和二年五月農文第一九六號
改正昭和六年十月農文第七八二號
改正昭和七年六月農文第七四一號

次官專決事項及局長官房各課長委任事項

官規

- 十三 低利資金ニ關スル件
- 十四 登錄異議ニ關スル件
- 十五 訴訟ニ關スル件
- 十六 請願、建議及陳情書ニ關スル件但シ帝國議會ニ提出セラレタルモノヲ除ク
- 十七 報告書及復命書ニ關スル件
- 十八 各種主任官會議又ハ協議會ノ經過報告ニ關スル件
- 十九 官廳其ノ他ニ對スル通牒、照會又ハ回答ニ關スル件
- 二十 地種目組替、公用財産ノ用途變更又ハ林野ノ存廢區別(閣議決定ヲ要スルモノヲ除ク)ニ關スル件
- 二十一 物品保管轉換ニ關スル件
- 二十二 國有財産ノ貸付及準貸付ニ關スル件但シ林野ヲ除ク
- 二十三 工事、印刷物、物件ノ賣買、貸借、運搬及職工人夫雇傭ニ關スル件
- 二十四 寫字料、廣告料、翻譯料及謝金ニ關スル件
- 二十五 債權拋棄ニ關スル件
- 二十六 會計検査院ノ審理ニ關スル件
- 二十七 物品亡失毀損ノ場合ニ於ケル處分ニ關スル件

官房

- 一 高等官待遇地方産業職員ノ進退及級位變動ニ關スル件

四五六

- 但シ懲戒ニ係ルモノヲ除ク
- 二 地方森林會議員命免ニ關スル件
- 三 警務署長ノ命免ニ關スル件
- 四 判任官以下ノ進退及賞與又ハ給與ニ關スル件但シ懲戒ニ係ルモノヲ除ク
- 五 囑託員ノ採罷及給與ニ關スル件但シ高等官ト同一ノ待遇ヲ受クルモノヲ除ク
- 六 高等官及同待遇者ノ營業又ハ就職許可ニ關スル件但シ各局部課長及之ニ準スル者以上ヲ除ク
- 七 各局部課長及之ニ準スル者ノ鑑定人トシテ裁判所ニ出頭ニ關スル件
- 八 各局部課長及之ニ準スル者ノ内國出張ニ關スル件
- 九 局長部長官房各課長内國出張發著届ニ關スル件
- 十 高等官及同待遇者ノ海外出張發著届ニ關スル件但シ局長部長官房各課長ヲ除ク
- 十一 博覽會、共進會等ノ審査長、審査官及審査員ノ命免ニ關スル件

農務局

- 一 産業組合中央金庫ノ從タル事務所ノ設置ノ認可ニ關スル件
- 二 産業組合中央金庫ノ定款變更及業務上ノ餘裕金ノ預入

- 先銀行ノ認可ニ關スル件
- 三 産業債券發行認可ニ關スル件
- 四 産業組合中央金庫ノ剩餘金處分ノ認可ニ關スル件
- 五 開墾助成法ニ依ル處分ニシテ百町步ヲ超ユルモノニ對スル助成金ノ交付、交付ノ停止、交付ノ廢止及其ノ償還命令ニ關スル件

山林局

- 一 保安林ノ解除及補償ニ關スル件
- 二 林野ノ讓與ニ關スル件
- 三 林野ノ社寺境内編入ニ關スル件但シ内務省ノ意見ニ同意シ難シト認メタルモノヲ除ク
- 四 委託林ニ關スル件
- 五 部分林設定區域認可ニ關スル件
- 六 立木ノ年期賣拂及製品ノ委託販賣ニ關スル件
- 七 國有林野内ニ於ケル史蹟名勝天然記念物指定ニ關スル件但シ内務省ト意見ヲ異ニスルモノヲ除ク

水産局

- 一 舊漁業法施行前ノ契約又ハ慣行ニ依ル入漁登録ニ關スル件
- 二 錯誤ノ處分又ハ休業ノ場合ニ於ケル漁業權取消ニ關スル件

次官專決事項及局長官房各課長委任事項

四五七

- 三 漁業法ニ依ル爭議ノ裁決ニ關スル件
- 四 汽船「トロール」漁業ノ操業區域又ハ漁獲物陸揚港ノ變更許可船舶ノ碇泊又ハ検査ノ命令ニ關スル件
- 五 汽船「トロール」漁業取締規則第三十條ノ二ニ依ル休業ノ場合ニ於ケル許可ノ取消ニ關スル件
- 六 鯨漁ノ根據地設置ノ許可及操業區域變更ノ認可ニ關スル件
- 七 工船蟹漁業ノ許可期間更新ニ關スル件
- 八 工船蟹漁業ノ操業區域ノ變更許可ニ關スル件
- 九 工船蟹漁業取締規則第三條第二項又ハ第十四條ニ依ル許可ノ取消ニ關スル件
- 十 工船蟹漁業取締規則第十三條ノ二ニ依ル工船ノ讓受又ハ借受ノ許可ニ關スル件
- 十一 母船式鮭鱒漁業ノ操業區域ノ變更許可ニ關スル件
- 十二 母船式鮭鱒漁業取締規則第十六條ニ依ル許可ノ取消ニ關スル件
- 十三 機船底曳網漁業者ニ對スル機船底曳網漁船ノ碇泊命令ニ關スル件

畜産局

- 一 競馬法第一條及第二條ニ依ル認可ニ關スル件
- 二 競馬法施行規則第二條第一項第一號ニ掲クル事項ノ變

更ノ認可ニ關スル件

- 三 家畜市場法第四條ニ依ル認可ニ關スル件
- 四 家畜市場法第十六條第二項ニ依ル處分ニ關スル件
- 五 畜産功勞賞ニ關スル件
- 六 禁獵區及獵區ニ關スル件
- 七 家畜防疫職員制第三條ニ依ル防疫獸醫ヲ置クヘキ廳府縣及其ノ定員ニ關スル件

蠶絲局

- 一 蠶絲業組合法第三十條ノ認可ニ關スル件
 - 二 共同繭倉庫及共同乾繭裝置助成規則第十二條ニ依ル認可並第二十條及第二十一條ニ依ル處分ニ關スル件但シ第二十條ニ依ル處分ニシテ事ノ輕易ナルモノヲ除ク
 - 米穀部
 - 一 米穀ノ運搬、乾燥及加工ニ關スル件
 - 二 米穀寄託倉庫ノ指定ニ關スル件
 - 三 米穀需給調節特別會計法第二條ニ依ル借入金ニ關スル件
 - 四 米穀ノ買換又ハ整理ノ爲他官廳ニ對スル米穀ノ賣却ニ關スル件
 - 五 米穀ノ輸入又ハ輸出ノ許可ニ關スル件
- 局長部長官房各課長委任事項
各局長、部長及官房各課長ハ左ノ事項ヲ專決處理スルコト

ヲ得但シ特ニ重要ノ關係アルモノ又ハ事ノ異例ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス

通則

- 一 法令ノ解釋ニシテ事ノ輕易ナルモノニ關スル件
- 二 管轄地方長官ノ指定ニ關スル件
- 三 道廳府縣令ノ認可ニ關スル件
- 四 道府縣聯合共進會規則第二條第二項ニ依ル認可及同則第四條ニ依リ開設シタル共進會ノ褒賞ニ關スル件
- 五 內議決定濟ニ係ル事項ノ認可ニ關スル件
- 六 公法人、公益法人及組合ノ經費ノ豫算決算若ハ徵收ノ方法、役員、清算人、特別議員、検査員ノ選任、解任又ハ會則、定款、規約等變更ノ認可ニ關スル件
- 七 同業組合又ハ同業組合聯合會ノ發起認可打合及設立又ハ解散ノ認可ニ關スル件
- 八 同業組合準則ニ依ル組合又ハ聯合會ノ設立、分立、合併又ハ規約變更ノ認可ニ關スル件
- 九 各種組合ノ聯合會ノ加入又ハ脫退ノ認可ニ關スル件
- 十 各種法人ノ加入免除及加入又ハ脫退ノ指定ニ關スル件
- 十一 各種法人ノ登記囑託ニ關スル件
- 十二 官廳、法人其ノ他ニ對スル調査、講習其ノ他ノ事項ノ命令又ハ囑託ニ關スル件

十三 各種講習生又ハ講習生ニ關スル件但シ外國ニ派遣スル者ノ採罷及手當金ノ返還、停止又ハ減額命令ヲ除ク

十四 定率ニ據リ又ハ所定ノ限度内ニ於テスル補助金又ハ獎勵金交付ニ關スル件

十五 豫算ノ範圍内ニ於テスル道府縣ニ對スル補助金又ハ獎勵金交付ニ關スル件

十六 交付シタル補助金又ハ獎勵金ノ殘額處理ニ關スル件

十七 各種補助金若ハ獎勵金交付ニ關スル法令又ハ其ノ交付ニ付定メタル條件ニ基ク許可、認可又ハ承認ニ關スル件

十八 明治四十三年農商務省令第六號第三條ニ依ル認可ニ關スル件

十九 低利資金ノ道廳府縣配付ニ關スル件

二十 豫算ノ範圍内ニ於テスル講習講話ニ關スル件

二十一 官廳其ノ他ニ對スル通牒、照會又ハ回答ニシテ事ノ輕易ナルモノニ關スル件

二十二 書類ノ訂正、督促、問合其ノ他庶務整理ノ必要ニ依ル照會又ハ回答ニ關スル件

二十三 免許狀、許可證等ノ書換、再下付又ハ返納ニ關スル件

二十四 受領書、證明書、謄本、抄本等下付又ハ移送ニ關スル件

次官專決事項及局長官房各課長委任事項

スル件

二十五 提出者ノ請求ニ因ル處分未濟書類返戻ニ關スル件

二十六 陳情書、報告書又ハ復命書ニシテ事ノ輕易ナルモノニ關スル件

二十七 法規定例ニ依リ官廳其ノ他ヨリ提出スル各種ノ報告、届又ハ請求書等ノ處理ニ關スル件

二十八 主管事項ニ關スル質問應答ニ關スル件

二十九 內國博覽會、共進會其ノ他ノ場合ニ於ケル參考品ノ出品又ハ貸與ニ關スル件

三十 圖書、印刷物、標本、見本等ノ配付、貸借又ハ領收ニ關スル件

三十一 月俸又ハ日給三十日分八十五圓ヲ越エサル雇員ノ命免及給與ニ關スル件

三十二 巡視、小使、給仕其ノ他傭人ノ傭罷及給與ニ關スル件

三十三 局部課員ノ事務分擔命免ニ關スル件但シ課長及之ニ準スル者ヲ除ク

三十四 局部課員及局部課員タリシ者ノ裁判所ニ於ケル證言供述許可ニ關スル件

三十五 局部課員ノ鑑定人トシテ裁判所ニ出頭ニ關スル件但シ課長及之ニ準スル者ヲ除ク

官規

- 三十六 局部課員ノ内國出張ニ關スル件但シ課長及之ニ準スル者ヲ除ク
- 三十七 局部課員ノ受驗、看護歸省、墓參、轉地療養、私事旅行及除服出仕ニ關スル件
- 三十八 局部課員ノ大正十一年閣令第六號ノ規定ニ依ル休暇ニ關スル件
- 三十九 局部課員ノ缺勤届及内國出張發着届ニ關スル件
- 四十 出納官吏又ハ會計規則及物品會計規則ニ依ル検査員、立會員及代務員ノ命免ニ關スル件
- 四十一 訴訟代理人ノ選定及干圓以内ノ辯護料決定ニ關スル件
- 四十二 工事、印刷物、物件ノ買入、賃借、運搬又ハ人夫、職工雇傭ニシテ五千圓ヲ超エサルモノ及物件ノ賣拂ニ關スル件
- 四十三 工事ノ竣功延期及物品納入延期ニ關スル件
- 四十四 寫字料、廣告料、翻譯料及謝金ニ關スル件但シ千圓ヲ超ユルモノヲ除ク
- 四十五 前渡現金ニ關スル件
- 四十六 官吏出張先ニ於テ公務ニ要シタル通信運搬費、人夫賃、物品購入代等仕拂ニ關スル件但シ五百圓ヲ超ユルモノヲ除ク

シ局長部長官房各課長ヲ除ク

- 十六 外國人僱入又ハ解傭ノ通牒ニ關スル件
- 十七 他官廳ヨリ又ハ他官廳ニ對スル官吏以下採用濟通知ニ關スル件
- 十八 營林局長、攝行ノ判任官任免又ハ賞與ノ報告ニ關スル件
- 十九 營林局署判任官所屬經費變更報告ニ關スル件
- 文書課長
- 一 公文書又ハ圖書ノ貸借ニ關スル件
- 二 内務省ニ對スル出版圖書ノ送付及版權登錄通知ニ關スル件
- 三 本省出版物ノ翻刻、發賣及著作權讓渡ニ關スル件
- 四 本省編纂資料ノ私費出版發賣ニ關スル件
- 五 本省出版物記載事項ヲ新聞雜誌等ヘ轉載ニ關スル件
- 六 公文書又ハ圖書亡失毀損ノ場合ニ於ケル處分ニ關スル件但シ故意又ハ怠慢ニ依ルモノヲ除ク
- 七 保存期間滿了ノ公文書廢棄ニ關スル件
- 會計課長
- 一 歳入徵收ニ關スル件
- 二 諸拂戻金ニ關スル件
- 三 豫算ノ令達及局部課長ト合議ノ上其ノ定額内ニ於テス

次官專決事項及局長官房各課長委任事項

四六〇

- 四十七 療治料又ハ死傷手當等給與ニ關スル件
- 四十八 物品出納計算書ニ關スル件
- 四十九 本省内又ハ本省ト所管各廳トノ間ニ於ケル物品ノ保管轉換ニ關スル件
- 五十 受託出張申請ニ關スル件
- 祕書課長
- 一 地方產業職員ノ定員ニ關スル件
- 二 判任官及同待遇者敘位敘勳ニ關スル件
- 三 恩給ニ關スル件
- 四 恩給受領者ノ採用罷免通牒ニ關スル件
- 五 死亡賜金給與ニ關スル件
- 六 勳位記、褒賞、追賞又ハ恩給證書傳達ニ關スル件
- 七 褒賞、賞杯等領票送付ニ關スル件
- 八 寄附者行賞ニ關スル件
- 九 恒例ニ依ル儀式ニ關スル件
- 十 判任官以下ノ營業又ハ就職許可ニ關スル件
- 十一 勤務演習又ハ簡閱點呼ノ免除ニ關スル件
- 十二 海外旅行券交付ニ關スル件
- 十三 判任官以下ノ海外出張發着届ニ關スル件
- 十四 官吏ノ出京又ハ歸任届ニ關スル件
- 十五 高等官以下ノ改姓名、轉籍又ハ死亡届ニ關スル件但

ル増減又ハ經費組替ニ關スル件

- 四 歳出仕拂豫算送付ニ關スル件
- 五 日以下ノ經費流用ニ關スル件
- 六 經費過年度支出ニ關スル件
- 七 繰越明許ノ費途ニ對シ翌年度ニ亙ル契約締結ニ關スル件
- 八 償還請求ニ關スル件
- 九 科目設置ニ關スル件
- 十 第一豫備金支出請求ニ關スル件
- 十一 爲替差増減金整理方大藏省ヘ照會ニ關スル件
- 十二 公債換價請求ニ關スル件
- 十三 徵收總報告書、支出總報告書及計算證明書類送付ニ關スル件
- 十四 法規定例ニ依リ大藏省又ハ會計検査院ヘ通牒、報告等ニ關スル件
- 十五 會計検査院ノ審理ニシテ事ノ輕易ナルモノニ關スル件
- 十六 物品又ハ歳入歳出外現金ノ出納委託検査及責任解除ニ關スル件
- 十七 省議決定濟ニ係ル地種目組替又ハ公用財産ノ用途變更ニ關スル件

- 十八 定期貸、据置貸編入ニ關スル件
- 十九 特別旅費支給ニ關スル件
- 二十 物件ノ代價又ハ工事費用ノ内渡ニ關スル件
- 二十一 會計規則第百十五條及第百十六條ニ依ル隨意契約締結ニ關スル件
- 二十二 五百圓ヲ超エサル物品ノ亡失毀損ノ場合ニ於ケル處分ニ關スル件但シ故意又ハ怠慢ニ因ルモノヲ除ク
- 二十三 省内ニ於ケル遺失物處分ニ關スル件
- 二十四 御門鑑取扱ニ關スル件
- 二十五 會議室使用ニ關スル件
- 統計課長
- 一 官廳其ノ他ヘ送付スヘキ統計ニ關スル件
- 二 官廳其ノ他ヨリ提出スル統計ニ關スル件
- 農務局長
- 一 農會ノ設立、合併、分割、解散又ハ借入金ノ認可ニ關スル件但シ帝國農會ヲ除ク
- 二 農業倉庫業法施行規則附則ニヨル認可ニ關スル件
- 三 農業用機械ノ貸與ニ關スル件
- 四 茶業組合規則第四條又ハ第二十五條ニ依ル認可ニ關スル件
- 五 肥料取締法第八條又ハ同法施行規則第十四條ニ依ル認

- 可ニ關スル件
- 六 害蟲驅除豫防法第二條又ハ第十條ニ依ル認可ニ關スル件
- 七 輸出入植物取締法第三條ニ依ル許可及輸移出柑橘容器ノ許可打合ニ關スル件
- 八 産業組合中央金庫ノ加入金及増口金ノ認可ニ關スル件
- 九 産業組合中央金庫ノ金庫原簿ノ送付及其ノ記載事項變更ニ關スル件
- 十 種苗種子等配布ニ關スル件
- 十一 開墾助成法ニ依ル處分ニ關スル件但シ百町歩ヲ超ユルモノニ對スル助成金ノ交付、交付ノ停止、交付ノ廢止及其ノ償還命令ニ關スルモノヲ除ク
- 十二 開墾用機械ノ貸與ニ關スル件
- 山林局長
- 一 保安林編入解除ニ關スル件但シ解除ニシテ社寺境内編入ノ場合ニ於ケル五町歩ヲ超ユルモノ、地種組替ノ場合ニ於ケル省議未決ノ十町歩ヲ超ユルモノ又ハ讓與ノ場合ニ於ケル一町歩ヲ超ユルモノヲ除ク
- 二 保安林施業方法ノ指定ニ關スル件
- 三 開墾ノ制限又ハ禁止ニ關スル件
- 四 森林法ニ依ル火入ノ場合指定許可ニ關スル件

- 五 森林ニ於ケル蟲類以外ノ動物又ハ微菌ノ驅除豫防ノ認可ニ關スル件
- 六 林野存廢區別ノ認可ニ關スル件
- 七 施業案ノ認可ニ關スル件
- 八 事業豫定案ノ確定又ハ變更ノ認可ニ關スル件
- 九 林野ノ社寺境内編入ニ關スル件但シ五町歩ヲ超ユルモノヲ除ク
- 十 地種組替ニシテ省議決定済ニ係ルモノ及十町歩ヲ超エサルモノニ關スル件
- 十一 國有林野ノ耕地整理地區編入認可ニ關スル件
- 十二 不要存置林野處分調査總括表ノ認可及異動訂正ニ關スル件
- 十三 不要存置林野賣拂及賣拂豫約ニ關スル件
- 十四 林野ノ讓與ニ關スル件但シ一町歩ヲ超ユルモノヲ除ク
- 十五 林野ノ貸付及使用ニ關スル件
- 十六 保管林ニ關スル件
- 十七 委託林ノ委託期間更新ニ關スル件
- 十八 保管者又ハ受託者ノ保管林又ハ委託林野ノ產物採取ニ關スル件
- 十九 部分林分收部合ノ決定及契約解除ニ關スル件

次官專決事項及局長官房各課長委任事項

- 二十 國有林野内ノ史蹟名勝天然記念物ノ管理ニ關スル件
- 二十一 公有林野官行造林契約締結、變更又ハ解除ノ認可ニ關スル件
- 二十二 林業ノ試験ニ關スル件
- 二十三 雨量觀測所又ハ量水標ノ設置、變更及廢止ニ關スル件
- 二十四 營林局間ニ於ケル判任官轉勤ニ關スル件
- 二十五 未教習森林主事臨時擔當區詰認可ニ關スル件
- 二十六 繰越明許ノ費途ニ對シ翌年度ニ互ル契約締結ノ認可ニ關スル件
- 二十七 經費豫算定額ノ増減ニ關スル件
- 二十八 保安林特別補償金配付ニ關スル件
- 二十九 目以下ノ經費流用ニ關スル件
- 三十 歳入及歳出ノ年度又ハ科目目遷据置整理ニ關スル件
- 三十一 借地借家料又ハ造林料苗木購入ニシテ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約締結ノ認可ニ關スル件
- 三十二 法規定例ニ依リ大藏省又ハ會計検査院へ通牒、報告等ニ關スル件
- 三十三 會計検査院ノ審理ニシテ事ノ輕易ナルモノニ關スル件
- 三十四 營林局署ノ物品又ハ歳入歳出外現金ノ出納委託檢

官規

四六四

- 查及責任解除ニ關スル件
 - 三十五 諸拂戻金ニ關スル件
 - 三十六 土地ニ非サル營林財産ノ目的ノ廢止ニ關スル件
 - 三十七 工事ノ指定並印刷物、物件ノ賣買貸借、運搬及人夫職工雇傭ノ認可ニ關スル件但シ施業林買上ニシテ干圓ヲ超ユルモノヲ除ク
 - 三十八 給與、寫字料、廣告料、翻譯料、保管料、諸手數料、謝金及辯護士旅行手當ノ認可ニ關スル件
 - 三十九 干圓未滿ノ債權拋棄ノ認可ニ關スル件
 - 四十 不用物件ノ讓與ノ認可ニ關スル件
 - 四十一 職工、傭人賃金支給ノ認可ニ關スル件
 - 四十二 營林局署職工、傭人表彰ノ認可ニ關スル件
 - 四十三 特別旅費支給ニ關スル件
 - 四十四 償還請求ニ關スル件
 - 四十五 干圓ヲ超エサル慰藉料及損害手當支給ノ認可ニ關スル件
- 水產局長
- 一 水產組合、水產組合聯合會又ハ漁業組合聯合會ノ發起、設立又ハ解散ノ認可ニ關スル件
 - 二 水產會ノ設立、合併、分割又ハ解散ノ認可ニ關スル件但シ帝國水產會ヲ除ク

- 三 漁業免許及漁業免許期間更新ニ關スル件
- 四 漁業權ノ分割又ハ變更ノ許可ニ關スル件
- 五 漁業權處分ノ認可ニ關スル件
- 六 漁業休業ノ認可ニ關スル件
- 七 潮河魚類ノ通路ヲ妨害スル工作物ノ除害工事及其ノ補償ニ關スル件
- 八 漁業法施行規則ニ依ル代表者ニ關スル件
- 九 漁業法施行規則第四十五條ニ依ル許可ニ關スル件
- 十 漁業法施行規則ニ依ル告示、公告又ハ通知ニ關スル件但シ第十五條ニ依ル告示ヲ除ク
- 十一 漁業登錄ニ關スル件
- 十二 免許漁業原簿及其ノ附屬書類ノ閱覽ニ關スル件
- 十三 鯨魚根據地ノ設備變更ノ認可及休業ノ認可ニ關スル件
- 十四 汽船「トロール」漁業ノ營業許可、漁獲物運搬ノ許可及漁獲物臨時陸揚ノ許可ニ關スル件
- 十五 汽船「トロール」漁業取締規則第二十七條ニ依ル船長ノ下船又ハ解備ニ關スル件
- 十六 汽船「トロール」漁業ノ停止ヲ命シタル場合ニ於ケル指定碇泊港變更ノ許可ニ關スル件
- 十七 「トロール」汽船ノ特殊漁具使用ノ許可又ハ認可ニ關スル件

スル件

件

- 十八 汽船「トロール」漁業ノ試験許可ニ關スル件
- 十九 汽船「トロール」漁業又ハ遠洋漁業獎勵金下付ノ出願船ノ検査ニ關スル件
- 二十 遠洋漁業獎勵法第十條ニ依ル調査又ハ練習生乗組ノ命令ニ關スル件
- 二十一 工船蟹漁業許可證ニ記載シタル事項ノ變更許可ニ關スル件但シ操業區域ノ變更許可ニ關スルモノヲ除ク
- 二十二 工船蟹漁業者ニ對スル工船ノ船長ノ變更命令ニ關スル件
- 二十三 工船蟹漁業取締規則第十五條ノ二ニ依ル許可ニ關スル件
- 二十四 母船式鮭鱒漁業ノ母船使用承認ニ關スル件
- 二十五 母船式鮭鱒漁業許可證ニ記載シタル事項ノ變更許可ニ關スル件但シ操業區域ノ變更許可ニ關スルモノヲ除ク
- 二十六 母船式鮭鱒漁業ノ母船使用承認證ニ記載シタル事項ノ變更承認ニ關スル件
- 二十七 母船式鮭鱒漁業者ニ對スル管理人又ハ母船ノ船長ノ下船命令ニ關スル件

- 二十八 水產冷蔵獎勵金交付許可ノ目的物ノ検査ニ關スル件
- 二十九 漁業監督吏員ノ命免ニ關スル件
- 三十 漁獵職員試験ニ關スル件
- 三十一 漁業用發動機検査ニ關スル件
- 畜產局長
- 一 競馬法第三條及第七條ニ依ル認可ニ關スル件
- 二 競馬法施行規則第二條第一項第三號乃至第十一號ニ掲クル事項ノ變更認可並同條第五項ニ依ル處分ニ關スル件
- 三 競馬法施行規則第十條及第二十六條ニ依ル認可ニ關スル件
- 四 畜產市場法第八條ニ依ル認可ニ關スル件
- 五 畜產組合聯合會ニ對スル認可ニ關スル件
- 六 獸醫師又ハ蹄鐵工學校ノ學則認可ニ關スル件
- 七 獸醫師又ハ蹄鐵工免許試験ニ關スル件
- 八 獸醫師又ハ蹄鐵工免狀下付及醫籍登錄ニ關スル件
- 九 畜產賞金及畜產獎勵金ニ關スル件
- 十 種牡牛、種牡馬又ハ種綿羊ノ貸付及返納命令認可ニ關スル件
- 十一 學術研究ノ爲ニスル牡牛又ハ牡馬種付使用認可ニ關スル件

次官專決事項及局長官房各課長委任事項

四六五

スル件

- 十二 種畜種付規則第二條、種羊羊貸付規程第一條第二項、種畜拂下規則第二條又ハ種禽種卵拂下規程第二條ニ依ル告示及種畜拂下規程第三條ニ依ル指定ニ關スル件
- 十三 原種牛、原種綿羊、原種山羊、豚淘汰處分ニ關スル件
- 十四 緬羊飼育獎勵規則第一條第二項ニ依ル獎勵金交付ニ關スル件
- 十五 種羊場ニ於ケル原種綿羊ノ定數ニ關スル件
- 十六 種牡馬検査施行ニ關スル件
- 十七 種牡馬検査法施行規則第八條ニ依ル認可ニ關スル件
- 十八 種牡馬検査委員任免ニ關スル件
- 十九 種牡馬種付料認可ニ關スル件
- 二十 馬ノ補充及淘汰ニ關スル件
- 二十一 家畜ニ應用スル細菌學的豫防治療品及診斷品取締規則ニ依ル認可ニ關スル件
- 二十二 關稅定率法ニ依ル種用動物獸疫免疫血清又ハ獸疫豫防疫ノ輸入許可ニ關スル件
- 二十三 馬匹去勢法第五條ニ依ル償金交付ニ關スル件
- 二十四 官廳所有ニ屬スル馬匹ノ去勢ニ關スル件
- 二十五 馬匹去勢法第二條第一項ノ去勢猶豫頭數決定ニ關スル件

スル件

- 二十六 家畜家禽等ノ受託購買ニ關スル件
- 二十七 狩獵法第四條ニ依ル認可ニ關スル件
- 二十八 狩獵法第十二條ニ依ル認可ニ關スル件
- 二十九 獵區ニ關スル件但シ設定及取消ヲ除ク
- 三十 共同狩獵地免許期間更新ニ關スル件
- 三十一 狩獵法施行規則第九條、第二十九條、第三十二條ノ三及第三十三條ニ依ル公告及告示ニ關スル件
- 三十二 家畜保險組合ノ設立、合併、分割及解散ノ認可ニ關スル件
- 三十三 家畜再保險特別會計法ニ關スル左ニ掲グル事項
 - (1) 歳入徴收ニ關スル件
 - (2) 再保險金及再保險料ノ還付金ノ支拂並ニ諸拂戻金ニ關スル件
 - (3) 目以下ノ經費流用ニ關スル件
 - (4) 經費過年度支出ニ關スル件
 - (5) 會計規則第一百五條及第一百六條ニ依ル隨意契約ニ關スル件
 - (6) 物件ノ代價又ハ工事費用ノ内渡ニ關スル件
 - (7) 計算證明書類送付ニ關スル件
 - (8) 五百圓ヲ超エサル物品亡失毀損ノ場合ニ於ケル處

分ニ關スル件但シ故意又ハ怠慢ニ因ルモノヲ除ク

(9) 餘裕金ノ大藏省預金部預入ニ關スル件

(10) 一時借入金ノ借入並ニ借入金及一時借入金ノ償還

及利子ノ支拂ニ關スル件

(11) 積立金ノ運用ニ關スル件

(12) 積立金繰替使用ニ關スル件

蠶絲局長

- 一 蠶絲業組合及道府縣養蠶業組合聯合會ノ設立、合併、分割、解散又ハ統制ニ關スル施設ノ認可ニ關スル件
- 二 蠶絲業組合及蠶絲業組合聯合會ノ借入金ノ認可ニ關スル件
- 三 蠶絲業法施行規則第五十五條、第七十二條第一項、第二項又ハ第七十四條ニ依ル許可ニ關スル件
- 四 蠶絲業法施行規則第五十六條第二項ニ依ル検査ニ關スル方法ノ變更認可ニ關スル件
- 五 蠶絲業法施行規則第七十七條ニ依ル許可ノ取消ニ關スル件
- 六 蠶絲業同業組合中央會ノ議員定數及配當ノ告示並其ノ特別議員ノ任命及任期伸縮ニ關スル件
- 七 共同繭倉庫及共同乾繭裝置助成規則第八條ノ検査ヲ爲スベキ者ノ指定ニ關スル件

次官專決事項及局長官房各課長委任事項

八 共同繭倉庫及共同乾繭裝置助成規則第二十條ニ依ル處分ニシテ事ノ輕易ナルモノニ關スル件

米穀部長

一 米穀法及米穀需給調節特別會計法ニ關スル左ニ掲グル事項

- (1) 歳入徴收ニ關スル件
- (2) 諸拂戻金ニ關スル件
- (3) 目以下ノ經費流用ニ關スル件
- (4) 經費過年度支出ニ關スル件
- (5) 何濟ノ範圍内ニ於ケル米穀ノ買入、賣渡、交換、乾燥、加工、運搬及貯藏ニ關スル件
- (6) 米穀ノ燻蒸ニ關スル件
- (7) 保管料及諸手数料ニ關スル件
- (8) 荷粉米及一千俵又ハ一千袋以下ノ輕俵、濡米、燒米等損傷米ノ整理及處分並ニ百俵又ハ百袋以下ノ米穀ノ加工ニ關スル件
- (9) 會計規則第一百五條及第一百六條ニ依ル隨意契約ニ關スル件
- (10) 物件ノ代價又ハ工事費用ノ内渡ニ關スル件
- (11) 米穀證券發行請求ニ關スル件
- (12) 計算證明書類送付ニ關スル件

- (13) 五百圓ヲ超エザル物品亡失毀損ノ場合ニ於ケル處分ニ關スル件但シ故意又ハ怠慢ニ因ルモノヲ除ク
- (14) 十萬圓ヲ超エザル借入金ノ借入並ニ借入金ノ償還及利子ノ支拂ニ關スル件
- (15) 部下ノ官吏ヲシテ契約ヲ擔任セシムル件
- (16) 荷役及勞力供給ニ關スル件
- (17) 米穀事務所官舎居住ニ關スル件
- 二百石以下ノ米穀ノ輸入又ハ輸出ノ許可ニ關スル件
- 米穀法施行規則第三條ニ依ル許可ニ關スル件
- 米穀法施行規則第七條ニ依ル自作農又ハ小作農ノ選定ニ關スル件
- 米穀法施行規則第九條ニ依ル肥料成分ノ價格ノ決定ニ關スル件
- 米穀法施行規則第十四條第一項第一號ニ依ル農具ノ指定ニ關スル件
- 米穀法施行規則第二十二條ニ依ル徽章ノ制定及交付ニ關スル件

場所長委任事務規程

大正八年九月二十六日文第一二五六號
 全部改正大正十五年四月農文第二四號
 改正大正十五年五月文第二五〇號
 改正昭和二年十一月文第五二〇號

- 九 五千圓ヲ超エサル工事、印刷物ノ調製、物件ノ賣買、貸借、運搬又ハ職工人夫ノ雇傭ニ關スル件
 - 十 會計規則第一百五條及第十六條ニ依ル隨意契約締結ニ關スル件
 - 十一 工事及物件ノ賣買、貸借ニ關シ何濟ノ範圍内ニ於テ豫定價格指定ニ關スル件
 - 十二 工事ノ竣功延期及物品納入延期ニ關スル件
 - 十三 千圓ヲ超エサル翻譯料、保管料、手数料及謝金等ノ處理ニ關スル件
 - 十四 官吏出張先ニ於テ公務ニ要スル通信運搬費等五百圓以内ノ處理ニ關スル件
 - 十五 價格五百圓以内ノ物品ノ亡失又ハ毀損ニ關スル件但シ故意又ハ怠慢ニ因ルモノヲ除ク
 - 十六 本省及本省所管各廳トノ間ニ於ケル物品ノ保管轉換ニ關スル件
 - 十七 公共團體、學校又ハ展覽會等ニ參考品ノ貸與及出陳ニ關スル件
 - 十八 圖書、印刷物又ハ標本等ノ配付及著作権ノ登録等ニ關スル件
- 第三條 場所長事故アルトキハ部下ノ官吏ヲシテ其ノ事務ヲ代決セシムルコトヲ得

- 改正昭和四年四月文第一七七號
- 第一條 本規程ニ於テ場所長ト稱スルハ農事試驗場長、蠶業試驗場長、生絲検査所長、茶業試驗場長、園藝試驗場長、林業試驗場長、水産講習所長、水産試驗場長、畜産試驗場長、獸疫調査所長、種羊場長、種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長及種鶏場長トス
 - 第二條 場所長ハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外左ニ掲クル事項ヲ專行處理スルコトヲ得但シ特ニ重要ノ關係アルモノ又ハ事ノ異例ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス
 - 一 委託試驗ニ關スル件
 - 二 講習生、練習生又ハ見習生ニ關スル件
 - 三 月俸又ハ日給三十日分八十五圓ヲ超エサル雇員ノ命免及賞與ニ關スル件
 - 四 守衛、給仕、小使及常備人ノ傭罷及賞與ニ關スル件
 - 五 十四日以内ノ内國出張及場所員ノ内國出張ニ關スル件
 - 六 場所員ノ看護歸省、墓參、除服出仕、轉地療養、旅行願及受驗願ニ關スル件
 - 七 場所員ノ大正十一年閣令第六號ノ規定ニ依ル休暇ニ關スル件
 - 八 療治料又ハ死傷手當等ノ給與ニ關スル件

- 第四條 場所長ハ主管ノ業務ニ關シ旅費ヲ負擔シ場所員ノ出張ヲ請フモノアルトキハ之ヲ許可スルコトヲ得
- 第五條 場所長ハ其ノ專行事項ノ一部ヲ支場長、分場長又ハ出張所其ノ他之ニ準スヘキモノノ主任ニ委任スルコトヲ得

二 産業組合法關係法規

産業組合法

明治三十三年三月六日法律第三十四號
改正明治三十九年四月十八日法律第四十五號
改正明治四十二年七月八日法律第七十二號
改正大正六年四月二十日法律第七十三號
改正大正十二年四月五日法律第七十四號
改正大正十五年四月六日法律第七十四號
改正昭和七年十月一日勅令第二百七十一號

第一章 總 則

第一條 本法ニ於テ産業組合トハ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲左ノ目的ヲ以テ設立スル社團法人ヲ謂フ

- 一 組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合)
- 二 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セシメテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合)
- 三 産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セシメテ又ハ之ヲ生産シテ組合員ニ賣却スルコト(購買組合)
- 四 組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト(利用組合)

産業組合法

信用組合ハ組合員外ノ者ニシテ組合加入ノ豫約ヲ爲シタルモノノ出資一口ノ金額及出資一口ニ付定款ノ定ムル所ニ依リ加入ニ關シ拂込ムヘキ金額ノ合計額ニ達スル迄ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者、公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

市又ハ主務大臣ノ指定スル市街地カ組合ノ區域ニ屬スル信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ産業若ハ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ノ爲手形ノ割引ヲ爲シ又ハ前二項ノ貯金ノ外組合ノ區域内ニ居住スル組合員外ノ者ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル貯金ハ有限責任組合ニ在リテハ出資總額及準備金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計、保證責任組合ニ在リテハ之ニ保證金額ヲ加ヘタル合計、無限責任組合ニ在リテハ出資總額ノ五倍及準備金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計ヲ超エ之ヲ受入ルルコトヲ得ス

第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引又ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ハ第一項第二號乃至第四號ノ事業ヲ兼ヌルコトヲ得ス

産業組合法關係法規

四七四

利用組合ノ設備ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限り組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ利用セシムルコトヲ得
前項ノ設備ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

第二條 産業組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種トス但シ有限責任タルコトヲ得ル組合ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル

一 前條第四項ノ信用組合ニシテ定款ノ定ムル所ニ依リ同條第一項第二號乃至第四號ノ事業ヲ兼ネザルモノ
二 定款ノ定ムル所ニ依リ經濟ニ必要ナル物ノミヲ取扱フ購買組合ニシテ前條第一項第一號若ハ第二號ノ事業又ハ同條同項第四號ノ事業中産業ニ必要ナル設備ヲ利用セシムル事業ヲ兼ネザルモノ
無限責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ、有限責任組合ニ在リテハ組合員ノ全員カ其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ、保證責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ其ノ出資額ノ外一定ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第七條 産業組合ハ七人以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス
第八條 組合ノ設立者ハ定款ヲ作り之ヲ主たる事務所所在地ノ地方長官ニ差出シ設立ノ許可ヲ請フヘシ
第九條 定款ニハ本法ニ規定アルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載シ設立者之ニ署名捺印スヘシ

一 目的
二 名稱
三 組織
三ノ二 區域
四 事務所
五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
五ノ二 保證責任組合ニ在リテハ保證金額ニ關スル規定
六 第一回拂込ノ金額
七 剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定
八 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法
九 組合員タル資格ニ關スル規定
十 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定
十一 組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定
十二 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由信用組合ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除ク

産業組合法

四七五

第三條 産業組合ノ住所ハ其ノ主たる事務所ノ所在地ニ在ルモノトス
第四條 産業組合ノ名稱中ニハ其ノ組織及目的ヲ示スヘキ文字ヲ用ウヘシ
産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス
第五條 産業組合ニハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス
第六條 産業組合ニハ所得稅、營業收益稅及營業稅ヲ課セス
第六條ノ二 命令ノ定ムル所ニ依ル産業組合ノ住宅ノ建設、購入若ハ住宅用地ノ取得又ハ組合ト組合員トノ間ニ於ケル住宅若ハ其ノ用地ノ所有權移轉ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス
第六條ノ三 本法中地方長官トアルハ區域ガ道府縣ノ區域ヲ超ユル産業組合ニ付テハ之ヲ主務大臣トス
前項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一部ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得(昭和七年法律第三十號追加)

第二章 設立

ノ外市町村ノ区域内ニ於テ之ヲ定ムヘシ
第十條 産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス
第十條ノ二 法人ハ産業組合ノ組合員タルコトヲ得ズ但シ農事實行組合、養蠶實行組合其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ハ此ノ限ニ在ラズ
前項但書ノ法人ノ産業組合ノ組合員ト爲ルニ付必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第十條ノ三 農事實行組合ハ一定ノ地區内ノ農業者ヲ以テ之ヲ組織シ組合員ノ共同ノ利益増進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

農事實行組合ハ法人トス
農事實行組合ノ地區ハ部落其ノ他之ニ準ズル區域トス
第十條ノ四 蠶絲業組合法第二十條乃至第二十六條及第四十一條ノ規定ハ農事實行組合ニ之ヲ準用ス
第十條ノ五 組合員タル法人ガ其ノ財産ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能ハザル場合ニ於テハ法人ノ組合員ノ全員ハ其ノ法人ガ産業組合ニ對シ負擔スル一切ノ債務ニ付連帶無限ノ責任ヲ負擔ス
第十條ノ六 組合員タル法人ハ其ノ組合員ガ脱退シタルトキハ遲滞ナク産業組合ニ之ヲ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テハ脱退シタル組合員モ亦其ノ通知ヲ爲スコトヲ得

第十條ノ七 組合員タル法人ノ組合員ガ其ノ法人ヨリ脱退シタル場合ニ於テハ脱退シタル組合員ハ前條ノ脱退ノ通知前ニ生ジタル法人ノ産業組合ニ對スル債務ニ付其ノ脱退ノ通知後二箇年間第十條ノ五ノ規定ニ依ル責任ヲ負擔ス

第十條ノ八 組合員タル法人ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生ジタル法人ノ産業組合ニ對スル債務ニ付テモ亦第十條ノ五ノ規定ニ依ル責任ヲ負擔ス

第十一條 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ
出資一口ノ金額ノ最高限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 組合力其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク各組合員ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

第十三條 前條ノ拂込アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條 登記スヘキ事項左ノ如シ

- 一 第九條第一號乃至第五號及第十二號ニ掲ケタル事項
 - 二 設立許可ノ年月日
 - 三 理事及監事ノ氏名、住所
- 前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記

ヲ爲スヘシ登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十五條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ノ記載ハ變更セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス

第十六條 民法第四十五條第二項、第三項及第四十八條ノ規定ハ期間ヲ除クノ外産業組合ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ二 第十二條ノ拂込アリタルトキハ組合ハ二週間内ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出テ同時ニ組合原簿ヲ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依ル届出及提出アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク各事務所所在地ノ登記所ニ設立ノ登記ヲ囑託シ且主タル事務所所在地ノ登記所ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ三 第十四條第一項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ組合ハ二週間内ニ變更ノ登記ヲ爲スヘキ事項ヲ地方長官ニ届出ツヘシ但シ登記ノ事由カ地方長官ノ認可其ノ他ノ處分ニ因リテ生シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク各事務所所在地ノ登記所ニ登記ノ囑託ヲ爲スヘシ前項

但書ノ場合亦同シ

第十六條ノ四 組合ハ主タル事務所ノ移轉又ハ組織變更ノ登記ニ關スル届出ヲ爲スト同時ニ組合原簿ヲ地方長官ニ提出スヘシ但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス地方長官ハ主タル事務所所在地ノ登記所ニ前項ノ登記ヲ囑託スルト同時ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ五 組合原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 出資ノ總口數
- 二 拂込ミタル出資ノ總額
- 三 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所
- 四 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額

登記所ノ受理シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第十四條第二項及第十五條ノ規定ハ組合原簿ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ六 第十六條ノ三ノ規定ハ組合原簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス
組合員ノ加入ノ場合ニ於テハ無限責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名及住所ヲ、保證責任組合ニ在リテハ加入者ノ

氏名住所及保證金額ヲ記載シタル組合原簿ヲ加入ノ日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ提出シ地方長官ハ遲滞ナク之ヲ主タル事務所所在地ノ登記所ニ送付スヘシ
組合原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ届出又ハ組合原簿ノ提出ハ前二項ノ規定ニ拘ラス其ノ事業年度ノ終ヨリ二週間内ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ組合員ノ脱退又ハ保證金額ノ減少ニ付テハ總組合員ノ同意ヲ以テ定款ニ之ヲ定メタル場合ニ限ル

第三章 組合員ノ權利義務

第十七條 組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ

組合員ノ有スヘキ出資口數ハ三十口ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ五十口迄之ヲ増加スルコトヲ得

第十八條 組合員ハ組合ニ拂込ムヘキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第十九條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得ス

組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルヘシ

第二十條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス
第二十一條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義

務ヲ承繼ス

第二十二條 新ニ組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負擔ス

第二十三條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ理事ニ請求スルコトヲ得

第二十四條 組合員ニシテ總會ノ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ違背スト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一箇月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ地方長官ニ請求スルコトヲ得

第四章 管 理

第二十五條 産業組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立ノ當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
(大正六年法律第二十二號改正)

第二十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限りニ在ラス

第二十七條 理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半数以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ

定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 理事ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第二十九條ノ二 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 各組合員ノ氏名、住所
 - 二 各組合員ノ出資口數
 - 三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日
 - 四 出資各口ノ取得ノ年月日
 - 五 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額
- 第三十條 理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ
- 組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得
- 第三十一條 理事ハ前條第一項ニ掲ケタル書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ
- 第三十一條ノ二 産業組合カ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者カ組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

第三十一條ノ三 理事ハ少クトモ毎事業年度一回通常總會ヲ開クコトヲ要ス

第三十二條 民法第四十四條第一項、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス

第三十三條 監事ハ理事其ノ他組合ノ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十四條 民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

第三十四條ノ二 理事缺ケタルトキハ總會ノ招集ハ監事之ヲ行フ

理事カ第二十三條ノ規定ニ依ル請求アリタル日ヨリ二週間内ニ正當ノ事由ナクシテ總會招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ監事ハ其ノ總會ヲ招集スヘシ

第三十五條 組合カ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ付テモ亦同シ

第三十六條 總會ノ決議ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十七條 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス但シ組合員ニ非サレハ代理人タルコトヲ得ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十八條 民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項及第六十六條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス

第三十八條ノ二 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代ハルヘキ總代會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス但シ總代會ニ於テハ解散及合併ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第三十九條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十條 組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

第四十一條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少スルトヲ得ス

第四十二條 前二條ノ規定ハ保證責任組合カ組合員ノ保證金額ヲ減少スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 組合員カ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツヘシ但シ取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量ニ對シテ配當スヘキ剩餘金ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

組合員ニ配當スヘキ剩餘金又ハ持分ノ計算ニ付テハ計算ノ基礎トナルヘキ金額ニシテ計算上不便ナル端數金額ハ之ヲ切捨ツルコトヲ得

第四十四條 組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

剩餘金配當ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 組合ハ第五十三條ノ場合ヲ除クノ外持分ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ス

第四十六條 組合ハ定款ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第四十六條ノ二 信用組合ハ第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ總額ノ四分ノ一以上ノ金額ヲ拂戻準備金トシテ勅令ノ定ムル所ニ依リ管理スヘシ

前項ノ金額ハ事業年度ニ從ヒ毎六箇月末日現在ノ貯金總額ニ依リ之ヲ定ム

第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ爲シタル者ハ第一項ノ拂戻準備金ノ上ニ先取特權ヲ有ス

第四十六條ノ三 有限責任又ハ保證責任ノ信用組合第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ニ關スル債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ各理事連帶シテ之ヲ辨濟スルノ責ニ任ス前項ノ規定ニ依ル理事ノ責任ハ其ノ退任前ノ債務ニ付退任ノ登記後二箇年間仍存續ス

第四十七條 組合ノ事業年度ハ一箇年トス但シ定款ヲ以テ六箇月ト爲スコトヲ得

第四十八條 組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受クルコトヲ得ス

第四十八條ノ二 組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル組合員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第五章 加入及退脫
第四十九條 組合員ノ加入ハ無限責任組合ニ在リテハ總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第五十三條 退脫シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第五十四條 退脫シタル組合員ノ持分ハ其ノ退脫シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム但シ定款ノ定ムル所ニ依リ退脫當時ノ財産ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十五條 持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ

但シ前條但書ノ場合ニ於テハ退脫ノ時ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ

持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二箇年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第五十六條 持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキハ退脫シタル組合員ハ其ノ負擔ニ歸スヘキ損失額ヲ拂込ムヘシ

第五十七條 退脫シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完済スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第五十八條 無限責任組合及保證責任組合ニ在リテハ退脫シタル組合員ハ退脫前ノ組合債權者ニ對シ其ノ退脫ヲ組合原簿ニ記載シタル後二箇年間責任ヲ負擔ス

前項ノ同意ニ付テハ組合ハ總組合員ニ對シ加入ニ異議アラハ二週間ヲ下ラサル一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ期間内ニ異議ヲ述ヘサル者ハ同意ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十條 定款ヲ以テ組合ノ存立時期ヲ定メタルト否トヲ問ハズ組合員ハ六箇月前ニ豫告ヲ爲シ事業年度ノ終ニ於テ退脫スルコトヲ得但シ第四十七條但書ノ規定ニ依リ事業年度ヲ六箇月ト爲シタル組合ニ在リテハ豫告ハ三箇月前ニ之ヲ爲スヲ以テ足ル

前項ノ豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ二箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十一條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ退脫ス

一 組合員タル資格ノ喪失

二 死亡

三 破産

四 禁治産

五 除名

第五十二條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依ル期間ハ總組合員ノ同意アルトキハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ延長シタル期間ハ第一項ノ規定ニ違背セサル限り之ヲ短縮スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第四十條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス

前三項ノ規定ハ持分ヲ讓渡シタル組合員ニ之ヲ準用ス

第六章 監督

第五十九條 産業組合ハ主務大臣、地方長官及北海道廳支廳長之ヲ監督ス

第六十條 監督官廳ハ何時ニテモ理事又ハ清算人ヲシテ組合ノ事業、財産又ハ清算事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ組合ノ事業、財産又ハ清算事務ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

監督官廳ハ組合清算ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ組合ニ對シ其ノ財産ノ供託ヲ命スルコトヲ得

第六十條ノ二 理事ノ缺ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ地方長官ハ假ニ理事ヲ選任スルコトヲ得

第六十一條 組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲カ定款若ハ法令ニ違背シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ主務大臣又ハ地方長官ハ總會ノ決議ヲ取消シ、理事、監事若

ハ清算人ノ改選ヲ命ジ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ヲ解散スルコトヲ得

第七章 解散

第六十二條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

- 一 定款ニ定メタル事由ノ發生
- 二 總會ノ決議
- 三 組合ノ合併
- 四 組合員カ七人未滿ニ減シタルトキ
- 五 組合ノ破産

第二十八條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合カ合併セムトスルトキ又ハ保證責任組合若ハ有限責任組合カ合併ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生スヘキトキハ其ノ合併ニ付總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

第六十二條ノ二 組合定款ニ定メタル存立時期ノ滿了ニ因リテ解散シタル場合ニ於テハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ組合ヲ繼續スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ存立時期滿了ノ日ヨリ一箇年内ニ認可ヲ申請スルコトヲ要ス

前項ノ繼續ニ同意セザル組合員ハ組合繼續ノ時ニ於テ脱退シタルモノト看做ス

第六十三條 組合カ解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條第二項及第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條ノ二 合併ニ因リテ組合ヲ設立スル場合ニ於テハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ選任ニ之ヲ準用ス

第六十四條 第四十條及第四十一條ノ規定ハ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條 總會ノ決議ニ因ル解散又ハ合併ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第六十六條 組合カ合併ヲ爲シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存続スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十七條 合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承

第六十八條 組合ハ總組合員ノ同意ヲ以テ其ノ組織ヲ變更スルコトヲ得

組合カ組織變更ニ因リ組合員ノ責任ヲ減少スルトキハ第四十條及第四十一條ニ定メタル手續ヲ爲スヘシ

第六十九條 民法第七十條ノ規定ハ産業組合ノ解散ニ之ヲ準用ス

第八章 清算

第七十條 清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第七十一條 清算人ハ就職後遲滞ナク組合財産ノ現況ヲ調査シ財産目録及貸借對照表ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十二條 清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十三條 清算事務カ終リタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十三條ノ二 清算人タル者ナキトキ又ハ清算人ノ缺ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十三條ノ三 重要ナル事由アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十四條 清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ氏名、住所ヲ登記スヘシ

第十四條第二項及第十六條ノ三ノ規定ハ清算人ニ關スル登記ニ之ヲ準用ス

第七十四條ノ二 清算終了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條 民法第七十三條、第七十四條及第七十八條乃至第八十一條ノ規定ハ産業組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

第九章 産業組合聯合會及産業組合中央會

第七十六條 産業組合聯合會ハ左ノ目的ヲ以テ之ヲ設立スルコトヲ得

一 所屬組合ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合聯合會)

二 所屬組合ノ賣却スル物ニ加工シ又ハ加工セシメテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合聯合會)

三 所屬組合ノ購買スル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セシメテ又ハ之ヲ生産シテ所屬組合ニ賣却スルコト(購買組合聯合會)

會ニ加入シ又ハ脱退セムトスルトキハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十九條 産業組合聯合會ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外道府縣ノ区域内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスル二箇以上ノ産業組合聯合會カ合併セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八十條 産業組合聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ理事及監事ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ニ非サル者ヨリ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第八十條ノ二 産業組合聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ有スベキ出資口數ハ百口ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ五百口迄之ヲ増加スルコトヲ得

第八十一條 産業組合聯合會ニハ本章ニ規定アルモノ及第

四 所屬組合ヲシテ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト(利用組合聯合會)

産業組合聯合會ハ産業組合又ハ産業組合聯合會ヲ以テ之ヲ構成ス但シ信用組合聯合會ハ同種ノ事業ヲ行フ聯合會ヲ以テ、販賣組合聯合會ハ同種ノ事業ヲ行ハサル産業組合又ハ産業組合聯合會ヲ以テ之ヲ構成スルコトヲ得ス

第七十六條ノ二 信用組合聯合會ハ日本勸業銀行、日本興業銀行、北海道拓殖銀行、農工銀行又ハ産業組合中央金庫ニ對シ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ債務ノ保證ヲ爲シタルトキハ信用組合聯合會ハ銀行又ハ産業組合中央金庫ノ委任ヲ受ケ其ノ債權ノ取立ヲ爲スコトヲ得

第七十六條ノ三 道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ所屬組合又ハ所屬聯合會ニ對シ手形ノ割引ヲ爲スコトヲ得

第七十七條 産業組合聯合會ハ社團法人トス

産業組合聯合會ノ組織ハ保證責任トス

産業組合聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ保證責任ハ其ノ出資總額ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十八條 産業組合又ハ産業組合聯合會カ産業組合聯合會十條ノ五乃至第十條ノ八ノ規定ヲ除クノ外産業組合ニ關スル規定ヲ準用ス但第七條中七人以上トアルハ之ヲ二人以上トシ第六十二條第一項第四號中七人未滿トアルハ之ヲ二人未滿トス

第八十二條 産業組合中央會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及、發達及聯絡ヲ圖ル目的ヲ以テ設立スルコトヲ得

産業組合中央會ハ社團法人トス

産業組合中央會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ事業ノ一部ヲ行フコトヲ得

第八十三條 産業組合中央會ノ名稱中ニハ産業組合中央會ナル文字ヲ用ウヘシ

産業組合中央會ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合中央會タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第八十四條 産業組合中央會ハ全國ヲ通シテ一箇トシ其ノ設立ハ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

産業組合中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十五條 産業組合及産業組合聯合會ハ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

前項以外ノ者ト雖定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合中央會

ノ會員ト爲ルコトヲ得

第八十六條 産業組合中央會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載ス

ヘシ

- 一 名稱
- 二 事務所
- 三 會員ノ加入及退脱ニ關スル規定
- 四 會員ノ權利義務ニ關スル規定
- 五 資産ニ關スル規定
- 六 役員ニ關スル規定
- 七 會議ニ關スル規定
- 八 事業ノ執行ニ關スル規定
- 九 定款ノ變更ニ關スル規定
- 十 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第八十七條 産業組合中央會設立ノ許可アリタルトキハ主務大臣ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

- 一 目的及第八十二條第三項ノ規定ニ依ル事業ノ種類
- 二 第八十六條第一項第一號、第二號及第十號ニ掲ケタル事項左ノ如シ

ル事項

- 三 資産ノ總額
 - 四 設立許可ノ年月日
 - 五 理事及監事ノ氏名、住所
- 前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スヘシ
- 登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス
- 第十六條ノ三ノ規定ハ第一項及前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ同條中地方長官トアルハ主務大臣トス
- 第八十八條 産業組合中央會ニハ理事及監事ヲ置クヘシ
- 第八十九條 産業組合中央會ノ理事及監事ハ會員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ノ理事、監事及第八十五條第二項ノ會員ノ中ヨリ之ヲ選任スヘシ
- 第九十條 産業組合中央會ノ總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ中ヨリ選出シタル代表者ヲ以テ組織ス但シ第九十二條ニ於テ準用シタル第六十二條第一項第二號ノ總會ハ會員ヲ以テ組織ス
- 第九十一條 産業組合中央會ハ主務大臣之ヲ監督ス
- 第九十二條 第三條、第五條乃至第六條ノ二、第七條、第十條、第十五條、第十六條、第二十六條、第二十七條、

第二十九條、第三十條乃至第三十五條、第三十九條第一項、第四十七條、第六十條、第六十一條、第六十二條第一項第一號第二號第四號第五號、第六十三條、第六十五條、第六十九條乃至第七十五條、第八十條第二項、第九十三條ノ二及第九十四條並民法第六十二條及第六十四條ノ規定ハ産業組合中央會ニ之ヲ準用ス但シ第六十五條、第七十三條ノ二及第七十三條ノ三中並第六十三條、第七十四條及第七十四條ノ二ニ於テ準用シタル第十六條ノ三中地方長官トアルハ主務大臣トス

第十章 罰則

第九十三條 組合ノ理事又ハ監事何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス組合ノ事業ノ範圍外ニ於テ貸付若ハ手形ノ割引ヲ爲シ又ハ投機取引ノ爲ニ組合財産ヲ處分シタルトキハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セス

第九十三條ノ二 組合ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上三百圓以下ノ過料ニ處セラレ

- 一 本法ニ定メタル届出若ハ組合原簿ノ提出ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ届出ヲ爲シ若ハ組合原簿ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ
- 二 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隠

産業組合法

- 三 第二十九條第一項及第三十條第一項ノ規定ニ違背シ又ハ第二十九條第一項及第三十條第一項ニ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ若ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ
- 四 第一條第五項、第四十三條、第四十五條乃至第四十六條ノ二、第四十八條又ハ第七十二條ノ規定ニ違背シタルトキ
- 五 第六十條ノ報告ヲ爲サス又ハ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ
- 六 民法第七十九條ノ期間内ニ債權者ニ賠償ヲ爲シタルトキ
- 七 民法第七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ
- 八 民法第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ違背シタルトキ
- 九 組合ノ目的タル事業ニ非サル營利事業ヲ營ミタルトキ
- 十 第四十條又ハ第四十一條ノ規定ニ違背シテ出資一口ノ金額若ハ組合員ノ保證金額ヲ減少シ、第五十八條ノ

規定ニ依ル責任期間ノ短縮ヲ爲シ又ハ組合ノ合併若ハ組織變更ヲ爲シタルトキ

十一 法令又ハ定款ニ違背シテ剩餘金ヲ處分シタルトキ
第九十三條ノ三 第四條第二項又ハ第八十三條第二項ノ規定ニ違背シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ過料ニ處セラレ
第九十四條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

第九十五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(明治三十三年勅令第三百一號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)
第九十六條 産業組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所、産業組合聯合會及産業組合中央會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

第九十七條 各登記所ニ産業組合登記簿、産業組合聯合會登記簿及産業組合中央會登記簿ヲ備フ
第九十八條 登記ノ囑託ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス
囑託書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 産業組合、産業組合聯合會又ハ産業組合中央會ノ名稱及事務所
二 登記ノ目的及事由

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行前産業組合力裁判所ニ差出シタル組合員名簿ハ組合原簿ト看做ス

附 則 (大正六年法律第二十二號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行前ニ登記シタル産業組合及産業組合聯合會ニシテ定款ニ區域ノ定アルモノニ付テハ地方長官ハ本法施行ノ日ヨリ三月内ニ區域ノ登記ヲ各事務所所在地ノ登記所ニ囑託スヘシ(大正六年勅令第九十九號ヲ以テ同年十一月一日ヨリ施行)

附 則 (大正十年法律第七十三號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行前ニ設立シタル生産組合又ハ生産組合聯合會ハ之ヲ本法ニ依リ設立シタル利用組合又ハ利用組合聯合會ト看做ス(大正十年勅令第三百七十一號ヲ以テ同年八月十日ヨリ施行)

附 則 (大正十五年法律第五十四號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第五十九條及第六六條ニ關スル規定ハ郡長及島司廢止ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正十五年勅令第三百三十號ヲ以テ同年五月二十五日ヨリ施行)

附 則 (昭和七年九月六日法律第三十號)

産業組合法

三 年月日

四 登記所ノ表示
第九十九條 設立登記ノ囑託書ニハ定款及届書ヲ添附シ其ノ他ノ登記ノ囑託書ニハ届出ニ因ル場合ニ於テハ届書ヲ添附スヘシ

第一百條 (大正六年法律第二十二號削除)
第一百一條 (大正六年法律第二十二號削除)
第一百二條 (大正六年法律第二十二號削除)
第一百三條 (大正六年法律第二十二號削除)

第一百四條 本法ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滞ナク之ヲ公告スヘシ但シ組合原簿ニ記載シタル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第一百五條 非訟事件手續法第三百三十八條、第三百三十八條ノ三、第四百一十一條乃至第四百四十六條、第四百四十八條、第四百四十八條ノ二、第五百一十一條乃至第五百一十一條ノ六、第五百五十四條乃至第五百五十八條、第六百六十五條及第六百七十五條ノ規定ハ産業組合、産業組合聯合會及産業組合中央會ニ之ヲ準用ス
第一百六條 (大正十六年法律第五十四號削除)
第一百七條 (大正六年法律第二十二號削除)

附 則 (明治四十二年法律第二十七號)

第一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第二條 本法施行前ニ設立シタル有限責任ノ組合(第二條第一項但書ノ改正規定ニ掲グル組合ヲ除ク)又ハ聯合會ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ五箇年ヲ限リ第二條第一項但書及第七十七條ノ改正規定ニ依ラズ仍從前ノ規定ニ依ル
第三條 前條ノ組合ハ同條ノ期間内ニ總會ニ於テ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テスル決議ニ依リ其ノ組織ヲ變更シ保證責任ノ組合ト爲スコトヲ得
前項ノ組織變更ニ同意セザル組合員ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ組織變更ノ時ニ於テ脱退シタルモノト看做ス
前二項ノ規定ハ前條ノ聯合會ニ之ヲ準用ス
第四條 附則第二條ノ組合又ハ聯合會ニシテ同條ノ期間内ニ其ノ組織ヲ變更シテ左ニ掲グル組織ト爲サザルモノハ其ノ期間滿了ノ日ニ於テ解散ス
一 組合ニ在リテハ保證責任又ハ無限責任
二 聯合會ニ在リテハ保證責任
第五條 第十條ノ二第一項ノ改正規定ニ依リ産業組合ノ組合員タルコトヲ得ザル法人ニシテ本法施行ノ際現ニ産業組合ノ組合員タルモノハ當分ノ内仍其ノ組合員タルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第十條ノ五乃至第十條ノ八ノ規定ヲ適用セズ

第六條 蠶絲業組合法第二十三條第二項第一號中「第一號

乃至第三號、第十號及第十一號」ヲ「第一號、第二號及第四號」ニ改メ同條同項中第二號ヲ削リ第三號ヲ第二號トシ第四號ヲ第三號トス

第七條 蠶絲業組合法第二十六條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ民法第四十八條及第七十七條中一週間トアルハ之ヲ二週間トス（昭和七年勅令第二百七十五號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行）

産業組合法施行規則

明治四十二年八月二十一日農商務省令第三十五號
改正大正六年十月二十七日農商務省令第三十號
改正大正十年七月二十日農商務省令第二十四號
改正大正十五年五月二十日農林省令第九號
改正昭和六年七月三十日農林省令第二十一號
改正昭和七年九月三十日農林省令第二十五號

第一條 信用組合ノ區域内ニ住居スル者ニ非サレハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ豫約者ニ對スル貯金ノ拂戻ハ豫約ノ消滅シタルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得

豫約者ハ其ノ貯金カ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最小額ト同額ニ達シタル後ニ非サレハ組合ニ加入スルコトヲ得ス

豫約者カ豫約後三箇年ヲ經過シ尙ホ組合員ト爲ルニ至ラ

借對照表ヲ添附スヘシ

組合合併ノ際定款ヲ以テ前項ノ事業ヲ行フ旨ヲ定メムトスル場合ニ於テハ其ノ認可申請書ニ第一項各號ニ掲クル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スヘシ

第一條ノ五 産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ハ其ノ區域内ニ於ケル組合員タルコトヲ得ル者ノ三分ノ二以上ヲ組合員トスルモノニ限ル

第一條ノ六 組合員タルコトヲ得サル者ニシテ産業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ指定シタル設備ヲ利用シ得ルモノハ組合員ノ區域内ニ住居スル者ニ限ル但シ左ノ各號ニ掲クル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 電氣設備ニ在リテハ組合ノ區域内ニ於テ家屋物件ヲ所有シ使用シ又ハ占有シ之カ爲其ノ設備ヲ利用スル必要アル者

二 其ノ他ノ設備ニ在リテハ前號ニ掲クル者及定款ヲ以テ規定シタル者

第一條ノ七 組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ設備ヲ利用セシムル場合ニ於ケル利用料ハ實費ヲ超ユルコトヲ得ス

第一條ノ八 産業組合法第六條ノ二ニ住宅ト稱スルハ主トシテ住居ノ用ニ供スル家屋及之ニ相應スル門、牆、塀、物置、井戸其ノ他住居ノ爲必要ナル附屬設備ヲ謂フ

サルトキハ組合ハ豫約ノ解除ヲ爲スヘシ

第一條ノ二 利用組合ハ定款ヲ以テ定ムルニ非サレハ組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ産業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ指定シタル設備ヲ利用セシムルコトヲ得ス

第一條ノ三 産業組合法第一條第七項ニ組合員タルコトヲ得サル者ト稱スルハ法令若ハ定款ノ規定ニ依リ又ハ出資ノ能力ナキ爲組合ニ加入スルコトヲ得サル者ヲ謂フ

第一條ノ四 産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ノ設立ノ許可ヲ申請スル者ハ定款ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ提出スヘシ

一 申請ノ理由

二 設備ノ規模及其ノ能力

三 組合員ノ設備利用ノ程度

四 設備ニ關スル事業施行ノ方法

五 設備費

六 一事業年度ノ收支概算

七 組合員數、組合員戶數、區域内戶數及組合員タルコトヲ得サル者ニシテ設備ヲ利用シ得ルモノノ種類別數

組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ産業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ指定シタル設備ヲ利用セシムル爲定款ヲ變更セムトスル場合ニ於テハ認可申請書ニ前項第二號乃至第七號ニ掲クル事項ヲ記載シタル書類、財産目錄及貸

第一條ノ九 産業組合法第六條ノ二ノ規定ニ依リ地方税ノ免除ヲ受クヘキ住宅又ハ住宅用地ハ左ノ制限ニ從フコトヲ要ス但シ産業組合ノ住宅ノ建設若ハ購入又ハ住宅用地ノ取得ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一 住宅ハ一組合員ニ付一戸ニ限ル

二 前號ノ住宅ハ一戸ニ付家屋各階ノ床面積合計五十坪ヲ超ユルコトヲ得ス但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

三 住宅用地ハ住宅ニ相應スルモノナルコトヲ要ス

第一條ノ十 産業組合ノ組合員タルコトヲ得ル養蠶實行組合ハ部落其ノ他之ニ準ズル區域ヲ其ノ區域トスル産業組合ハ地方長官ノ認可ヲ受ケテ他ノ産業組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得

第一條ノ十二 農事實行組合、養蠶實行組合又ハ産業組合ガ産業組合ノ組合員ト爲リタルトキハ其ノ組合員名簿ヲ前項ノ組合員名簿ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク産業組合ニ之ヲ通知スベシ

第一條ノ十三 産業組合法第十條ノ四ノ規定ニ依リ準用セ

ラルル蠶絲業組合法第二十二條第一項ニ於テ行政官廳ト稱スルハ之ヲ地方長官トス

第一條ノ十四 産業組合法第十條ノ四ノ規定ニ依リ準用セラルル蠶絲業組合法第二十二條第一項ノ規定ニ依ル農事實行組合ノ届出アリタルトキハ地方長官ハ農事實行組合ノ名稱、事務所ノ所在地及設立ノ年月日ヲ告示スベシ其ノ告示シタル事項ニ付變更ノ届出アリタルトキ亦同ジ

第六條 總代会ハ組合ニ在リテハ五百人以上ノ組合員、聯合會ニ在リテハ百人以上ノ所屬組合及所屬聯合會ヲ有スルニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス
總代会ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ
第七條 産業組合法第九十條ノ代表者ハ道府縣毎ニ會員之ヲ選舉スヘシ
前條第二項ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス
第八條 理事及監事ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代会ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第二條ノ二 保證責任ノ組合又ハ聯合會ノ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ノ保證金額ハ其ノ出資額ヲ下ルコトヲ得ズ

第九條 (昭和七年省令第二十五號削除)

第三條 第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第九條ノ二 産業組合法第一條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ受入及拂戻ニ付テハ組合員ノ貯金ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第四條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス

第九條ノ三 産業組合法第一條第七項ノ規定ニ依ル利用ニ付テハ組合員ノ利用ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第五條 組合若ハ聯合會カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徵收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脱退シタル組合員又ハ組合若ハ聯合會ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ

第九條ノ四 登記又ハ組合原簿若ハ聯合會原簿ノ記載ニ關スル届書ニハ理事又ハ清算人署名捺印スヘシ

テ受理シタル組合原簿及聯合會原簿ニ付亦同シ

第九條ノ五 地方長官ニ提出スル組合原簿、聯合會原簿又ハ其ノ記載事項ノ變更ノ届書ニハ記載事項又ハ其ノ變更ニ付キ監事ノ證明書ヲ添付スヘシ但組合員ノ氏名又ハ住所ノ變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九條ノ六 登記又ハ組合原簿若ハ聯合會原簿ノ記載ニ關スル届書ニハ産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ要スル場合ニ於テハ其手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

第十條 理事ハ總會又ハ總代会ノ承認ヲ經タル後遲滞ナク産業組合法第三十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農林大臣ニ差出スヘシ

第十條 理事ハ總會又ハ總代会ノ承認ヲ經タル後遲滞ナク産業組合法第三十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農林大臣ニ差出スヘシ

第十一條 組合又ハ聯合會ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 組合ニ在リテハ組合員ノ職業別ノ數並出資口數ノ異動、聯合會ニ在リテハ所屬組合及所屬聯合會ノ種類別ノ數並出資口數ノ異動

二 出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタ

二 出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタルコト

産業組合法施行規則

ルトキハ其ノ總額

三 損益ノ計算並借入又ハ償還シタル金額及借入金ノ利率

三 損益ノ計算並借入又ハ償還シタル金額及借入金ノ利率

四 總會又ハ總代会ノ決議

四 總會又ハ總代会ノ決議

五 事業ノ狀況

五 事業ノ狀況

六 信用組合又ハ信用組合聯合會ニ在リテハ貸付シ又ハ償還ヲ受ケタル金額及件數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ヲ爲シタル組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ數並貯金及貸付金ノ利率、産業組合法第一條第二項ノ豫約ヲ爲シタル信用組合ニ在リテハ豫約者ノ數及其ノ貯金額、販賣組合又ハ販賣組合聯合會ニ在リテハ受入又ハ販賣シタル物ノ種目別ノ數量及價額、購買組合又ハ購買組合聯合會ニ在リテハ買入若ハ生産又ハ賣却シタル物ノ種目別ノ數量及價額、利用組合又ハ利用組合聯合會ニ在リテハ利用ノ程度ヲ表示スヘキ事項

六ノ二 産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ニ在リテハ其ノ貯金者ノ種類別數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ノ利率

六ノ三 産業組合法第一條第四項ノ信用組合ニ在リテハ手形ノ種類別割引枚數、金額及割引ノ歩合、組合員及

六ノ三 産業組合法第一條第四項ノ信用組合ニ在リテハ手形ノ種類別割引枚數、金額及割引ノ歩合、組合員及

組合員外ノ職業別及金額別ノ貯金數及貯金額、受入又ハ拂戻シタル組合員外ノ貯金額及貯金ノ利率、預入先別預入又ハ引出シタル金額及預入金ノ利率並拂戻準備金ノ管理方法別ノ金額

六ノ四 信用組合聯合會ニ在リテハ産業組合法第七十六條ノ二第一項ノ規定ニ依リ爲シタル保證ノ金額

六ノ五 産業組合法第七十六條ノ三ノ信用組合聯合會ニ在リテハ手形ノ種類別割引枚數、金額及割引ノ歩合

七 産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ニ在リテハ組合員タルコトヲ得サル者ノ利用ノ程度ヲ表示スヘキ事項

八 處務ノ要件

前項ノ規定ハ中央會ノ事業報告書ニ之ヲ準用ス

第十二條 組合、聯合會又ハ中央會カ借入金ヲ爲サムトスルトキハ毎事業年度總會又ハ總代會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ議決スヘシ

前項ノ規定ハ信用組合又ハ信用組合聯合會カ一事業年度ニ於ケル一組合員又ハ一所属組合若ハ一所属聯合會ニ對シテ爲ス貸付額又ハ手形ノ割引金額ノ最高限度ニ付之ヲ準用ス

理事ハ前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ヲ組合又ハ聯

拂込ミタル出資額ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六分ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ年一割迄之ヲ増加スルコトヲ得

第十四條ノ二 産業組合法第十六條ノ六第三項又ハ第五十八條第二項ノ場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請書ニハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

産業組合法第五十八條第三項ノ場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請書ニハ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十四條ノ三 産業組合法第六十二條第一項第一號又ハ第四號ノ事由ニ因ル解散ノ届書ニハ其ノ事由ヲ記載シ解散ノ當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十四條ノ四 總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議録、財産目録及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第十五條 合併ノ認可申請書ニハ第十三條ニ掲ケタル書類ノ外合併契約書及合併後存續スル組合若ハ聯合會又ハ合併ニ因リテ設立スル組合若ハ聯合會ノ定款並産業組合法第六十三條ノ二ノ場合ニ於テハ申請者カ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

産業組合法第六十二條第二項但書ノ規定ニ依ル合併ニ付

合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農林大臣ニ遲滞ナク報告スヘシ

第十二條ノ二 定款變更ノ認可申請書ニハ理由書及總會又ハ總代會ノ決議録ヲ添附スヘシ

第十二條ノ三 理事又ハ監事ノ變更ノ届書ニハ其ノ變更カ總會又ハ總代會ノ決議ニ依ル場合ニ在リテハ其ノ決議録、其ノ他ノ場合ニ在リテハ監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十二條ノ四 産業組合法第十六條ノ六第二項及第三項ノ規定ニ依リ無限責任組合ノ提出スル組合原簿ニハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十三條 出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ認可申請書ニハ第十二條ノ二ニ掲ケタル書類ノ外財産目録及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第十四條 剩餘金ノ配當ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量又ハ拂込ミタル出資額ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量ニ對シ配當スヘキ剩餘金ニシテ出資ノ拂込ニ充テサルモノハ拂込ミタル出資額カ出資總額ノ二分ノ一ニ滿タサル場合ニ限り配當スヘキ剩餘金ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

テハ前項ニ掲ケタル書類ノ外組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十五條ノ二 組合又ハ聯合會ノ繼續ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ證スル書面ヲ、聯合會ニ在リテハ所屬組合及所屬聯合會ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十六條 組織變更ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附シ組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ責任ヲ減少スルトキハ尙ホ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十六條ノ二 産業組合法第五十八條第三項ノ規定ニ依ル定款變更ノ場合ニ於テ組合又ハ聯合會カ産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ踐ミタルトキハ之ヲ證スル書面ヲ添附シ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第十七條 組合又ハ聯合會カ中央會ニ加入シ又ハ脱退シタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第十七條ノ二 第十二條ノ三ノ規定ハ清算人ノ選任及其ノ變更ノ届書ニ之ヲ準用ス

産業組合法第六十二條第二項但書ノ規定ニ依ル合併ニ付

第十七條ノ三 第十條ノ規定ハ清算人カ産業組合法第七十

一條ノ規定ニ依ル承認ヲ經タル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條ノ四 清算終了ノ屆書ニハ總會又ハ總代會ノ承認

ヲ經タル決算報告書ヲ添附スヘシ

第十八條 北海道廳支廳長カ産業組合法第六十條ノ規定ニ

依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ハムトスルトキハ地方長官

ノ指揮ヲ請フヘシ

第十九條 地方長官カ産業組合法第六十條又ハ第六十一條

ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ヒタルトキハ直ニ

其ノ旨ヲ農林大臣ニ報告スヘシ

第十九條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル組合又ハ聯合會設

立許可ノ申請アリタルトキハ地方長官ハ其ノ處分ニ付豫

メ農林大臣ノ指揮ヲ請フベシ

一 製絲ヲ爲シ又ハ製絲工場ヲ有スル組合又ハ聯合會

二 醫療設備ヲ有スル組合又ハ聯合會

三 區域ガ郡、市又ハ市制第六條ノ市ノ區ノ區域ヲ超ユ

ル組合

前項ノ規定ハ組合又ハ聯合會ガ其ノ定款ヲ變更シテ同項

各號ノ一ニ該當スル組合又ハ聯合會ト爲ル場合ニ於ケル

定款變更ノ認可申請ニ付之ヲ準用ス前項第三號ニ該當ス

ル組合ガ其ノ區域ヲ變更スル場合ニ於ケル定款變更ノ認

ケタルトキハ剩餘金ノ配當ニ付昭和七年七月三十一日迄仍
從前ノ例ニ依ルコトヲ得

附則

本令ハ昭和七年法律第三十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年法律第三十號施行前ニ設立シタル養蠶實行組合ハ

同法施行前ニ加入シタル組合員ノ全員ノ同意アルニ非ザレ

バ産業組合ノ組合員タルコトヲ得ズ

第二條ノ二ノ規定ハ當分ノ内本令施行ノ際現ニ存スル保證

責任ノ組合又ハ聯合會ニ付テハ之ヲ適用セズ

第十六條ノ規定ハ昭和七年法律第三十號附則第三條ノ規定

ニ依ル組合又ハ聯合會ノ組織變更ノ認可申請書ニ付テハ之

ヲ適用セズ

農業倉庫業法

大正六年七月二十一日法律第十五號(同年九
月一日ヨリ施行)
改正大正十五年三月二十七日法律第三十二號

第一條 本法ニ於テ農業倉庫業者トハ左ノ各號ノ一ニ該當
スル者ヲ謂フ

- 一 農業ヲ營ム者カ其ノ生産シタル穀物、繭其ノ他勅令
ヲ以テ指定スル物品ヲ所有スル場合又ハ土地ニ付權利
ヲ有スル者カ小作料トシテ受ケタル穀物其ノ他勅令ヲ

農業倉庫業法

可申請ニ付亦同ジ

第一項ノ規定ハ組合又ハ聯合會ガ合併ニ因リ同項各號ノ

一ニ該當スル組合又ハ聯合會ト爲ル場合ニ於ケル合併ノ

認可申請ニ付之ヲ準用ス

第二十條 本則中農林大臣トアルハ大正六年勅令第二百號

ニ依リ農林大臣及大藏大臣ノ所管ニ係ルモノニ付テハ農

林大臣及大藏大臣トス

本則中地方長官トアルハ區域ガ道府縣ノ區域ヲ超ユル組

合又ハ聯合會ニ在リテハ農林大臣トス

前項ノ組合又ハ聯合會ヨリ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ

主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由スベシ

附則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

本令ハ大正十五年法律第五十四號施行ノ日ヨリ之ヲ施行

ス

本令施行ノ際現ニ拂込ミタル出資額以外ノ持分ニ對シ剩餘

金ノ配當ヲ行フ旨ヲ定款ヲ以テ定メタル組合又ハ聯合會ノ

剩餘金ノ配當ニ付テハ大正十五年十二月三十一日迄仍從前

ノ例ニ依ル

前項ノ組合又ハ聯合會前項ノ期日迄ニ地方長官ノ許可ヲ受

以テ指定スル物品ヲ所有スル場合ニ於テ其ノ者ノ爲ニ
本法ニ依リ之ヲ倉庫ニ保管スル者

二 販賣組合又ハ販賣組合聯合會カ賣却スル繭ヲ其ノ者

ノ爲ニ本法ニ依リ倉庫ニ保管スル者

前項ニ規定スル寄託物ニ付所有權ノ移轉アリタルトキト

雖農業倉庫業者ハ其ノ寄託物ノ保管期限内ニ限り之ヲ保

管スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ前二項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合

ニ限り業務規程ノ定ムル所ニ依リ前二項ノ規定ニ依ラス

物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得

第二條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ前條ノ

事業ノ外左ノ事業ヲ爲スコトヲ得

一 受寄物ノ調製、改裝又ハ荷造ヲ爲スコト

二 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立ヲ爲スコト

三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次ヲ爲スコト

四 自己ノ作成シタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ

爲スコト

五 受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託シタル場合ニ於テ

其ノ物品ノ聯合農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲ス

コト

六 他ノ農業倉庫業者カ擔保トシテ受取りタル農業倉庫

證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト

第三條 農業倉庫業者ハ營利ヲ目的トシテ其ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 産業組合、農會、農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人並市町村及之ニ準スヘキモノニ非サレハ第一條第一項

第一號ノ農業倉庫業者タルコトヲ得ス

命令ヲ以テ指定スル産業組合聯合會ニ非サレハ第一條第一項第二號ノ農業倉庫業者タルコトヲ得ス

第五條 農業倉庫業者タル産業組合又ハ産業組合聯合會ハ産業組合法ニ規定スルモノノ外第一條及第二條ニ規定スル事業ヲ目的ト爲スコトヲ得

前項ノ産業組合又ハ産業組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ニ非サル者ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號乃至第六號ノ事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六條 農業倉庫業者タル農會又ハ公益法人ハ第二條第四號乃至第六號ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第七條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ種類及

條ノ規定ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

第十二條 商法第三百七十六條ノ規定ハ受寄物ノ調製、改装又ハ荷造ニ關シ農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

第十三條 農業倉庫業者業務規程ヲ變更セムトスルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條 農業倉庫業者ニハ所得稅、營業收益稅及營業稅ヲ課セス

第十五條 行政官廳公益上必要ト認ムルトキハ農業倉庫業者ニ對シ其ノ指定スル穀物又ハ繭ノ寄託ヲ受ケ、受寄物ノ検査其ノ他ノ行爲ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第十六條 行政官廳ハ農業倉庫業者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ業務執行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條 行政官廳農業倉庫業者ノ業務執行若ハ財産ノ狀況ニ依リ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ、農業倉庫業者ノ行爲カ法令若ハ業務規程ニ違反シタルトキ又ハ其ノ行爲カ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ

品位ノ同一ナル寄託物ヲ混合シテ保管スルコトヲ得

第七條ノ二 農業倉庫業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ寄託物ノ倉荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

商法第三百八十三條ノ二第二項及第三百八十三條ノ三ノ規定ハ前項ノ倉荷證券ニ之ヲ準用ス

第八條 農業倉庫業者ノ作成スル倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ要ス

農業倉庫業者ニ非サル者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ得ス

第九條 混合保管ノ場合ニ於テハ農業倉庫業者ハ農業倉庫證券ニ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第十條 寄託物ノ保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六月以内トス第一條第一項ニ規定スル寄託物ニ付テハ保管期間ヲ更新スルコトヲ得但シ寄託者ハ更新ノ際同條第一項又ハ第三項ニ掲クル者タルコトヲ要シ其ノ期間ハ六月ヲ超ユルコトヲ得ス

第十一條 商法第三編第五章乃至第七章、第三百七十五條乃至第三百七十八條及第三百八十一條乃至第三百八十三

事業ノ停止ヲ命シ又ハ認可ヲ取消スコトヲ得

第十八條 農業倉庫業者タル法人ノ理事又ハ之ニ準スヘキ者本法又ハ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

第十九條 本法ニ於テ聯合農業倉庫業者トハ農業倉庫業者カ第一條第一項及第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ヲ本法ニ依リ倉庫ニ保管スル者ヲ謂フ

聯合農業倉庫業者ハ他ノ聯合農業倉庫業者カ前項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ヲ保管スルコトヲ得

聯合農業倉庫業者ハ前二項ノ規定ニ依リ保管ニ支障ナキ場合ニ限り業務規程ノ定ムル所ニ依リ農業倉庫業者カ第一條第三項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品又ハ販賣組合若ハ販賣組合聯合會カ賣却スル物品ヲ保管スルコトヲ得他ノ聯合農業倉庫業者カ本項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ニ付亦同シ

第二十條 産業組合聯合會ニ非サレハ聯合農業倉庫業者タルコトヲ得ス

第二十一條 聯合農業倉庫業者タル産業組合聯合會ハ産業組合法ニ規定スルモノノ外第二條(第二十六條第一項ノ

産業組合法關係法規

規定ニ依リ準用) 及第十九條ニ規定スル事業ヲ目的ト爲スコトヲ得

前項ノ産業組合聯合會ハ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ所屬組合又ハ所屬聯合會ニ非サル組合又ハ聯合會ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號乃至第六號(第二十六條第一項ノ規定ニ依リ準用)ノ事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條 農業倉庫業者カ寄託者又ハ農業倉庫證券ノ所持人及受寄物ノ質権者アル場合ニ於テハ其ノ質権者ノ承諾ヲ得テ其ノ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託シタル場合ニ於テハ其ノ寄託ニ因リ生シタル農業倉庫業者ノ權利義務ハ當初ノ寄託者又ハ農業倉庫證券ノ所持人ニ移轉シ當初ノ寄託ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二十三條 農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託セムトスル場合ニ於テ其ノ受寄物ノ農業倉庫證券アルトキハ將來ニ向テ其ノ證券ノ裏書ヲ禁止スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ前項ノ證券ノ裏書ヲ禁止スルニ非サレハ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託スルコトヲ得ス

第二十四條 聯合農業倉庫業者ハ其ノ受寄物ノ農業倉庫證券ナキ旨ノ農業倉庫業者ノ證明書又ハ前條第二項ノ規定

定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル
本法施行ノ際現ニ存スル預證券及質入證券ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル(大正十五年勅令第二百十七號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

農業倉庫業法施行規則

大正六年八月十五日農商務省令第十五號
改正大正九年六月八日農商務省令第六號
改正大正十五年七月十五日農林省令第十九號

第一條 農業倉庫業ノ認可申請書ニハ業務規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ

- 一 申請ノ理由
- 二 倉庫ニ於テ取扱フヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定
- 三 倉庫ノ所在地
- 四 倉庫ノ棟數、建坪、主要ナル構造又ハ工事及收容力並倉庫經營ニ要スル敷地ノ面積ニ關スル事項
- 五 倉庫及敷地ハ申請者ノ所有ニ係ルモノナリヤ否ヤノ別及所有ニ係ラサルモノニ付テハ其ノ使用ノ權利ニ關スル事項
- 六 倉庫ハ既設ノモノナリヤ否ヤノ別並新ニ建築、改築又ハ修繕ヲ爲スモノニ付テハ其ノ竣工ノ豫定期日及既設ノモノニ付テハ建築ノ時期
- 七 附屬ノ設備ニ關スル事項

農業倉庫業法施行規則

ニ依リ裏書ヲ禁止セラレタル證券ト引換ニ非サレハ其ノ受寄物ノ聯合農業倉庫證券ヲ交付スルコトヲ得ス

第二十五條 前三條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ他ノ聯合農業倉庫業者ニ寄託スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 第二條、第三條、第六條乃至第九條、第十條第一項及第十一條乃至第十八條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス但シ第二條第六號中農業倉庫業者トアルハ農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者、農業倉庫證券トアルハ農業倉庫證券又ハ聯合農業倉庫證券トシ第八條中農業倉庫證券トアルハ聯合農業倉庫證券トス

第十條第二項ノ規定ハ第十九條第一項又ハ第二項ニ規定スル寄託物ニ、同條第三項ノ規定ハ第十九條第三項ニ規定スル寄託物ニ之ヲ準用ス但シ聯合農業倉庫業者カ第十九條第一項及第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル第一條第二項ノ物品ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正六年勅令第一百十號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行ノ際現ニ農業倉庫業者カ從前ノ第一條第三項ノ規

八 貸付事業ヲ爲ス場合ニ於テハ貸付金總額ノ豫定及其ノ調達方法

九 起業費及一箇年ノ收支概算

十 申請者タル法人ニ於テ農業倉庫業開始ノ決定ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ決定ヲ證スル書面

十一 公益法人ニ在リテハ定款又ハ寄附行爲及財産目錄

十二 農業倉庫業法第一條第一項第二號ノ農業倉庫業者タラムトスル者ニ在リテハ其ノ區域内ニ於ケル販賣組合及販賣組合聯合會ノ賣却スル繭ノ數量

第二條 農業倉庫業者ノ業務規程ニハ左ノ事項ノ規定スヘシ

- 一 事業ノ種類及農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依ル保管ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨
- 二 保管スヘキ物品ノ名稱
- 三 農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位並同條第一項及第二項ノ規定ニ依リ保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第三項ノ規定ニ依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位
- 四 保管ノ方法及保管上特殊ノ作業ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ作業

- 五 保管料ニ關スル規定
- 六 保管期間ニ關スル規定
- 七 聯合農業倉庫業者又ハ倉庫營業者ニ受寄物ノ寄託ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨及寄託スヘキ聯合農業倉庫業者又ハ倉庫營業者ノ名稱
- 八 受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託スル場合ニ於ケル受寄物及農業倉庫證券ノ取扱並受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ引渡ス迄ノ間ニ於ケル危險ノ負擔ニ關スル規定
- 九 受寄物ノ入庫及出庫ニ關スル規定
- 十 證券發行ニ關スル規定
- 十一 保險ニ關スル規定アルモノニ付テハ之ニ關スル規定
- 十二 避クヘカラサル事由ニ依ル減量ノ負擔ニ關スル規定
- 十三 受寄物ノ検査ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十四 農業倉庫業法第二條ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十五 産業組合又ハ産業組合聯合會ニ於テ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ニ非サル者ノ爲ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定

- 十六 剩餘金又ハ損失金ニ關スル規定
- 第三條 混合保管ヲ爲スモノニ在リテハ前條ノ事項ノ外業務規程中ニ左ノ事項ヲ規定スヘシ
 - 一 混合保管ノ範圍
 - 二 受寄物ノ返還ニ關スル規定
- 第四條 農業倉庫業法第四條第二項ノ規定ニ依リ農業倉庫業者タルコトヲ得ル者ハ爾ノ販賣ヲ目的トスル販賣組合聯合會ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル
 - 一 共同貯倉庫及共同乾藪裝置助成規則ニ依リ共同貯倉庫ノ助成金交付ノ許可ヲ受ケタル者又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル倉庫ヲ有スル者
 - 二 共同貯倉庫及共同乾藪裝置助成規則ニ依リ共同貯倉庫ノ助成金ノ交付ヲ受ケタル倉庫ニ準スヘキ規模及構造ヲ具備スル倉庫ヲ有スル者
- 第五條 農業倉庫業者ニ非サレハ其ノ名稱中ニ農業倉庫ナル文字ヲ用ウルコトヲ得ス
- 第六條 農業倉庫業者ハ農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ同條第一項及第二項ノ規定ニ依リ保管スル物品ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ
- 第七條 農業倉庫業者倉庫ノ所在地、棟數、建坪又ハ收容

- カヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ
- 第八條 農業倉庫業者ハ事業年度終了後三月内ニ前年度ノ收支計算書及事業報告書ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
- 第九條 農業倉庫業者事業施行ニ關スル規程ヲ設ケタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
- 第十條 農業倉庫業者事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ休止シタル事業ヲ開始シタルトキ亦同シ
- 第十一條 聯合農業倉庫業者ノ認可申請書ニハ業務規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ
 - 一 第一條第一號乃至第十號ニ掲クル事項
 - 二 申請者ノ所屬組合又ハ所屬聯合會ニシテ農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者タルモノカ一年間ニ保管スル物品ノ種類別數量及申請者ニ寄託スヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定
 - 三 申請者ノ所屬販賣組合又ハ所屬販賣組合聯合會カ一年間ニ賣却スル物品ノ種類別數量及申請者ニ寄託スヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定
- 第十二條 聯合農業倉庫業者ノ業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

- 一 事業ノ種類及農業倉庫業法第十九條第三項ノ規定ニ依ル保管ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨
- 二 第二條第二號、第四號乃至第十三號及第十六號ニ掲クル事項
- 三 農業倉庫業法第十九條第三項ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位並同條第一項及第二項ノ規定ニ依ル保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第三項ノ規定ニ依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位
- 四 農業倉庫業法第二條(同法第二十六條第一項ノ規定ニ依リ準用)ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 五 所屬組合又ハ所屬聯合會ニ非サル組合又ハ聯合會ノ爲ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 六 聯合農業倉庫業者カ農業倉庫業法第二十四條ノ規定ニ依リ聯合農業倉庫證券ト引換ニ受取りタル農業倉庫證券又ハ聯合農業倉庫證券ノ取扱ニ關スル規定
- 第十三條 聯合農業倉庫業者ハ農業倉庫業法第十九條第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ同條第一項及第二項ノ規定ニ依リ保管スル物品ト區別シテ整理シタル帳簿

産業組合法關係法規

ヲ備付クヘシ

第十四條 第三條、第五條及第七條乃至第十條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス但シ第五條中農業倉庫ナル文字トアルハ聯合農業倉庫ナル文字トス

第十五條 農業倉庫業法第六條及第十三條ノ行政官廳ハ地方長官トシ同法第十五條乃至第十七條ノ行政官廳ハ農林大臣及地方長官トス但シ同法第十六條ノ行政官廳ハ北海道ニ於テ産業組合、産業組合聯合會、町村農會、郡農會又ハ町村若ハ之ニ準スヘキモノカ農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者タル場合ニ於テハ農林大臣、北海道廳長官及北海道廳支廳長トス

附則

本則ハ農業倉庫業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七條又ハ第十五條ノ規定ニ依リ公益法人ニ付地方長官ノ行フヘキ處分ハ當分ノ内農林大臣之ヲ行フ

附則

本令ハ大正十五年法律第三十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

産業組合中央金庫法

大正十二年四月五日法律第四十二號
改正昭和六年五月二十二日法律第六十三號

産業組合聯合會ノ有スベキ出資口數ハ千口ヲ、産業組合ノ有スベキ出資口數ハ五百口ヲ超ユルコトヲ得ズ

第六條 政府ハ千五百萬圓ヲ限リ産業組合中央金庫ニ出資スヘシ政府ハ其ノ出資額ニ對シ設立當初ニ於テ五百萬圓ヲ拂込ミ爾後毎年五百萬圓宛拂込ムモノトス政府以外ノ出資者ハ其ノ出資ニ對シ設立當初ニ於テ出資額ノ五分ノ一ヲ拂込ミ爾後十箇年間に其ノ殘餘ヲ拂込ムモノトス政府ノ産業組合中央金庫ニ對シテ所有スヘキ持分ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 産業組合法中産業組合ニ關スル規定ハ本法ニ別段ノ規定アルモノ及産業組合法第十條ノ五乃至第十條ノ八ノ規定ヲ除クノ外産業組合中央金庫ニ付之ヲ準用ス

第八條 産業組合中央金庫ニハ所得稅及營業收益稅ヲ課セス
登錄稅法及印紙稅法中産業組合聯合會ニ關スル規定ハ産業組合中央金庫ニ付之ヲ準用ス

第二章 役員

第九條 産業組合中央金庫ニ理事長、副理事長各一人理事、監事各三人以上ヲ置ク

第十條 理事長ハ産業組合中央金庫ヲ代表シテ其ノ事務ヲ總理ス

産業組合中央金庫法

改正昭和七年九月六日法律第三十一號

第一章 總則

第一條 産業組合中央金庫ハ法人トシ其ノ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク

産業組合中央金庫ノ組織ハ有限責任トス

第二條 産業組合中央金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ從タル事務所ヲ設置スルコトヲ得

主務大臣ニ於テ從タル事務所ヲ必要ナリトスルトキハ産業組合中央金庫ニ命シテ之ヲ設置セシムルコトヲ得
産業組合聯合會ハ産業組合中央金庫ノ業務ヲ代理スルコトヲ得

第三條 産業組合中央金庫ノ存立期間ハ設立許可ノ日ヨリ五十箇年トス但シ政府ノ認可ヲ經テ存立期間ヲ延長スルコトヲ得

第四條 産業組合中央金庫ノ資本金ハ三千萬圓トシ之ヲ三十萬圓ニ分チ一口ノ金額ヲ百圓トス

産業組合中央金庫ハ資本金全額ノ拂込前ト雖出資者總會ノ決議ニ依リ政府ノ認可ヲ經テ資本金ヲ増加スルコトヲ得

第五條 政府、産業組合聯合會又ハ産業組合ノ外産業組合中央金庫ノ出資者タルコトヲ得ス

副理事長ハ理事長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキ其ノ職務ヲ行フ

副理事長及理事ハ理事長ヲ補助シ定款ノ定ムル所ニ從ヒ産業組合中央金庫ノ業務ヲ掌理ス

監事ハ産業組合中央金庫ノ業務ヲ監査ス

第十一條 理事長、副理事長、理事及監事ハ主務大臣之ヲ任命ス
理事長、副理事長及理事ノ任期ハ五箇年監事ノ任期ハ三箇年トス但シ其ノ任期滿限ノ後再任ヲ命スルコトヲ得

第十二條 産業組合中央金庫ニ評議員二十名以内ヲ置キ主務大臣之ヲ任命ス但シ其ノ半數以上ハ産業組合關係者中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ要ス

評議員ハ名譽職トシ定款ノ定ムル所ニ依リ業務經營ニ關スル重要ナル事項ニ就キ理事長ノ諮問ニ應スルモノトス
評議員ノ任期ハ三箇年トス

第三章 業務

第十三條 産業組合中央金庫ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

- 一 所屬産業組合聯合會又ハ所屬産業組合ニ對シ擔保ヲ徵セシテ五箇年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコト
- 二 所屬産業組合聯合會又ハ所屬産業組合ニ對シ擔保ヲ

徵セシテ三十箇年以内ノ年賦償還貸付ヲ爲スコト但シ其ノ金額ハ拂込出資金及産業債券發行額ノ二分ノ一ヲ超エサルモノトス

三 所屬産業組合聯合會又ハ所屬産業組合ニ對シ手形ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ爲スコト

四 所屬産業組合聯合會又ハ所屬産業組合ノ爲ニ爲替業務ヲ爲スコト

五 産業組合聯合會、産業組合、公共團體其ノ他營利ヲ目的トセサル法人ヨリ預リ金ヲ爲スコト

六 所屬産業組合聯合會又ハ所屬産業組合ノ爲ニ有價證券ノ保護預リヲ爲スコト

七 所屬産業組合聯合會又ハ所屬産業組合ノ爲ニ有價證券ノ委託賣買ヲ爲スコト

第十四條 産業組合中央金庫ハ必要アリト認メタル場合ニ於テハ擔保ヲ徵シテ前條第一號乃至第三號ノ業務ヲ爲スコトヲ得

第十五條 産業組合中央金庫ハ左ノ方法ニ依ルノ外業務上ノ餘裕金ヲ運用スルコトヲ得ズ

一 國債證券、地方債證券又ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ノ買入ヲ爲スコト

二 大藏省預金部若ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル銀行ヘ

得

前項ノ規定ニ依リ産業債券ヲ發行シタルトキハ發行後一箇月以内ニ抽籤ヲ以テ其ノ發行券面金額ニ相當スル舊産業債券ヲ償還スヘシ

第二十條 産業組合中央金庫ニ於テ産業債券ヲ發行セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十一條 産業債券ノ消滅時効ハ元金ニ在リテハ十五箇年、利子ニ在リテハ五箇年ヲ以テ完成ス

第二十二條 産業債券ノ模造ニ關シテハ通貨及證券模造取締法ヲ準用ス

第五章 計算

第二十三條 産業組合中央金庫ノ事業年度ハ六箇月トス

第二十四條 産業組合中央金庫ハ毎事業年度ニ於テ準備金トシテ剩餘金ノ十分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第六章 監督及補助

第二十五條 主務大臣ハ産業組合中央金庫ノ業務ヲ監督ス

本法中主務大臣トアルハ農林大臣及大藏大臣トス

第二十六條 産業組合中央金庫ハ其ノ定款ヲ變更セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十七條 産業組合中央金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル

ノ預金又ハ郵便貯金ト爲スコト

三 産業組合聯合會又ハ産業組合ニ對シ短期貸付ヲ爲スコト

前項ノ餘裕金運用ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 産業組合中央金庫ハ本法ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス

第四章 産業債券

第十七條 産業組合中央金庫ハ拂込金額ノ十倍ヲ限リ産業債券ヲ發行スルコトヲ得但シ貸付金現在高割引手形現在

高及其ノ所有ニ係ル有價證券現在高ヲ超過スルコトヲ得ス

産業債券ノ發行ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

所得税法及登録税法中社債ニ關スル規定ハ産業債券ニ付之ヲ準用ス

第十八條 産業債券ハ券面金額五拾圓以上トシ無記名利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名ト爲スコトヲ得

第十九條 産業組合中央金庫ハ産業債券借換ノ爲一時第十七條ノ制限ニ依ラス低利ノ産業債券ヲ發行スルコトヲ

ニ非サレハ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第二十八條 産業組合中央金庫ハ主務大臣ノ命令ニ從ヒ其ノ業務ニ關スル諸般ノ狀況及計算報告書ヲ差出スヘシ

第二十九條 主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ産業組合中央金庫ノ貸付又ハ割引ノ金額若ハ方法ヲ制限スルコトヲ得

第三十條 産業組合中央金庫ノ貸付金利子ノ最高歩合ハ毎事業年度ノ初ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

其ノ事業年度内ニ於テ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第三十一條 主務大臣ハ特ニ産業組合中央金庫監理官ヲ置キ産業組合中央金庫ノ業務ヲ監視セシム

第三十二條 産業組合中央金庫監理官ハ何時ニテモ産業組合中央金庫ノ業務及財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

産業組合中央金庫監理官ハ監視上必要ナリト認ムルトキハ何時ニテモ産業組合中央金庫ニ命シテ業務上諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

産業組合中央金庫監理官ハ出資者總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第三十三條 産業組合中央金庫ハ創立初期ヨリ十五箇年間政府ノ出資ニ對シ剩餘金ノ配當ヲ爲スコトヲ要セス

第七章 罰則

第三十四條 左ノ場合ニ於テハ産業組合中央金庫ノ理事長、副理事長、理事又ハ監事ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受クヘキ場合ニ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

二 主務大臣ノ命令ニ反シタルトキ

三 第十五條ノ規定ニ反シ業務上ノ餘裕金ヲ使用シタルトキ

四 第十六條ノ規定ニ反シ本法ニ規定セサル業務ヲ營ミタルトキ

五 第十七條第一項及第十九條第二項ノ規定ニ反シタルトキ

第三十五條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附則

第三十六條 主務大臣ハ設立委員ヲ置キ産業組合中央金庫ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第三十七條 設立委員ハ定款ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受ケタル後出資者ヲ募集ス

第三十八條 設立委員ハ出資者ノ募集ヲ終リタルトキハ出

ムトスルトキハ産業組合中央金庫ハ農林大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

加入金及増口金ハ準備金ニ組入ルヘシ

第三條 産業組合中央金庫ニ於テ總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ

總代ハ道府縣毎ニ出資者之ヲ互選スヘシ

第四條 産業組合中央金庫ハ毎事業年度總會又ハ總代會ニ於テ一所属産業組合聯合會又ハ一所属産業組合ニ對シテ爲ス産業組合中央金庫法第十三條及第十四條ノ規定ニ依ル貸付又ハ手形ノ割引ニ付其ノ金額ノ最高限度ヲ議決スヘシ

前項ノ規定ハ産業組合中央金庫法第十五條ノ規定ニ依ル貸付ニ付之ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ハ遲滞ナク之ヲ農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ

第五條 剩餘金ノ配當ハ拂込濟出資額又ハ所属産業組合聯合會及所属産業組合ニ對シ取扱ヒタル事業ノ分量ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

拂込濟出資額ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六分ヲ超ユルコトヲ得ス但シ準備金ノ額カ出資總額ノ四分ノ一ニ達シ

産業組合中央金庫法施行規則 産業組合及産業組合聯合會取扱心得

資申立書ヲ主務大臣ニ提出シ産業組合中央金庫設立ノ許可ヲ稟請スヘシ

前項ノ許可ヲ受ケタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク出資第一回ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス

第三十九條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ産業組合中央金庫理事長ニ引渡スヘシ

第四十條 産業組合中央金庫設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則 (昭和六年法律第六十三號)

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和七年法律第三十一號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第二十三條ノ改正規定ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

産業組合中央金庫法施行規則

則

大正十二年七月五日農商務省令第十六號 改正昭和七年九月三十日農林省令第二十六號

第一條 産業組合中央金庫ニ對シテ政府ノ有スル持分ハ拂込資本金ニ對スル政府ノ拂込濟出資額ノ割合ニ依ルモノトス

第二條 資本金増加ノ場合ニ於テ加入金及増口金ヲ徵收セ

タルトキハ年八分迄之ヲ増加スルコトヲ得

第六條 産業組合中央金庫ノ理事長、副理事長、理事及監事ノ報酬又ハ賞與ニ關スル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

前項役員ノ報酬ノ額ハ農林大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 財産目錄、貸借對照表及事業報告書ニ付總會又ハ總代會ノ承認アリタルトキハ産業組合中央金庫ハ遲滞ナク之ヲ農林大臣及大藏大臣ニ提出シ且定款ノ定ムル方法ニ從ヒ貸借對照表ヲ公告スヘシ

第八條 産業組合中央金庫ニ於テ事業施行ニ關スル規程ヲ設ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

附則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

本令ハ昭和七年法律第三十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

産業組合及産業組合聯合會 取扱心得

昭和七年十二月七日更第一九七四號

第一條 産業組合ノ設立ヲ許可シ又ハ其ノ合併ニ因ル設立アリタルトキハ第二條ノ場合ヲ除クノ外左ノ事項ヲ具シ各一箇月分ヲ取纏メ之ヲ報告スベシ其ノ事項ニ變更ヲ生ジタルトキ亦同ジ

一 名稱

二 區域

三 事務所

四 存立時期(自 年 月 日至 年 月 日)

五 設立許可又ハ合併認可ノ年月日

第二條 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引若ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ノ設立ヲ許可シタルトキ、其ノ合併ニ因ル設立アリタルトキ又ハ産業組合ガ定款ノ變更若ハ合併ニ因リ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引若ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合トナリタルトキハ其ノ都度定款ノ謄本ヲ添ヘ其ノ年月日ヲ記載シ之ヲ報告スベシ産業組合聯合會ノ設立ヲ許可シ又ハ其ノ合併ニ因ル設立アリタルトキ亦同ジ

前項ニ掲グル信用組合又ハ産業組合聯合會ノ定款ニ變更アリタルトキハ其ノ都度定款ノ抄本ヲ添ヘ其ノ年月日ヲ記載シ之ヲ報告スベシ

第三條 左ノ場合ニ於テハ意見ヲ具シ産業組合法施行規則

ニ 繰繰機百五十釜未満ノ設備ヲ爲サントスルモノニ在リテハ百五十釜以上ト爲シ得ザル特別ノ事由

二 醫療設備ヲ有スル組合又ハ聯合會ニ在リテハ左ノ事項ヲ記載シタル書類

イ 區域内ニ於ケル總戸數、組合員數(聯合會ニ在リテ

ハ所屬組合數)及出資口數

ロ 醫療設備ノ概要

敷地ノ面積

建物ノ種別、階數及面積

配置及附近略圖

患者ヲ收容スルモノニ在リテハ其ノ收容定員

其ノ他參考トナルベキ事項

ハ 醫師ノ數、經歷、診療分擔科名及診療ニ従事スル

條件

ニ 調劑員、看護員其ノ他ノ診療介助者ノ男女別數及

介助ノ内容別

ホ 醫療事業ニ關スル起業費ノ收支概算並ニ事業ノ收

支概算

ヘ 診療ニ關スル規程

ト 區域内ニ於ケル診療科別開業醫師數

三 區域ガ郡、市又ハ市制第六條ノ市ノ區ノ區域ヲ超ユ

産業組合及産業組合聯合會取扱心得

第一條ノ四ニ掲グル書類ノ寫ヲ添ヘ豫メ本省ニ打合スベシ

一 産業組合法第一條第七項ノ規定ニ依ル事業ヲ行フ利用組合ノ設立ヲ許可セントスルトキ

二 組合員タルコトヲ得ザル者ヲシテ産業組合法第一條

第八項ノ規定ニ依リ指定シタル設備ヲ利用セシムル爲

ニスル定款變更ヲ認可セントスルトキ

三 組合合併ノ際定款ヲ以テ前號ノ事業ヲ行フ旨ヲ定メ

ントスル場合ニ於テ合併ヲ認可セントスルトキ

第四條 産業組合法施行規則第十九條ノ二ノ規定ニ依リ組

合又ハ聯合會設立許可ノ申請ニ付指揮ヲ請ハントスルト

キハ意見ヲ具シ定款ノ外左ノ書類ヲ添附スベシ

一 製絲ヲ爲シ又ハ製絲工場ヲ有スル組合又ハ聯合會ニ

在リテハ左ノ事項ヲ記載シタル書類

イ 製絲業法施行規則第四條第一項第一號、第二號及

第五號ニ掲グル事項

ロ 組合員數(聯合會ニ在リテハ所屬組合數)及其ノ出

資口數

ハ 區域内ニ於ケル養蠶戸數及上繭產額並ニ組合員

(聯合會ニ在リテハ所屬組合ノ組合員)中養蠶者數及

其ノ上繭產額

ル組合ニ在リテハ左ノ事項ヲ記載シタル書類

イ 郡、市又ハ市制第六條ノ市ノ區ノ區域ヲ超ユル區

域ヲ必要トスル事由

ロ 組合員數及其ノ分布狀態並ニ出資口數

ハ 事業計畫及事業執行ノ方法

ニ 區域内ニ於テ同種事業ヲ營ム組合アラバ其ノ區域

及事業トノ關係

産業組合法施行規則第十九條ノ二第二項及第三項ノ規定

ニ依ル認可申請ニ付指揮ヲ請ハントスルトキハ意見ヲ具

シ前項ノ書類ノ外最近ニ於ケル財産目錄、貸借對照表及

事業報告書ノ寫ヲ添附スベシ

第五條 昭和七年農林省令第三十三號(産業組合法第六條

ノ三ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一部委任ニ關スル

件)第一條各號ニ掲グル組合ノ設立ノ許可又ハ定款ノ變

更、繼續、解散若ハ合併ノ認可ニ付申請書ノ提出アリタ

ルトキハ地方長官關係地方長官ト協議ノ上其ノ顛末及意

見ヲ具シ其ノ申請書ヲ進達スベシ

前項ノ規定ハ昭和七年農林省令第三十三號第三條ノ規定

ニ依リ主務大臣ノ職權ノ一部委任アリタル聯合會ニ付之

ヲ準用ス産業組合法第七十九條第二項ノ規定ニ依ル聯合

會ノ合併認可ニ付亦同ジ

第六條 産業組合又ハ産業組合聯合會ノ解散アリタルトキ

ハ左ノ事項ヲ具シ産業組合ニ在リテハ一箇月分ヲ取纏メ産業組合聯合會ニ在リテハ其ノ都度之ヲ報告スベシ

一 名稱

二 解散ノ原因、總會ノ決議ニ因ル場合ニ在リテハ尙其ノ決議ヲ爲スニ至リタル事情

三 解散ノ年月日

四 政府融通資金借入金ノ有無、若シ有ラバ各資金別未償還金額及其ノ償還ニ關スル見込

第七條 前年七月一日ヨリ當年六月三十日迄ノ間ニ事業年度ノ終了シタル産業組合ノ當該事業年度ニ於ケル狀況ヲ左ノ區分ニ從ヒ様式第一號ニ依リ毎年九月三十日迄ニ報告スベシ

一 産業組合總括概況

二 信用組合概況(單營)

三 販賣組合概況(單營)

四 購買組合概況(單營)

五 利用組合概況(單營)

六 信用事業ヲ行フ産業組合概況

七 販賣事業ヲ行フ産業組合概況

八 購買事業ヲ行フ産業組合概況

第九 利用事業ヲ行フ産業組合概況

第八條 産業組合及産業組合聯合會ノ前年十二月三十一日現在ニ於ケル種類別及組織別數ヲ様式第二號ニ依リ毎年一月十五日迄ニ報告スベシ

第九條 産業組合及道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會ニ付毎年六月三十日及十二月三十一日現在ノ狀況ヲ様式第三號ニ依リ各翌月末日迄ニ報告スベシ

第十條 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引若ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合又ハ産業組合聯合會ガ産業組合法施行規則第十條ノ規定ニ依リ書類ヲ差出シタルトキハ遲滞ナク其ノ謄本ヲ組合又ハ聯合會毎ニ差出スベシ

第十一條 産業組合臺帳及産業組合聯合會臺帳ヲ備ヘ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 名稱

二 組織

三 區域

四 事務所

五 目的

六 設立許可ノ年月日

七 出資一口ノ金額

十四 理事及監事ノ氏名及住所

理事及監事ノ氏名及住所ヲ記載スベキ帳簿ハ之ヲ別ニ作成スルヲ妨ゲズ

第十二條 本内訓ニ依ル報告又ハ書類ノ提出ハ大正六年勅令第二百號ニ依リ農林大臣及大藏大臣ノ所管ニ係ルモノニ付テハ各別ニ之ヲ爲スベシ

様式第一號

甲 産業組合總括概況ノ一(總組合數) 何々組合概況(總組合數)

調査事項	調査組合數	事業	實備	考
組合員數		農 林 工 商 水産 其ノ他 計	人	

産業組合及産業組合聯合會取扱心得

	積立金			拂込濟 出資額	出資 總額
	計	其 積立 金	準 備 金		
前年度末現在額					
産業組合 中央金庫 信用組合 聯合會 計 其 他 銀行 聯合會 信用組合 中央金庫 産業組合					法 養蠶實行組合 産業組合 人 其 他 計
事實ノ存セザル組合數					

出資口數	農 林 工 商 水 其 產 他				農事實行組合 養蠶實行組合 産業組合 人 其 他 計	法人數 同上組合員數 人
	計	農	林	工 商		
農事實行組合					()	()
					()	()
					()	()
					()	()

上欄組合員數中當該産業組合ノ組合員ニ非ザル者

組合員ノ利用料	(年度内)	厘	事實ノ存セザル組合數
産業組合法第一條第七項ノ規定ニ依ル利用料	内法人ノ分	厘	事實ノ存セザル組合數
	(年度内)	厘	事實ノ存セザル組合數

(注意)

- 一 様式欄外括弧内總組合數ニハ前年七月一日ヨリ當年六月三十日迄ノ間ニ事業年度ノ終了シタル組合數ヲ記載スルコト
- 二 本表ニ加ヘザル組合アルトキハ其ノ事由別ニ組合數ヲ附記スルコト
- 三 調査事項ノ一部ニ付事實ノ明瞭ナラザルモノアルトキハ其ノ組合ハ本表ニ之ヲ加ヘザルコト
- 四 借入金利率ノ記載ニ付テハ最高及最低ハ調査組合中ノ最高及最低ニ依リ普通ハ主要ナル借入金ノ利率ニ依ルコト
- 五 信用事業ヲ行フ産業組合概況、販賣事業ヲ行フ産業組合概況、購買事業ヲ行フ産業組合概況又ハ利用事業ヲ行フ産業組合概況ニハ貸出金以下ノ事項ニ付テノ記載ヲ省略スルコトヲ得
- 六 事實欄ニ記載スベキ事項ニシテ別段ノ規定ナキモノハ最近年度末現在ニ依リ之ヲ記載スルコト
- 七 本表中本年度トアルハ最近年度ヲ謂フ
- 八 事業年度ヲ六箇月トスル組合ニ在リテハ本表中前年度トアルハ最近年度ノ前々年度トシ、年度内トアルハ最近年度及其ノ前年度ノ二事業年度内トス

乙産業組合總括概況ノ二

(イ) 信用事業

調査事項		取扱組合數		事		實		備考	
貸				前年度末現在		本年度末現在		年度内	
出				無擔保		有擔保		無擔保	
貸付金				計		計		計	
				件數		件數		件數	
				金額		金額		金額	
				厘		厘		厘	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	
				土地		土地		土地	
				建物		建物		建物	

		産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金		豫約者ノ貯金	
計	前年度末現在額	本年度末現在額	前年度末現在額	本年度末現在額	前年度末現在額
	人員	人員	人員	人員	人員
計	前年度末現在額	本年度末現在額	前年度末現在額	本年度末現在額	前年度末現在額
	人員	人員	人員	人員	人員
					調査組合數

貯		金			
右利率	組合員ノ貯金	右歩合	手形割引	右利率	有價證券 其ノ他
年度内 最普 低通高	本年度末現在 年度内 拂入 前年度末現在	年度内 最普 低通高	本年度末現在 年度内 決済 割引 前年度末現在	年度内 最普 低通高	計
人員	人員	人員	人員	人員	人員
金額	金額	金額	金額	金額	金額
調査組合數	調査組合數	調査組合數	調査組合數	調査組合數	調査組合數

三 農會法關係法規

産業組合法關係法規

金	裕 餘		貸	金 資 轉 運			
	現	有 價 證 券		計	貯	借 入	準 備 金 及 諸 積 立 金
計	金	金	出 金	計	金	金	金

(注意) 前年同期ニ比シ甚シキ増減ヲ示セルモノアリタルトキハ其ノ理由ヲ備考欄ニ記載スルコト

農會法

大正十一年四月十二日法律第四十號
改正 昭和六年十月十日法律第六十九號

- 第一條 農會ハ農業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 農會ハ法人トス
- 第三條 農會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
- 一 農業ノ指導獎勵ニ關スル施設
 - 二 農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル施設
 - 三 農業ニ關スル研究及調査
 - 四 農業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
 - 五 其ノ他農業ノ改良發達ヲ圖ルニ必要ナル事業
- 第四條 農會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス
- 第五條 農會ハ農業ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得
- 農會ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ
- 第六條 行政官廳ハ農會ニ對シ農業ニ關スル報告書ノ提出及農業ニ關スル事項ノ調査ヲ命スルコトヲ得
- 第七條 政府ハ農會ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得
- 第八條 農會ハ町村農會、市農會、郡農會、道府縣農會及帝國農會トス

第九條 農會ノ地區ハ町村農會ニ在リテハ町村又ハ町村組合、市農會ニ在リテハ市、郡農會ニ在リテハ郡又ハ島司ヲ置キタル島嶼、道府縣農會ニ在リテハ道府縣、帝國農會ニ在リテハ内地ノ區域ニ依ル

特別ノ事由アルトキハ農會ノ地區ハ前項ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

第一項ノ區域ニ増減アリタルトキハ其ノ區域ヲ地區トスル農會ノ地區モ亦之ニ應シテ増減アリタルモノトス

町村カ市ト爲リタルトキハ其ノ町村ノ區域ヲ地區トスル町村農會ハ市農會ト爲リタルモノトス

第十條 農會ノ名稱ニハ町若ハ村農會、市農會、郡農會、道、府若ハ縣農會又ハ帝國農會ナル文字ヲ用キルヘシ但シ農會ノ地區カ町、村、市、郡、道、府又ハ縣ノ區域ニ依ラサルトキハ其ノ名稱中ニ此等ノ區域ヲ示スヘキ文字ヲ用キサルコトヲ得

本法ニ依リ設立シタル農會ニ非サレハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲グル文字ヲ用キルコトヲ得ス

第十一條 農會ハ町村農會及市農會ニ在リテハ國、公共團體及命令ヲ以テ規定シタル者ヲ除クノ外其ノ地區内ノ耕地、牧場又ハ原野ヲ所有スル者及其ノ地區内ニ於テ農業ヲ營ム者、郡農會ニ在リテハ其ノ地區内ノ町村農會、道

府縣農會ニ在リテハ其ノ地區内ノ市農會、郡農會及郡農會ノ會員ニ非サル町村農會、帝國農會ニ在リテハ道府縣農會ヲ以テ其ノ會員トス

第十二條 農會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

町村農會及市農會ニ在リテハ前項ノ同意ヲ爲シタル者ノ所有シ又ハ占有スル其ノ地區内ノ耕地、牧場及原野ノ面積ハ私用ニ供スル其ノ地區内ノ耕地、牧場及原野ノ面積ノ二分ノ一以上ナルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ此ノ條件ニ依ラサルコトヲ得

第十三條 郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ農會ノ會員タルヘキ農會ハ其ノ總會ニ於テ創立委員各一人ヲ其ノ役員中ヨリ選任スヘシ但シ道府縣農會ヲ設立スル場合ニ於テ郡農會ノ會員ニ非サル町村農會ヲ選任スル創立委員ノ選出ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十四條 町村農會及市農會ノ創立總會ニ於テハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ其ノ役員並其ノ組織スヘキ農會ノ議員及豫備議員ト爲ルヘキ者ヲ、其ノ他ノ農會ノ創立總會ニ於テハ其ノ創立委員中ヨリ其ノ役員並其ノ組

織スヘキ農會ノ議員及豫備議員ト爲ルヘキ者ヲ選任スヘシ但シ第二十七條第二項但書及第三項ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 農會ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時成立ス

第十六條 農會成立シタルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總會ニ加入シタルモノト看做ス但シ行政官廳カ特別ノ事由ニ依リ加入ノ必要ナシト認めタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 農會ニ總會ヲ置ク

總會ハ町村農會及市農會ニ在リテハ會長副會長及會員、其ノ他ノ農會ニ在リテハ會長副會長議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス

郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ノ議員ハ其ノ農會ノ會員タル農會ニ於テ各一人ヲ其ノ役員中ヨリ選任スヘシ但シ郡農會ノ會員ニ非サル町村農會カ選任スル議員ノ選出ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十八條 道府縣農會及帝國農會ノ設立ノ場合ニ於テハ創立委員其ノ農會ノ議員ト爲ル

第十九條 郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ノ會員タル農會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ豫備議員各一人ヲ其ノ役員中ヨリ選任スヘシ

豫備議員ハ議員事故アルトキハ之ヲ代理シ議員闕ケタルトキハ議員ト爲ル

前條第三項但書ノ規定ハ豫備議員ニ付キ之ヲ準用ス

第十九條 行政官廳ハ農業ニ關スル學識經驗アル者ヲ郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ノ特別議員ニ任命スルコトヲ得

特別議員ノ員數ハ議員定數ノ三分ノ一ヲ超ユルコトヲ得

第二十條 左ニ掲クル事項ハ總會ノ議決ヲ經ヘシ

- 一 收支豫算
 - 二 經費ノ分賦收入方法
 - 三 事業報告及收支決算
 - 四 借入金
 - 五 基本財産ノ造成、管理及處分
 - 六 會則ノ變更
 - 七 役員、議員及豫備議員ノ選任及解任
 - 八 第十二條第一項、第二十四條第二項及第三十五條ノ同意
- 前項第一號、第二號、第四號及第六號ニ掲クル事項ノ決議ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス
- 第二十一條 總會ハ會長之ヲ招集ス

總會ヲ組織スル者ハ其ノ總數ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

會長正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後十四日以内ニ總會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

前三項ノ規定ニヨリ總會ヲ招集スルコト能ハサルトキハ行政官廳ハ會員又ハ議員若ハ特別議員ヲ指定シテ總會ヲ招集セシムルコトヲ得

第二十二條 總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲ以テ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ又ハ前條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第二十三條 總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十四條 會則ノ變更ハ總會ニ於テ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

會則ノ變更カ地區ノ増減ニ關スルトキハ前項ノ規定ニ依ル議決ノ外新ニ編入セラレ又ハ削除セラルヘキ區域内ノ會員タル資格ヲ有スル者又ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意

アルコトヲ要ス

第二十五條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ會則ノ定ムル所ニ依リ書面ヲ以テ其ノ總會ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得但シ町村農會及市農會ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條 町村農會及市農會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總會ヲ置キ總會ニ代フルコトヲ得
總代會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ選舉シタル總代ヲ以テ之ヲ組織ス

總會ニ關スル規定ハ總代會ニ之ヲ準用ス
第二十七條 農會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一人
- 副會長 一人
- 評議員 數人

役員ハ町村農會及市農會ニ在リテハ會員中ヨリ、其ノ他ノ農會ニ在リテハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ケス

前項但書ノ規定ニ依リ選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十八條 會長ハ農會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

會長ハ地方長官ノ認可ヲ得テ之ヲ處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制第百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

前二項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次キ其ノ時効ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル

經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ使用料及手數料ヲ徵收スルコトヲ得
前項ノ使用料及手數料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十二條 行政官廳ハ農會ニ對シ會務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、會務執行又ハ財産ノ狀況ヲ檢査シ、會則收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十三條 農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員タル農會ニ對シ農業ニ關スル報告書ノ提出及農業ニ關スル事項ノ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十四條 行政官廳ハ農會ノ決議又ハ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス

副會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會長ノ職務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ並會務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

第二十九條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルモノハ會長之ヲ專決處分スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第三十條 農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得
町村農會及市農會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ物件ヲ以テ經費ノ負擔ヲ爲サシムルコトヲ得

町村農會及市農會ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ其ノ會長ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ農會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

市町村カ前項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セヌ又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セサルトキハ

認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員若ハ特別議員ヲ解任シ、議員豫備議員若ハ總代ノ改選ヲ命ジ、農會ノ事業ヲ停止シ又ハ農會ノ解散ヲ命スルコトヲ得
第三十五條 農會解散又ハ合併ヲ爲サムトスルトキハ其ノ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得、道府縣農會ニ在リテハ尙其ノ會員タル郡農會及市農會ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得且合併ノ場合ニ於テハ會則ヲ議定シ事由ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

農會分割ヲ爲サムトスルトキハ前項ノ規定ニ準スル同意ノ外分割ノ各農會ノ會員又ハ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得農會ノ權利義務ノ限度ヲ定メ且會則ヲ議定シ事由ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第三十二條第二項、第十三條乃至第十五條及第十七條第四項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十六條 合併後存續スル農會又ハ合併ニ因リテ設立シタル農會ハ合併ニ因リテ消滅シタル農會ノ權利義務ヲ承繼ス

分割ニ因リテ設立シタル農會ハ前條ノ規定ニ依リテ定リタル限度ニ於テ從前ノ農會ノ權利義務ヲ承繼ス

第三十七條 農會ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

農會法關係法規

第三十八條 農會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ其

ノ清算人トス但シ會則ニ別段ノ規定アルトキハ總會ニ

於テ選任シタル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ行政官廳清算

人ヲ選任ス清算人關ケタルトキ亦同シ

第三十九條 清算人ハ農會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル

一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

清算方法及財產處分ニ付テハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第四十條 行政官廳必要ト認ムルトキハ清算方法及財產處

分ノ變更ヲ命シ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第四十一條 本法ニ於テ市町村トアルハ市制町村制ヲ施行

セサル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノトシ郡トアルハ北

海道ニ在リテハ北海道廳支廳長管轄區域トス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治三十二年法律第百三號農會法ハ之ヲ廢止ス

明治三十二年法律第百三號農會法ニ依リ設立シ本法施行ノ

際現ニ存スル農會ハ之ヲ本法ニ依リ設立シタルモノト看做

ス

本法施行ノ際現ニ前項ノ農會ノ役員、議員、豫備議員又ハ

農林大臣ノ認可ヲ受ケ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第二條 町村農會又ハ市農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ

地區内ニ居住セサル會員ヲシテ其ノ地區内ニ代理人ヲ設

ケシムルコトヲ得

農會ハ前項ノ代理人ニ對スル通知ヲ以テ本人ニ對スル通

知ニ代フルコトヲ得

第三條 農會ヲ設立セムトスルトキハ會員タル資格ヲ有ス

ル者發起人ト爲リ他ノ會員タル資格ヲ有スル者ニ地區、

特別議員ノ職ニ在ル者ハ其ノ任期中仍其ノ職ニ在ルモノト

ス

農會法施行期日ノ件

大正十一年八月一日勅令第三百五十七號

大正十一年法律第四十號農會法ハ大正十二年一月一日ヨリ

之ヲ施行ス

農會法施行規則

大正十一年八月十七日農商務省令第十六號

改正 大正十四年四月二十五日農林省令第六號

改正 大正十五年六月二十三日農林省令第十三號

第一條 町村農會又ハ市農會ノ地區内ニ於テ左ノ各號ノ一

ニ該當スル農業ノミヲ營ム者ハ其ノ農會ノ會員ヨリ之ヲ

除外ス

一 一段歩未滿ノ他人ノ土地ニ於テ行フ耕種

二 一箇年ヲ通シテ框製蠶種四枚未滿又ハ之ニ相當スル

蠶種ヲ掃立テテ行フ養蠶

三 前二號ニ掲クルモノヲ併セ行フ農業

前項ニ掲クル者ノ外地方長官ニ於テ特ニ町村農會及市農

會ノ會員ヨリ除外スルノ必要アリト認ムル者アルトキハ

ノ同意アルニ非サレハ之ヲ議定スルコトヲ得ス

町村農會及市農會ノ創立總會ニ在リテハ會員タル資格ヲ

有スル者ハ他ノ會員タル資格ヲ有スル者ニ委任シテ其ノ

議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ代理權ヲ證

スル書面ヲ差出スヘシ

創立總會ノ議長ハ出席者中ヨリ之ヲ互選スヘシ

第二十四條ノ規定ハ創立總會ニ付之ヲ準用ス

第八條 農會ノ負擔ニ歸スヘキ創立費用及其ノ償却方法ハ

創立總會ノ承認ヲ經ヘシ

第九條 郡農會ノ會員ニ非サル町村農會ノ創立總會ニ於テ

ハ其ノ組織スヘキ道府縣農會ノ議員及豫備議員ト爲ルヘ

キ者ノ選任ハ之ヲ行ハス

第十條 創立總會終了シタルトキハ發起人ハ遲滞ナク設立

認可申請書ヲ行政官廳ニ差出スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ會則、設立ニ付法定ノ同意アリタ

ルコトヲ證スル書面、創立費用ノ明細書及議事録ノ謄本

ヲ添附スヘシ

農會法第九條第二項及第十二條第二項但書ノ場合ニ於テ

ハ前項ニ掲クルモノノ外其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添

附スヘシ

第十一條 會則ニハ農會法及本則ニ規定スルモノノ外左ニ

農會法施行期日ノ件 農會法施行規則

掲クル事項ヲ記載スヘシ

一名 稱

二事 業

三事務 所

四 農會法第九條第一項ノ區域ニ依ラサル農會ニ在リテ

ハ其ノ地區

五 役員ノ定數

六 總代會ヲ置ク農會ニ在リテハ總代ノ定數、任期、選

任及解任ニ關スル規定

七 會議ニ關スル規定

八 會計ニ關スル規定

第十二條 農會ノ設立ヲ認可シタルトキハ行政官廳ハ其ノ

農會ノ名稱、地區、事務所及認可ノ年月日ヲ告示スヘシ

其ノ告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

第十三條 町村農會及市農會ハ會員名簿ヲ調製シ之ヲ事務

所ニ備ヘ置クヘシ會員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 會員ノ氏名及住所

二 會員タル資格

三 地租納額其ノ他經費賦課ノ基礎ト爲ルヘキ事項

四 代理人ノ氏名及住所

會員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ農會ハ遲滞ナ

任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第十八條 會員百人以上ヲ以テ組織スル町村農會及市農會

ハ會則ノ定ムル所ニ依リ總代會ヲ置クコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ總代會ニ付之ヲ準用ス

第十九條 町村農會又ハ市農會ノ總代ハ其會員中ヨリ投票

ニ依リ之ヲ選舉ス

總代ノ定數ハ二十人ヲ下ルコトヲ得ス

第二十條 總代ヲ選舉スルノ權利ハ一人一箇トス但シ同一

ノ土地ヲ共有スルニ因リテノミ會員タル資格ヲ有スル者

ハ之ヲ一人ト看做ス

前項ノ權利ハ會員自ラ之ヲ行フヘシ但シ未成年者及禁治

產者ニ在リテハ法定代理人ニ於テ之ヲ行フヘシ

第二條ノ代理人ヲ設ケタル場合ニ於テハ會員ハ其ノ代理

人ヲシテ第一項ノ權利ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十一條 總代ノ選舉ニ關スル事務ハ會長之ヲ管理ス

第二十二條 總會ヲ招集セムトスルトキハ帝國農會ニ在リ

テハ少クトモ三十日前ニ、其ノ他ノ農會ニ在リテハ少ク

トモ十四日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總會

ニ組織スル者ニ通知スヘシ

前項ノ期間ハ會則ヲ以テ之ヲ短縮スルコトヲ得

第二十三條 總會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル事

ク之ヲ訂正スヘシ

會員名簿ノ閱覽ヲ求ムル者アリタルトキハ農會ハ正當ノ

事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十四條 郡農會ノ會員ニ非サル町村農會ノ選出スヘキ道

府縣農會ノ議員及豫備議員ハ郡毎ニ各一名トシ其郡内ニ

在ル郡農會ノ會員ニ非サル町村農會ハ其ノ役員中ヨリ之

ヲ選任スヘシ

第十五條 郡農會、道府縣農會及帝國農會成立シタルトキ

ハ其ノ會員タル農會ハ最近ノ總會ニ於テ豫備議員ヲ選任

スヘシ但シ郡農會ノ會員ニ非サル町村農會ノ行フ豫備議

員ノ選任ニ付テハ其ノ組織スル道府縣農會ノ指定スル期

日ニ依ル

第十六條 豫備議員闕ケタルトキハ其ノ豫備議員ヲ選任シ

タル農會ハ最近ノ總會ニ於テ豫備議員ヲ選任スヘシ

前條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 役員、議員及豫備議員ノ任期ハ農會ノ事業年度

ニ從ヒ四箇年トス但シ補闕ノ役員、議員及豫備議員ノ任

期ハ前任者ノ殘任期間トス

新ニ成立シタル農會ノ最初ノ役員、議員及豫備議員ノ任

期ハ他ノ農會ノ役員、議員及豫備議員ノ殘任期間トス

役員、議員及豫備議員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖後

項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ會則ニ別段ノ定ア

ル場合ハ此限ニ在ラス

第二十四條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲クル事項ヲ

記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名スヘシ

一 開會ノ日時及場所

二 總會ヲ組織スル者ノ定數又ハ員數

三 出席者ノ員數

四 議事ノ要領

五 議決シタル事項及賛否ノ數

第二十五條 農會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十

一日迄トス

第二十六條 町村農會及市農會ノ經費ヲ賦課セムトスルト

キハ左ノ賦課方法及金額ノ制限ニ依ルヘシ但シ總會ノ決

議ヲ以テ其ノ一ニ依ルコトヲ得

一 會員ノ割 一人ニ付金五十錢以內

二 會員ノ資格要件タ 地租納額百分ノ五十以內

原野ニシテ農業ニ利用セサル土地ニ付テハ地租割ヲ賦課

スルコトヲ得ス

特別ノ事由アル場合ニ於テハ町村農會又ハ市農會ハ地方

長官ノ認可ヲ受ケ第一項ノ賦課方法及金額ノ制限ニ依

ラスシテ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第二十七條 町村農會及市農會ハ其ノ會員ニ對シ總會ノ議決ニ依リ穀物、繭其ノ他ノ農産物ヲ以テ經費ヲ負擔セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ物品ノ價格ハ經費ノ賦課額ニ相當スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ經費ヲ負擔セシメラレタル會員ハ金錢ヲ以テ物件ノ納付ニ代フルコトヲ得

第二十八條 收支豫算及經費分賦收入方法ノ認可申請書ハ毎年二月末日迄ニ之ヲ行政官廳ニ差出スヘシ但シ設立ノ認可ヲ受ケタル年度ニ於テハ總會ノ議決ヲ經タル後遲滞ナク之ヲ差出スヘシ

第二十九條 會則、收支豫算及經費分賦收入方法ノ變更並借入金ノ認可申請書ニハ理由書ヲ添附スヘシ尙借入金ノ認可申請書ニハ利率、期間、借入先及償還ノ方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第三十條 事業報告及收支決算ハ次ノ事業年度内ニ總會ノ承認ヲ受ケ遲滞ナク之ヲ行政官廳ニ差出スヘシ

第三十一條 農會法第二十七條第三項ノ規定ニ依ル役員選任ノ認可申請書ニハ履歷書ヲ添附スヘシ

第三十二條 農會ニハ會則ノ定ムル所ニ依リ幹事、技師其ノ他ノ職員ヲ置クコトヲ得

第三十三條 農會ノ解散、合併若ハ分割又ハ地區ノ増減ニ

一 農會ノ設立、解散、合併又ハ分割ノ認可ヲ爲シタルトキ

二 農會法第三十二條ノ規定ニ依リ會則、收支豫算若ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命シ又ハ同法第三十四條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ

三 道府縣農會ノ特別議員ヲ任命シタルトキ
前項第二號ノ場合ニ於テハ其ノ報告書ニ事由書ヲ添附スヘシ

第三十九條 農會法第十二條、第十六條、第二十條、第二十七條、第三十四條、第三十五條、第三十九條及第四十條並本則第三十條、第三十五條及第三十六條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ町村農會、市農會及郡農會ニ在リテハ地方長官、道府縣農會及帝國農會ニ在リテハ農林大臣トス但シ北海道ニ於ケル町村農會ニ在リテハ北海道廳支廳長トス

北海道廳支廳長農會法第十六條ノ認可及第三十四條ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ北海道廳長官ニ經伺スヘシ
農會法第十九條、第二十一條及第三十八條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ町村農會、市農會、郡農會及道府縣農會ニ在リテハ地方長官、帝國農會ニ在リテハ農林大臣トス但シ北海道ニ於ケル町村農會及郡農會ニ在リテハ北海道廳

關スル會則變更ノ認可申請書ニハ法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附シ尙合併ノ場合ニ於テハ合併後存續スル農會又ハ合併ニ因リテ設立スル農會ノ會則ヲ、分割ノ場合ニ於テハ分割ノ各農會ノ會則及其ノ權利義務ノ限度ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ
農會法第三十五條第三項ノ規定ニ依リ準用スル同法第十二條第二項但書ノ場合ニ於ケル合併又ハ分割ノ認可申請書ニハ前項ノ書類ノ外其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第三十四條 農會ノ解散、合併又ハ分割ヲ認可シタルトキハ行政官廳ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三十五條 清算終了シタルトキハ清算人ハ清算ニ關スル一切ノ書類ヲ添ヘ其ノ旨行政官廳ニ届出ツヘシ

第三十六條 左ノ場合ニ於テハ農會ハ遲滞ナク其ノ旨行政官廳ニ届出ツヘシ

一 役員ノ選任又ハ解任アリタルトキ

二 清算人ノ就任又ハ退任アリタルトキ

第三十七條 町村農會、市農會、郡農會及道府縣農會ヨリ農林大臣ニ差出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

第三十八條 左ノ場合ニ於テハ地方長官又ハ北海道廳支廳長ハ農林大臣ニ報告スヘシ

支廳長トス

附則

本則ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十三年農商務省令第十二號、明治三十五年農商務省令第二十六號及明治三十八年農商務省令第二十四號ハ之ヲ廢止ス
農會ハ當分ノ内從前ノ例ニ依リ農事ニ關スル報告書ヲ作成シ地方長官ヲ經テ之ヲ農林大臣ニ差出スヘシ

附則

改正大正十五年六月二十三日農林省令第十三號

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行從前ノ規定ニ依リ郡長ニ對シ爲シタル申請ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

【參照】

明治三十三年六月九日農商務省令第十二號ハ北海道ニ於ケル郡農會及北海道農會ヲ組織スヘキ農會ノ數ニ關スル件明治三十五年十二月二十七日同第二十六號ハ農會ニ於テ農事ニ關スル事項調査ノ件明治三十八年十一月六日同第二十四號ハ農會令施行規則ナリ

四 重要物產同業組合法關係法規

重要物産同業組合法

明治三十三年三月七日法律第三十五號
改正 大正五年三月法律第十五號

第一條 重要物産ノ生産、製造又ハ販賣ニ關スル營業ヲ爲ス者ハ同業者又ハ密接ノ關係ヲ有スル營業者相集リテ本法ニ依リ同業組合ヲ設置スルコトヲ得

重要物産及密接ノ關係ヲ有スル營業ノ種類ハ農商務大臣ノ認定ニ依ル

第二條 同業組合ハ組合員協同一致シテ營業上ノ弊害ヲ矯正シ其ノ利益ヲ増進スルヲ以テ目的ト爲ス

第三條 同業組合ヲ設置セムトスルトキハ豫メ地區ヲ定メ其ノ地區内ノ同業者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ二種以上ノ營業者相集リ組合ヲ設置セムトスルトキハ各種營業毎ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

第四條 同業組合設置ノ地區内ニ於テ組合員ト同一ノ業ヲ營ム者ハ其ノ組合ニ加入スヘシ但シ營業上特別ノ情況ニ依リ農商務大臣ニ於テ加入ノ必要ナシト認ムル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 同業組合ハ組合相互ノ氣脈ヲ通シ其ノ目的ヲ達ス

重要物産同業組合法

ル爲同業組合聯合會ヲ設置スルコトヲ得
同業組合聯合會ヲ設置セムトスルトキハ其ノ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 同業組合及同業組合聯合會ハ法人トス

同業組合及同業組合聯合會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス
第七條 同業組合及同業組合聯合會ノ定款ノ變更ハ各其ノ定款ノ規定ニ從ヒ之ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 同業組合及同業組合聯合會ハ左ノ役員ヲ置クヘシ

- 一 組長 一名
 - 一 副組長 若干名
 - 一 評議員 若干名
- 前項ノ役員ノ外定款ノ規定ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得

役員ハ同業組合ニ於テハ組合員中ヨリ同業組合聯合會ニ於テハ聯合會ヲ組織スル同業組合ノ組合員中ヨリ之ヲ選舉シ農商務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス但シ必要アルトキハ組合員ニ非サル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

第九條 組長ハ其ノ同業組合又ハ同業組合聯合會ヲ統轄シ其ノ事務ヲ擔任ス

重要物産同業組合法關係法規

副組長ハ組長ノ事務ヲ輔佐シ組長故障アルトキ之ヲ代理ス

評議員ハ組長ノ諮詢ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ監査スルモノトス

副組長及評議員ノ定款ノ規定ニ依リ組長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

組長副組長共ニ故障アルトキハ評議員之ヲ代理ス

第十條 同業組合及同業組合聯合會ハ各其ノ定款ニ於テ檢査規定ヲ設ケ組合員ノ營業品ヲ檢査スルコトヲ得

同業組合及同業組合聯合會ハ各其ノ定款ニ於テ違約者ニ關スル規定ヲ設ケ違約者ニ對シ過怠金ヲ徵シ違約物品ヲ沒收スルコトヲ得

第十條ノ二 前條第一項ノ檢査ヲ行フ同業組合及同業組合聯合會ニ在リテハ檢査員ヲ置クヘシ

檢査員ノ選任及解任ハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十條ノ三 同業組合及同業組合聯合會ハ前條ノ檢査員ノ服務ニ關スル規定ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十條ノ四 農商務大臣ハ重要輸出品ニ關スル同業組合又ハ同業組合聯合會ノ申請アルトキ又ハ必要ト認ムルトキハ其ノ役員又ハ檢査員ノ選任又ハ解任ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ選任セラレタル役員ノ解任ハ農商務大臣ノ行爲ニシテ法律命令ニ違背シ又ハ公益ヲ害シ又ハ其ノ目的ニ違背シ又ハ監督官廳ノ命シタル事項ヲ執行セサルトキハ農商務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 同業組合若ハ同業組合聯合會ノ解散又ハ其ノ業務ノ停止
- 二 役員ノ解職
- 三 決議ノ取消

第十六條 同業組合若ハ同業組合聯合會解散ヲ爲サムトスルトキハ組合員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ其ノ事由ヲ具シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條 地方長官ハ其ノ管内ニ於ケル同業組合及同業組合聯合會ヲ監督シ必要アルトキハ意見ヲ具シ農商務大臣ノ處分ヲ請フヘシ

第十八條 農商務大臣ハ同業組合及同業組合聯合會ニ關シ其ノ職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十九條 第四條ノ規定ニ違背シタル者ハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

第十九條ノ二 同業組合及同業組合聯合會ノ役員第十三條又ハ第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違背シタルトキハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

第十九條ノ三 同業組合及同業組合聯合會ノ役員檢査員其

重要物産同業組合法

五五四

臣ノ認可ヲ受クヘシ

重要輸出品ノ種類ハ農商務大臣之ヲ指定ス

第十一條 同業組合及同業組合聯合會ノ經費ノ豫算並徵收法ハ各其ノ定款ノ規定ニ從ヒ之ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

經費ノ決算及業務成績ハ毎年少クトモ一回組合員ニ公示シ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十二條 同業組合及同業組合聯合會ハ其ノ事務ニ關シ行政廳ニ建議スルコトヲ得又其ノ諮問アルトキハ答申スヘシ

第十三條 農商務大臣ハ同業組合又ハ同業組合聯合會ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ業務ノ執行又ハ財産ノ狀況ヲ檢査シ經費ノ豫算又ハ其ノ徵收法ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十四條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合及同業組合聯合會ヲ設ケシムルコトヲ得

農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合ノ地區ノ範圍、營業ノ種類若ハ定款ノ變更ヲ命シ又ハ同業組合聯合會ヘノ加入若ハ同業組合聯合會ヨリノ脱退ヲ命スルコトヲ得

第十五條 同業組合若ハ同業組合聯合會ノ決議又ハ其ノ役員ノ他事務ニ從事スル者正當ノ理由ナクシテ當該官吏又ハ吏員ノ本法ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ之ヲ妨ケ若ハ之ヲ忌避シタルトキ又ハ職務ノ執行ノ爲ニスル尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

第十九條ノ四 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前三條ノ過料ニ之ヲ準用ス

第二十條 同業組合又ハ同業組合聯合會ノ證票若ハ檢査證ヲ不正ニ使用シタル者、行使ノ目的ヲ以テ證票若ハ檢査證ヲ偽造若ハ變造シタル者又ハ偽造若ハ變造ノ證票若ハ檢査證ヲ使用シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條ノ二 同業組合又ハ同業組合聯合會ノ役員又ハ檢査員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第二十條ノ三 前條第一項ニ掲クル者ニ對シ賄賂ヲ交付、

提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十條ノ四 第二十條ニ掲クル罪ハ刑法第三條ノ例ニ、

第二十條ノ二ニ掲クル罪ハ刑法第四條ノ例ニ從フ

附 則

第二十一條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

重要輸出品同業組合法ハ之ヲ廢止ス

第二十二條 重要輸出品同業組合法ニ依リテ設立シタル組合及聯合會ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ本法ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第二十三條 他ノ法律中重要輸出品同業組合法ヲ準用スヘキモノト定メタル場合ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ本法ノ規定ヲ準用シ重要輸出品同業組合法中ノ規定ニ依ルヘキモノト定メタル場合ニ付テハ之ニ相當スル本法ノ規定ヲ準用ス

附 則(大正五年法律第十五號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前選任セラレタル検査員ニ付テハ本法施行後一月

内ニ其ノ選任ノ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ期間内ニ認可ノ申請ヲ爲ササルトキハ其ノ期間満了ノ日、申請ニ對シ不認可ノ指令アリタルトキハ其ノ指令ノ日ニ於テ検査員ハ解任セラレタルモノト看做ス

検査員ハ前項解任ノ日迄從前ノ例ニ依リ職務ヲ行フコトヲ得

前三項ノ規定ハ本法ニ依リタル他ノ法律ニ依リ設置シタル組合又ハ聯合會ニ關シ之ヲ準用ス

刑法施行法第二十七條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 削除

(大正五年勅令第二百二十三號ヲ以テ同年七月一日ヨリ施行)

重要物産同業組合法施行規則

大正五年五月二十九日農商務省令第八號
改正 大正七年七月農商務省令第二十四號
改正 大正九年八月農商務省令第二十五號

第一條 同業組合ノ名稱中ニハ同業組合ナル文字ヲ用フヘシ

同業組合ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ同業組合ナル文字ヲ用フルコトヲ得ス

第二條 組合ノ地區ハ一郡市以上一府縣以下ノ區域ニ依リ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 組合ヲ設置セムトスルトキハ五名以上ノ營業者發起人ト爲リ組合地區ヲ管轄スル地方長官ニ發起ノ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

- 一 組合員タルヘキ者ノ營業ノ種類
- 二 組合ノ地區
- 三 組合ノ目的及業務ノ概目
- 四 組合設置ノ事由
- 五 組合員タルヘキ者ノ數但シ組合員タルヘキ者ノ營業ノ種類二種以上ナルトキハ其ノ營業ノ種類毎ニ之ヲ區別スヘシ
- 六 組合ノ創立費及收支ノ概算

第四條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ組合員タルヘキ者ニ前條第二項ニ掲クル事項ヲ通知シ組合設置ノ同意ヲ求ムヘシ

第五條 法定ノ同意者アリタルトキハ發起人ハ定款ヲ作り

運滞ナク創立總會ヲ召集スヘシ

創立總會ヲ召集スルニハ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ組合員タルヘキ者ニ通知シ且之ヲ公告スヘシ

重要物産同業組合法施行規則

重要物産同業組合法施行規則

前項ノ通知ニハ定款ヲ添付スヘシ

第六條 定款ハ組合員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ議定スルコトヲ得ス

組合員タルヘキ者ノ營業ノ種類二種以上ナルトキハ前項ノ同意ハ種類毎ニ三分ノ二以上ナルコトヲ要ス

第七條 創立總會ニ於テハ役員ヲ選舉シ最初ノ事業年度ノ經費ノ豫算及徵收法ヲ議決スヘシ

第八條 組合ノ負擔ニ歸スヘキ創立費及其ノ償却方法ハ創立總會ノ承認ヲ經ヘシ

第九條 第十九條第一項、第二十條、第二十二條第二項第三項及第二十七條ノ規定ハ創立總會ニ付之ヲ準用ス

第十條 創立總會終結シタルトキハ發起人ハ法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書類、定款、創立總會ノ決議録ノ謄本ヲ添付シ組合設置ノ認可ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ

前項ノ認可アリタルトキハ地方長官ハ運滞ナク其ノ旨ヲ告示スヘシ

第十一條 發起人發起ノ認可アリタル後一年内ニ組合設置ノ認可ヲ申請セサルトキハ發起ノ認可ハ其ノ效力ヲ失フ

第十二條 農商務大臣組合ノ設置ヲ命シタルトキハ地方長

官ハ創立委員ヲ選定シ其ノ氏名及住所ヲ公告スヘシ
創立委員ハ定款ヲ作り農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
組合ノ設置アリタルトキハ創立委員ハ遲滞ナク組合員ノ
總會ヲ招集スヘシ

第五條第二項、第七條、第八條、第十九條第一項、第二
十條及第二十二條第二項第三項ノ規定ハ前項總會ニ之ヲ
準用ス

第十三條 組合ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要

- 一 目的
 - 二 業務
 - 三 名稱
 - 四 地區及組合員ノ營業ノ種類
 - 五 主タル事務所及従タル事務所ノ所在地
 - 六 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定
 - 七 組合員ノ權利義務ニ關スル規定
 - 八 役員ノ定數、權限及任免ニ關スル規定
 - 九 業務ノ執行ニ關スル規定
 - 十 會議ニ關スル規定
 - 十一 會計ニ關スル規定
- 仲裁判斷又ハ調停ヲ爲ス組合ニ在リテハ之ニ關スル規定

ヲ定款ニ記載スヘシ

聯合會ヲ組織スル組合ノ定款ニハ代表員ノ選舉ニ關スル
規定ヲ記載スヘシ代表員事故アルトキ之ニ代ルヘキ豫備
代表員ヲ設クル場合其ノ選舉ニ關スル規定ニ付亦同シ

第十四條 定款ニ主タル事務所ノ位置ヲ記載セサル組合ニ
在リテハ之ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ其ノ之ヲ變更シタ
ルトキ亦同シ

第十五條 組合ニ組合會ヲ置ク

組合會ハ組合員中ヨリ選舉シタル代議員ヲ以テ之ヲ組織
ス
代議員ノ定數、任期及選舉ニ關スル規定ハ定款ヲ以テ之
ヲ定ムヘシ

第十六條 組合ノ業務ハ組合會ノ決議ニ依リ組長之ヲ行フ
但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 組長ハ定款ノ定ムル所ニ依リ毎事業年度少クト
モ一回一定ノ時期ニ於テ組合會ヲ招集スヘシ
組長必要ト認ムルトキハ組合會ヲ臨時ニ招集スルコトヲ
得

代議員定數ノ五分ノ一以上カ會議ノ目的タル事項及其ノ
招集ノ理由ヲ示シ組合會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組長
ハ之ヲ招集スヘシ評議員會カ第二十四條第二號ノ規定ニ

依リ報告ヲ爲ス爲組合會ノ招集ヲ請求シタルトキ亦同

シ
前項ノ場合ニ於テ組長一週間内ニ組合會招集ノ手續ヲ爲
ササルトキハ請求者ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集ス
ルコトヲ得

第十八條 組合會ヲ招集スルニハ少クトモ一週間前ニ會議
ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シテ定款ノ定ムル方法
ニ依リ其ノ通知ヲ發スヘシ

組合會ニ於テハ前項ノ規定ニヨリ通知シタル事項ニ付テ
ノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ
此ノ限ニ在ラス

第十九條 組合會ニ於テハ代議員定數ノ半數以上出席スル
ニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

前項ニ定メタル員數ノ代議員出席セサルトキハ出席シタ
ル代議員ノ過半數ヲ以テ假決議ヲ爲スコトヲ得此ノ場合
ニ於テハ各代議員ニ對シテ其ノ假決議ノ趣旨ノ通知ヲ發
シ更ニ一月内ニ第二回ノ組合會ヲ招集スルコトヲ要ス
第二回ノ組合會ニ於テハ出席シタル代議員ノ過半數ヲ以
テ假決議ノ認否ヲ決ス

第二十條 組合會ノ議決ハ出席シタル代議員ノ過半數ヲ以

重要物産同業組合法施行規則

テ之ヲ爲スヘシ

第二十條ノ二 組合會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ輕微ナル
モノニ付テハ組長ハ書面ニ依リ代議員ノ表決ヲ以テ組合
會ノ決議ニ代フルコトヲ得

第二十一條 定款ノ變更ハ組合會ニ於テ代議員定數ノ三分
ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ議決スヘシ
地區又ハ組合員ノ營業ノ種類ノ増減ニ關スル定款ノ變更
ハ前項ノ決議ノ外編入又ハ削除セラルヘキ區域若ハ營業
ノ種類ニ屬スル組合員タルヘキ者又ハ組合員ノ三分ノ二
以上ノ同意アルコトヲ要ス

第六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
定款變更ノ認可申請書ニハ其ノ變更ノ理由ヲ記載シタル
書面及決議録ノ謄本並第二項ノ場合ニ於テハ法定ノ同意
者アリタルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

第二十二條 組合員ノ少數ナル組合ニ在リテハ組合員ノ總
會ヲ以テ組合會ニ代フルコトヲ得

總會ニ於ケル各組合員ノ表決權ハ平等トス
總會ニ出席セサル組合員ハ書面ヲ以テ表決ヲ爲シ又ハ代
理人ヲ出スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ組合員ハ之ヲ
出席者ト看做ス

五五九

重要物産同業組合法施行規則

ス

組合會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス

第二十三條 組合ニ評議員會ヲ置ク但シ組合員少數ナル組合ニ在リテハ評議員會ヲ置カサルコトヲ得

評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十四條 評議員會ノ職務權限左ノ如シ

一 組長ヨリ組合會ニ提出スル議案ヲ審査シ組長ニ對シ意見ヲ述フルコト

二 組合ノ財産及業務ノ狀況ヲ監査シ每事業年度一回以上之ヲ組合會ニ報告スルコト

三 組長ノ諮詢ニ應スルコト

四 其ノ他定款ノ規定ニ依リ其ノ職務權限ニ屬スル事項

第二十五條 評議員會ハ組長之ヲ召集ス
評議員ノ三分ノ一以上カ會議ノ目的タル事項及其ノ召集ノ理由ヲ示シ評議員會ノ召集ヲ請求シタルトキハ組長ハ之ヲ召集スヘシ

前項ノ場合ニ於テ組長一週間内ニ評議員會召集ノ手續ヲ爲ササルトキハ請求者ハ之ヲ召集スルコトヲ得

第二十六條 第十九條乃至第二十條ノ二ノ規定ハ評議員會ニ之ヲ準用ス

第二十七條 組合會、總會及評議員會ノ議長ハ決議録ヲ作

度二月前ニ、經費ノ決算及業務成績ノ報告ハ事業年度後三月内ニ之ヲ爲スヘシ

第三十四條 組合ニ於テ定款ノ施行ニ關スル規則ヲ設ケタルトキハ農商務大臣ニ之ヲ届出ツヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第三十五條 役員ノ缺ケタル場合ニ於テ補缺選舉ノ手續ヲ行フ者ナキトキハ地方長官ハ組合員ヲ指定シテ其ノ手續ヲ行ハシム

第三十六條 組合解散シタルトキハ組長及副組長ヲ以テ其ノ清算人トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキ又ハ組合會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラス清算人ハ其ノ氏名住所ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第三十七條 前條ノ規定ニ依リテ清算人タル者ナキトキハ地方長官之ヲ選任ス

第三十八條 清算人其ノ任ニ適セス又ハ不正ノ行爲アリト認ムルトキハ地方長官ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三十九條 清算カ結了シタルトキハ清算人ハ其ノ結果ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第四十條 聯合會ヲ設置若ハ解散シ之ニ加入シ又ハ之ヨリ脱退スルニハ組合會ノ決議ニ依ルヘシ
前項ノ決議ハ代議員三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

重要物産同業組合法施行規則

リ左ノ事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ記名捺印スヘシ

一 開會ノ日時及場所

二 代議員若ハ評議員ノ定數又ハ組合員ノ數

三 出席者ノ員數

四 議事ノ要領

五 議決シタル事項

六 贊否ノ數

第二十八條 組合ノ役員及検査員選任ノ認可申請書ニハ履歷書ヲ添附スヘシ

第二十九條 組合ハ検査員ノ資格、選任、解任及給與ニ關スル規定ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第三十條 組合ノ検査員ノ服務ニ關スル規程中ニハ服務紀律及懲戒ニ關スル規程ヲ設クヘシ

組合ノ検査員ノ職務ヲ停止シ又ハ給與ヲ減額セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第三十一條 組合ノ役員及検査員ノ解任認可申請書ニハ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第三十二條 組合ノ事業年度ハ一年トス

第三十三條 組合經費ノ豫算及徴收法ノ認可申請ハ事業年

度二月前ニ、經費ノ決算及業務成績ノ報告ハ事業年度後三月内ニ之ヲ爲スヘシ

第四十一條 聯合會ヲ設置セムトスルトキハ各組合ニ於テ選定シタル創立委員ヲ以テ創立委員會ヲ開キ全員ノ同意ヲ以テ定款ノ作成其ノ他必要ナル事項ヲ議定スヘシ

創立委員會終結シタルトキハ創立委員ハ定款、其ノ他議定シタル事項、各組合ノ組合會ニ於ケル聯合會設置ニ關スル決議録ノ謄本及創立委員會ノ決議録ノ謄本ヲ添附シ農商務大臣ニ設置ノ認可ヲ申請スヘシ

聯合會ノ定款ニハ第十三條第一項第一號乃至第三號、第五號、第八號乃至第十一號ニ掲ケル事項並所屬組合ノ名稱、加入脱退、權利義務、代表員ノ定數及任期ニ關スル規定ヲ記載スルコトヲ要ス

第七條及第八條ノ規定ハ創立委員會ニ之ヲ準用ス

第四十二條 聯合會ニ總會ヲ置ク

總會ハ所屬組合ノ代表員ヲ以テ之ヲ組織ス
第四十三條 第一條、第十二條、第十三條第二項、第十四條、第十六條乃至第二十條ノ二、第二十一條第一項第四項及第二十三條乃至第三十九條ノ規定ハ聯合會ニ付之ヲ準用ス

第四十四條 地方長官ハ組合又ハ聯合會ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ業務ノ執行又ハ財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

第四十五條 組合ニ關シ左ニ掲クル事項ハ之ヲ地方長官ニ委任ス

- 一 定款變更ノ認可
- 二 役員ノ選任並検査員ノ選任及解任ノ認可
- 三 重要物産同業組合法第十條ノ四第一項ノ規定ニ依ル役員又ハ検査員ノ選任又ハ解任
- 四 重要物産同業組合法第十條ノ四第二項ノ規定ニ依ル役員ノ解任ノ認可
- 五 検査員ノ職務ニ關スル規定ノ認可
- 六 經費ノ豫算及徴收法ノ認可
- 七 經費ノ豫算又ハ其ノ徴收法ノ變更ヲ命スルコト
- 八 地區ノ範圍、營業ノ種類又ハ定款ノ變更ヲ命スルコト
- 九 重要物産同業組合法第十五條第二號及第三號ノ處分

前項ノ規定ハ一府縣内ヲ區域トスル聯合會ニ付之ヲ準用ス

第四十六條 地方長官ハ前條ノ規定ニ依リテ處理シタルト

キハ第一項第五項ノ場合ヲ除クノ外農商務大臣ニ其ノ報告ヲ爲スヘシ但シ前條第一項第二號乃至第四號ノ報告ハ組長及副組長ニ限ル

第四十七條 本則中地方長官トアルハ主タル事務所所在地ノ地方長官トス

第四十八條 本則ノ規定ニ依リ地方長官ニ於テ又ハ地方長官ニ對シテ爲スヘキ事項ハ聯合會ノ區域二以上ノ府縣ニ互ル場合ニ於テハ農商務大臣ニ於テ又ハ農商務大臣ニ對シテ之ヲ爲スモノトス

組合又ハ聯合會ノ區域二以上ノ府縣ニ互ル場合ニ於テハ關係地方長官ニ於テモ組合又ハ聯合會ニ對シ其ノ管内ニ於ケル業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ業務ノ執行又ハ財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

第四十九條 本則中府縣、郡市トアルハ府縣制、郡制、市制ヲ施行セサル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

第五十條 農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附 則

第五十一條 本則ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五十二條 本則施行前ニ爲シタル發起ノ認可ハ第十一條ノ規定ノ適用ニ付テハ本則施行ノ日ニ於テ之ヲ爲シタル

モノト看做ス

第五十三條 本則施行前組合又ハ聯合會設置認可ノ申請アリタル場合ニ於テハ本則施行後六月間仍從前ノ例ニ依リ處分スルコトヲ得

第五十四條 組合又ハ聯合會ノ定款ニシテ本則ノ施行ニ依リ變更ヲ要スルモノニ付テハ本則施行後一年內ニ其ノ變更ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十五條 明治三十四年農商務省令第十三號ハ之ヲ廢止ス

重要物産同業組合法第十條ノ四

第三項ノ規定ニ依ル重要輸出品ノ種類

大正五年五月二十九日農商務省告示第九十號
 改正 大正六年三月農商務省告示第四十八號
 改正 大正七年七月農商務省告示第二百四十號
 改正 大正七年十月農商務省告示第三百三十三號

- 生 絲 絹 屑 物 羽二重、薄絹及絨絹
- 琥珀及甲斐絹 縮 緞 緞 子
- 白 木 綿 廣幅綿布 綿 縮
- 浴 巾 帶 子 絹 製 品

重要物産同業組合法第十條ノ四第三項ノ規定ニ依ル重要輸出品ノ種類

刺繡絲拔又ハ結リタル布帛製品

眞 田 花 莖 罌 寸

木 蠟 賣 藥 帽 子

貝 鈕 釦 陶 磁 器 硝子製品

金屬製品 椅 材 箱 板

傘 柄 竹 製 品 漆 器

時 計 洋 傘 瓶 具

紙 計 ブラッシユ 石 鹵 具

椎 茸 柑 橘 萃 果

碗 豆 落花生豆 薄 荷

魚介罐詰 昆 布 錫

貝 柱 寒 天 除蟲菊及殺蟲粉

菜 豆 澱 粉

百合 根 粉

鉛 筆 カタン絲

「セルロイド」製品

重要物産同業組合及同聯合會ノ

取扱ニ關スル件

大正五年六月二十九日商第八九九九號次官通牒

重要物産同業組合法關係法規

追加大正六年二月商第二二〇二號次官通牒
追加大正七年八月商第一六九七七號次官通牒
追加大正九年八月工第四九八四號次官通牒

今般重要物産同業組合法及同施行規則改正相成候ニ付テハ
自今左ノ各項ニ依リ御取扱相成度依命此段及通牒候也
追テ從前重要物産同業組合及同聯合會ニ關シ發シタル内訓
及通牒ハ總テ之ヲ廢止ス

第一 設置發起認可ニ關スル事項

同業組合設置ノ發起ヲ認可セムトスルキハ左記事項ヲ詳
具シ豫メ本省ニ打合ヲ爲スコト但シ重要物産同業組合法第
十條ノ四第三項ノ規定ニ依リ指定セラレタル重要輸出品ノ
ミニ關スルモノ及其ノ他ノ蠶絲業組合ニ付テハ打合ヲ要セ
ス此ノ場合ニ於テハ設置認可申請書進達ノ際左記事項ヲ報
告スルコト

特別ノ事情アルモノヲ除クノ外組合地區内ニ於ケル各品種
一年ノ生産、製造又ハ販賣額三十萬圓ニ滿タサル場合ハ發
起認可ヲ爲ササルコト

- (一) 組合ノ豫定地區
- (二) 組合員タルヘキ者ノ營業ノ種類
- (三) 同業者ノ員數但シ營業毎ニ區別スルコト
- (四) 豫定地區内ニ於ケル物産ノ最近三年間ニ於ケル每

一 組合員ハ地區内ニ於テ營業ヲ爲ス限リハ脫退スルコ
トヲ得ヘキモノニアラサルヲ以テ組合員カ單ニ住所ヲ
地區外ニ移轉シタルノ事實ヲ以テ脫退ノ理由トナスヲ
得ス故ニ住所ノ如何ニ依リテ組合員タルノ資格ヲ定ム
ル規定ヲ爲ササルコト

二 新加入者カ組合ノ從來ノ施設ニ付利益ヲ受クル場合
ニ於テ加入金等ノ名義ヲ以テ特別ノ負擔ニ任セシムル
ハ不可ナク又組合カ組合員ノ行爲ニ依リ責任ヲ負フヘ
キ規定ヲ有スル場合ニ於テ信認金ヲ納入セシムルハ不
可ナシト雖加入ノ要件トシテ加重ノ負擔ニ任セシムル
カ如キハ法律ニ於テ加入義務ヲ負ハシメタル趣旨ニ對
シ妥當ナラサルニ依リ其ノ金額其ノ納期等ニ付慎重ノ
注意ヲ爲スコト

三 外國貿易上ニ於ケル賣崩ノ弊ヲ防クタメ必要ナル場
合ノ外商品ノ價格ヲ組合ニ於テ定ムル規定ヲ設ケシメ
サルコト

四 極メテ特別ノ事情アル場合ノ外口錢、手数料又ハ賃
金等ヲ組合ニ於テ定ムル規定ヲ設ケシメサルコト

五 違約者ニ對シテ爲ス商取引ノ停止ハ其ノ事由ヲ具體
的ニ規定セシメ且其ノ停止ノ最長期間ヲ規定セシムル
ヲ要ス若シ期間ヲ定メ難キモノニ在リテハ事故ノ止ミ

重要物産同業組合及同聯合會ノ取扱ニ關スル件

年ノ生産、製造又ハ販賣ノ數量價額並主ナル販路及
其ノ各地ヘ仕向ケタル數量價額

- (五) 豫定地區内ニ於ケル地方經濟上重要ノ程度
- (六) 組合ノ設置ヲ必要トスル理由現ニ營業上ノ弊害ア
ルモノニ在リテハ其ノ事實及之ヲ矯正スヘキ方法
- (七) 業務ノ概目
- (八) 營業品ノ検査ヲ行ハムトスルモノニ在リテハ其ノ
検査ノ方法、検査員ノ數及之ニ要スル費用ノ概算
- (九) 創立費及經費ノ概算並收入ノ財源
- (十) 發起人タルヘキ者ノ員數、營業ノ種類及其ノ主ナ
ル者ノ同業者間ニ於ケル地位、經歷並性行ノ概要

第二 設置認可申請ニ關スル事項

一 設置認可申請書ニ添附スヘキ書類中法定ノ同意アリ
タルコトヲ證スル書類ニハ組合員タルヘキ者ノ總數並
同意ヲ表示シタル者ノ數ヲ記載シ當該行政廳ノ證明ヲ
得タルモノヲ添附スルコト

二 同意表示書ノ正本ヲ添附スル場合ニ於テハ同意ヲ表
示シタル者ノ數ニ付テハ行政廳ノ證明ヲ要セサルコ
ト

第三 定款ニ關スル事項

同業組法定款ノ規定ニ付テハ左記事項ニ注意スルコト

タルトキ又ハ評議員會又ハ役員會ニ於テ改換ノ情アリ
ト認ムルトキハ之ヲ解除スヘキ規定ヲ設ケシムルコ
ト

六 組合員ノ使用スル職工又ハ雇人ヲシテ直接ニ組合ニ
對スル義務ヲ負ハシムル規定ヲ設クルハ定款ヲ以テ組
合員外ノ者ヲ羈束セムトスルモノナルニ依リ不可ナル
コト

七 既ニ解雇セラレタル職工又ハ雇人ト雖前雇主ノ承諾
ヲ經ルニ非サレハ他ノ組合員ハ之ヲ使用スルコトヲ得
サル旨ヲ規定シ之ニ違背シタル者ヲ違約處分ニ付セム
トスルカ如キ規定ヲ設ケシメサルコト

八 組合員ニ對シ職工又ハ雇人ノ使用ヲ停止セシムムト
スルトキハ其ノ事由ヲ具體的ニ規定シ且相當ノ停止期
間ヲ定メシムルヲ要ス若シ其ノ期間ヲ定メ難キ場合ニ
於テハ事項ノ止ミタルトキ又ハ改換ノ狀アリト認ムル
トキハ之ヲ解除スヘキ規定ヲ設ケシムルコト

九 副組長又ハ評議員ヲシテ組長ノ擔任スル事務ノ一部
ヲ分掌セシメントスル組合ニ對シテハ分掌セシムヘキ
事務ノ種類ヲ定款中ニ明記セシムルコト

九ノ二 會計役ヲ置ク組合ニ於テハ其ノ會計役ハ評議員
ヲ兼メルコトヲ得サル旨ノ規定ヲ設ケシムルコト (大正)

六年二月二十日商第二)

二〇二號次官通牒追加)

九ノ三 組長及副組長ト代議員ヲ兼ネシムル規定ヲ設ケ

シメサルコト(大正七年八月二十八日商第

一六九七七號次官通牒追加)

一〇 仲裁判斷ニ付テハ當事者雙方ノ請求ニ依リ評議員
會若ハ役員會ノ決議又ハ評議員會若ハ役員會ニ於テ選
定シタル委員之ヲ行フヘキ旨ノ規定ヲ設ケシムルコ
ト

一一 組合ニ對シテ不正ノ行爲アル役員ノ解任ヲ總會又
ハ組合會ニ於テ決議セムトスル場合ニ在リテハ三分ノ
二以上ノ同意ヲ以テスル等其ノ決議ヲ慎重ナラシムル
規定ヲ設ケシムルコト

一二 役員ノ職務懈怠等ニ對シテ違約處分ヲ爲サムトスル
カ如キ規定ヲ設ケシメサルヲ可トスルコト

一三 組合會ヲ置ク組合ニ於テハ總會ノ制ヲ設ケサ
ルコト(大正六年六月八日商第

八三六四號局長通牒)

一四 單ニ會議ノ議長ハ組長ヲ以テ之ヲ充ツ決議ハ過半
數ノ同意ニ依ル可同數ナルトキハ議長之ヲ決ストノ
規定ヲナシ何等例外規定ヲ設ケサルトキハ業務成績及
經費決算報告ノ認定等自ラ執行シタル事項ノ認否ヲ自
ラ決スル場合アル可ク不條理ニ陥ルヲ以テ相當例外規

定ヲ設ケシムルコト

一三ノ二 評議員會ノ議長ハ評議員中ヨリ互選セシムル
旨ノ規定ヲ設ケシムルコト(大正六年二月二十日商第

二二〇二號次官通牒追加)

一四 不正行爲、信用ヲ害スル行爲、組合ノ目的ヲ妨ク
ル行爲又ハ定款、諸規則若ハ組合會又ハ總會ノ決議ニ
反スル行爲等ノ如キ漠然タル規定ノ違反ニ對シ違約處
分ヲ爲サムトスルハ不可ナルヲ以テ違約事項ハ具體的
ニ之ヲ規定セシムルコト但シ之ヲ具體的ニ規定スルコ
トノ困難ナル事項ニ付テハ抽象的ニ規定シ之ニ違反シ
タル者ヲ違約處分ニ附スル場合ハ評議員會ニ於テ議決
スル旨ノ規定ヲ設ケルハ差支ナシ(大正七年八月二十
七號次官
通牒追加)

一五 營業品ノ検査ヲ行ヒ検査證ヲ付スヘキ規定ヲ設ケ
タル場合ニ於テハ如何ナルモノヲ合格品トナシ如何ナ
ルモノヲ不合格品ト爲スヘキヤノ標準ハ明確ニ之ヲ規
定セシムルコト

一六 組合ニ於テ検査ヲ爲シ合格又ハ不合格ヲ示ス證印
ヲ押捺スル場合ニ於テハ官立又ハ公立ノ検査所ニ於テ
使用スル證印ト判然區別シ得ル證印ヲ使用セシムルコ
ト

役員ノ氏名、住所、職業、就任事由、年月日並前任者退任
事由及其ノ年月日ヲ記載スルコト

第五 經費ノ豫算並徵收法ニ關スル事項

一 歳出豫算中各費目(豫備費ヲ除ク)ノ金額ヲ彼此流
用スルハ當初豫算ヲ設ケルノ趣旨ニ反スルヲ以テ之ヲ
流用スルコトヲ得サラシムヘシ但シ不得止必要アルト
キハ評議員會(評議員會ナキトキハ評議員)ノ諮詢ヲ
經同款内項目ノ金額ノミ流用スルコトヲ得

二 定額豫算内支出ニ充ツル爲必要ナル一時ノ借入金ニ
シテ其ノ年度内ノ收入ヲ以テ償還スルモノノ外往々經
費ニ屬スル歳出ヲ借入金ヲ以テ支辨スルノ豫算アリト
雖特別ノ場合ヲ除キ經常費ハ經常收入ヲ以テ之ヲ支辨
セシムルコト

三 借入金ヲ爲ストキハ一時借入金ヲ除クノ外豫算ト共
ニ借入ノ方法、利息ノ定率及償還ノ年度財源、其ノ他
ノ方法ヲモ併セテ之ヲ議定セシムルコト

四 經費徵收法中ニハ其ノ賦課ノ種目、賦課標準、課率
並徵收期限、其ノ他賦課徵收ノ方法ヲ記載セシムルコ
ト

五 組合ノ負擔ニ歸スヘキ創立費ハ必ス之ヲ豫算ニ編入
セシムルコト

重要物産同業組合及同聯合會ノ取扱ニ關スル件

第四 役員認可ニ關スル事項

二一 定款ノ變更ヲ認可シタルトキハ新舊條文ヲ別紙ト
爲スカ又ハ之ヲ交互ニ記載シ一見新舊ノ區別ヲ明瞭ニ
シ併セテ其ノ理由ヲ報告スルコト

記セシムルコト

二〇 組合解散ノ場合ニ於テ殘餘財産アリタルトキ又ハ
組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキ
ハ如何ニ之ヲ處分スヘキヤノ規定ヲ設ケシムヘク若シ
解散當時組合員タリシ者ニ分配若ハ分賦セムトスル場
合ニ於テハ分配若ハ分賦ノ方法ヲモ併セ規定セシムル
コト

一六ノ二 検査規定(但シ施行細則ヲ除ク)ハ定款中ニ
規定ヲ設ケシムルコト(大正六年二月二十日商第
二二〇二號次官通牒追加)

一七 違約處分トシテ徵收スヘキ過怠金ノ額ニ付テハ最
高限度ヲ定メシムルコト

一八 加入金又ハ信認金ヲ納付セサル者若ハ過怠金ヲ納
付セサル者ヲ更ニ違約處分ニ付シ過怠金ヲ徵スルノ規
定ヲ設ケルハ不可ナリ故ニ斯ル場合ニハ督促手数料ヲ
徵スル等相當ノ徵收方法ノ規定ヲ設ケシムルコト

一九 違約處分ニ關スル費用ヲ被處分者ニ負擔セシムム
トスル規定ヲ設ケル場合ニ於テハ其ノ費用ノ範圍ヲ明
記セシムルコト

